

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公表特許公報 (A)

(11) 特許出願公表番号

特表2017-500991

(P2017-500991A)

(43) 公表日 平成29年1月12日 (2017.1.12)

(51) Int.Cl. F I テーマコード (参考)
A 6 1 B 5/00 (2006.01) A 6 1 B 5/00 A 4 C 1 1 7

審査請求 未請求 予備審査請求 未請求 (全 103 頁)

(21) 出願番号 特願2016-553693 (P2016-553693) (86) (22) 出願日 平成26年7月18日 (2014.7.18) (85) 翻訳文提出日 平成27年3月20日 (2015.3.20) (86) 国際出願番号 PCT/CN2014/082449 (87) 国際公開番号 W02015/070634 (87) 国際公開日 平成27年5月21日 (2015.5.21) (31) 優先権主張番号 201310566688.5 (32) 優先日 平成25年11月15日 (2013.11.15) (33) 優先権主張国 中国 (CN)	(71) 出願人 515077467 呉一兵 中華人民共和国 100044 北京市海淀区 西直門北大街45号時代之光2号楼1203室 (74) 代理人 110000338 特許業務法人HARAKENZO WORLD PATENT & TRADEMARK (72) 発明者 呉一兵 中華人民共和国 100044 北京市海淀区 西直門北大街45号時代之光2号楼1203室
--	---

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 生命メンテナンスモード、脳抑制法及び個人健康情報プラットフォーム

(57) 【要約】

本発明に提供される新たな生命メンテナンスモードは、第三種類生命メンテナンスモードと呼び、疾病発生後受診時に行う臨床診断検査を生命データの系列の単一自動測定算出項目に分解し、人々日常生活仕事に普及し、持続して開展し、連続する診断検査分析報告及び傾向を形成し、自動測定算出の生命データをツールとし、大脳皮質高級自己意識主動制御生命データの変更（ツールの使用変更）を治療と回復、健康長寿の定量牽引手段として、形成した検査分析報告及び傾向を基礎として、疾病の発生及び発展を予測・予防し、医療受診履歴と漢方医指示処方箋を提示根拠として、ショートメッセージを介して在宅患者の検査治療行為を自動的に提示し、そして自動的に無応答ショートメッセージにより警報するサービスを提供する。

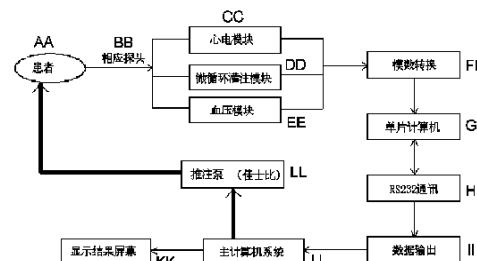


図 1 / Fig. 1

AA: Patient
 BB: Corresponding probe
 CC: Electrocardiac module
 DD: Microcirculation perfusion module
 EE: Blood pressure module
 FF: Module conversion
 GG: Single-chip computer
 HH: RS232 communication
 II: Data output
 JJ: Host computer system
 KK: Result display screen
 LL: Injection pump (Graseby)

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

生命状態データを自動的に測定・算出し、単一項目表として変換する生命状態定量測定データとなるように検査項目を分解することと、

脳抑制法を結合して、治療、回復、健康長寿の定量牽引手段として大脳皮質高級自己意識によって生命状態データの変更を積極的に制御することと、

生命状態データを分析・算出することにより検査分析報告と健康傾向予測報告を形成して、疾病の発生及び発展を予測・予防することと、

医療受診履歴における医指示または処方箋を提示根拠として、ショートメッセージを介して在宅患者に対して検査治療行為を自動的に提示し、そして無応答の場合、自動的にショートメッセージにて警報するサービスを提供することと、を含むことを特徴とする生命メンテナンスモード。

10

【請求項 2】

前記生命状態データを自動的に測定・算出する過程は、

バイタルサインと生理データの信号をデジタル信号に変換することと、

デジタル信号を監護電気回路のフィルタ、ノイズ制御、増幅入力部分に送信し、相応監護モジュールによる各算出処理、加工を行った後、それぞれモジュールのアナログ信号入力ポートを介して中央算出制御管理電気回路のアナログ・デジタル変換電気回路に送信することと、

R S 2 3 2 インターフェースの電気回路を介して処理後の上記信号を中央算出制御管理電気回路の通信インターフェースに送信することと、

20

中央算出制御管理電気回路がデジタル化の上記信号データを取った後、それぞれ暗号化し、圧縮して、処理後のデータフローを獲得し、動的なデータリンクキャッシュメモリ行列に送信することと、

動的なデータリンクキャッシュメモリ行列は変更的なデータを記憶・出力する構造であることと、

ネットワーク状態の異なりによって、データは記憶領域内での構成が異なっていることと、

中央算出制御管理電気回路によってネットワーク状態変更の中断事件触発を取得した後、収集されたデータの異なる行列組合を制御することと、

30

書込コマンドの制御で、記憶行列のデータバッファに書き込むことと、

行列におけるデータが、中央算出制御管理電気回路の読込コマンドの制御で、データポートを介して無線インターネットアクセス制御電気回路に出力されることと、

インターネットアクセス制御電気回路部分がネットワークに対する自動ダイヤル、ネットワーク状態識別、T C P / I P モード信号変調、サブパッケージ、出力の機能を完成させ、データ記憶サーバ及びデータ算出サーバにアップロードすることと、を含むことを特徴とする請求項 1 に記載の生命メンテナンスモード。

【請求項 3】

前記生命状態データを自動的に測定・算出する過程は、さらに、

前記生活状態データ及び主観的な感受データの収集は、携帯電話、タブレット、固定型コンピュータなどの様々なコンピュータ装置が含まれた主観感受情報収集器によって実現され、B / S 構成のブラウザウィンドウ又は A P P 応用ソフトウェア操作ウィンドウを入力操作インターフェースとし、マニュアル入力方式でデータを入力し、入力インターフェースがクリック選択方式を用いて異なる感受データ又は量のデータを選択することと、

40

上記データは直接的にコンピュータの無線、有線インターネットアクセスを介して健康銀行の個人アカウントのデータ記憶と算出サーバにアップロードされることと、を含むことを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の生命メンテナンスモード。

【請求項 4】

前記生命状態データを自動的に測定・算出する過程において、収集する信号は、

(1) 波形信号として脳波、頭部と末梢血流灌注波、ペニス血流灌注波、心波、脈拍酸

50

素容積波、口鼻胸腹呼吸波、筋肉動作電位波、眼動波、呼吸末二酸化炭素濃度波

数値信号として脈拍数、非侵襲的な血圧、血糖、脈拍酸素飽和度、呼吸末二酸化炭素濃度、吸入酸素濃度、体温、呼吸回数、ペニス周径、ペニス硬度、ペニス温度、ペニス動脈酸素飽和度、尿量、相対肢体運動量、体重、運動発汗量が含まれた生命体特徴及び生理データと

(2) 服薬、飲食、入水量、排便量が含まれた収集の生活状態データと、

(3) 疼痛分級、嘔吐分級、目まい分級、生活品質分級、思いむせぶこと、頻尿、尿液色、出血、下痢、便秘、大便色、慌てること、息苦しいこと、無力、目くらみ、哮喘、発熱、苛立ち、怒り、焦慮分級、憂鬱分級、寝つきが悪いこと、一過性不眠、夢を見ることが含まれた収集の主観的な感受データと、を含むことを特徴とする請求項1又は2又は3に記載の生命メンテナンスモード。

10

【請求項5】

フィードバックパラメータとして頭部眼窩上動脈血流灌注指数をリアルタイムに収集することと、

注入ポンプを用いて、鎮静剤量の静脈鎮静薬物を注輸することを自動的にフィードバック・制御することと、

脳皮質高級認知機能の酸素代謝の要求を最低に低減させることと、

大脳皮質高級認知機能の抑制を制御することと、

を含むことを特徴とする脳抑制療法。

【請求項6】

20

注入ポンプを用いて、鎮静剤量の静脈鎮静薬物を注輸することを自動的にフィードバック・制御する過程は、

頭部血流灌注指数の特徴指標を用い、閉環フィードバックを行って注入ポンプの静脈鎮静薬物の注輸を制御し、前記フィードバック制御の原理は頭部血流灌注指数を最も小さいとさせるようにシステムを安定に調節することと、

フィードバックパラメータとして頭部眼窩上動脈血流灌注指数の特徴指標を用い、閉環フィードバックで頭部眼窩上動脈血流灌注指数を最も小さいとさせるように注入ポンプの静脈鎮静薬物の注輸を制御することと、

頭部梓上動脈血流灌注信号の収集及び算出技術を用い、無線移動生命情報収集伝達端末を使用し、頭部眼窩上動脈の血流灌注信号を収集し、信号がWIFIモードにより処理コンピュータに送信され、コンピュータが信号に対して自動的に算出処理を行い、リアルタイムな灌注指数の定量数値を獲得し、標準RS232通信インターフェースを介して、制御コマンドを注入ポンプのコンピュータインターフェースに送信し、注入ポンプを制御して鎮静薬物を自動的に注輸し、皮質認知機能抑制の目的を達成することと、を含むことを特徴とする請求項5に記載の脳抑制療法。

30

【請求項7】

制御規則はTCIターゲット制御注輸モデルを用い、制御本体として血薬濃度を設定し、フィードバック調節として血流灌注指数を結合し、血薬濃度を増加又は低減させ、眼窩上動脈血流灌注を最も小さく自動的に制御し、定量制御によって自動的に睡眠鎮静疾病の治療を行うことを特徴とする請求項6に記載の脳抑制療法。

40

【請求項8】

前頭葉両側の脳波、前頭葉両側梓上の動脈血流灌注信号波及び肢体末梢の血流灌注信号波を収集することと、

前記脳波、動脈血流灌注信号波及び肢体末梢の血流灌注信号波は変換器を介して前置き電気信号増幅電気回路に入り、信号はアナログ電気回路の整合フィルタにより増幅された後、アナログ・デジタル変換電気回路に入り、離散化のコンピュータデータセットに変換することと、

前記前頭葉両側梓上の動脈血流灌注信号波に基づき、頭部血流灌注指数を算出することと、

前記肢体末梢の血流灌注信号波に基づき、末梢血流灌注指数を算出することと、

50

脳波信号に対して処理して脳状態特徴指標を獲得することと、を含むことを特徴とする前記脳抑制療法に用いられる脳部信号収集方法。

【請求項 9】

心波形信号及び血流灌注信号に基づいて血管弾性を算出すること、及び脳波信号及び大脳状態指標に基づいて大脳パワースペクトラムを算出することを更に含むことを特徴とする請求項 8 に記載の脳部信号収集方法。

【請求項 10】

前記脳状態特性指標は、脳鬱散状態指数、脳集中状態指数、脳活性指数、脳思惟指数、脳含蓄指数、左右脳側性化指数、脳安定度指数、脳鎮静指数からなる群から選ばれた 1 種又は複数種であることを特徴とする請求項 8 に記載の脳部信号収集方法。

10

【請求項 11】

前記脳状態特徴指数に基づいて脳状態散布図を確立して、人脳状態の変更を取得することを特徴とする請求項 8 に記載の脳部信号収集方法。

【請求項 12】

前頭葉両側枰上の動脈血流灌注信号波が前頭葉の圧力センサ、レーザセンサ及び脳波センサにより取得されることを特徴とする請求項 8 に記載の脳部信号収集方法。

【請求項 13】

一体に集成される両導脳波、両導頭部枰上動脈血流波、及び 4 導独立末梢血流波変換器ユニットを備え、血管の血流に携帯される赤血球により変更が生じ、血流が血管壁に対して作用し、搏動を形成し、

20

センサにおける近赤外線レーザ発射器が、血管を照射して反射波を発生させ、一側に設置されるレーザ受信器が反射信号を受信し、出力とするとともに、血管部位に設置される圧力変換器が血管壁の搏動波を受け付けて、出力信号とし、

2 種類の信号が出力され、制御コンピュータチップに処理された後、血流波を獲得し、脳波センサがドライ電極金属片を媒介とし、頭部額部位に付着し、出力として頭部の電気信号を伝導することを特徴とする一体に集成される脳波、前頭葉血流波信号変換器及び一組に独立される末梢血流波変換器。

【請求項 14】

一体化変換器は $12 \times 1.4 \times 0.4$ cm 範囲内の柔軟シリカ・ゲル上に固定され、弾性を有し、ストリップ状であり、環状に形成することができ、医用絆創膏の粘性テープで固定され、末梢血流センサは血流信号のみを収集し、体積が $3 \times 1 \times 0.3$ cm の柔性シリカ・ゲル上に固定されることを特徴とする請求項 13 に記載の変換器。

30

【請求項 15】

変換器の出力信号は、脳波信号収集増幅モジュールまたは血管血流波信号収集増幅モジュールが含まれた電子信号変換増幅ユニットにより識別可能なアナログ電気信号に変換され、変換器に収集された微小信号を増幅して干渉及び無効成分を消去し、それぞれアナログ・デジタル変換器に伝送させ、離散してデジタル信号に変換させ、制御コンピュータチップで分配、算出、暗号化、圧縮のデータ処理フローを完成させ、

処理後のデータフローを獲得し、動的なデータリンクキャッシュメモリ行列に送信し、動的なデータリンクキャッシュメモリ行列は変更的なデータを記憶・出力する構造であり、ネットワーク状態の異なりによって、データが記憶領域内での構成が異なり、

40

算出制御電気回路はネットワーク状態変更の中断事件触発を取得した後、収集されたデータの異なる行列組合を制御し、

書込コマンドの制御で、記憶器行列に書き込み、行列におけるデータが制御コンピュータの読込コマンドの制御で、データポートを介して無線インターネットアクセス電気回路に出力され、インターネットアクセス電気回路部分がネットワークに対する自動ダイヤル、ネットワーク状態識別、TCPモード信号変調、サブパッケージ、出力の機能を完成させることを特徴とする請求項 13 に記載の変換器の作業方法。

【請求項 16】

睡眠分析方法であって、

50

神経電気生理測定方法及び頭部血流灌注測定方法の結合を利用し、頭部血流灌注及び末梢血流灌注信号指数である睡眠品質の変更を直接に表現する生理信号を抽出して、睡眠過程状態変更及び睡眠構成、睡眠品質を定量的に表現する生命データ表現方式及び特徴指標を創出し、

頭部血流灌注及び末梢血流灌注を睡眠測定の主要的な生理信号基礎とし、脳波信号を補助し、睡眠品質の客観的な記述を完成し、睡眠過程において頭部血流灌注及び躯体血流灌注の相対変更を露呈し、睡眠の疾病治療、健康長寿に影響する定量生理変更過程を反映し、

収集された多導脳波及び多導血流灌注波に対してリアルタイムに算出することによって、睡眠構成変更を定量的に記述する脳波特徴表現指標を自動的に抽出し、睡眠品質変更及び健康状態変更を定量的に反映する頭部及び躯体末梢血流灌注の分布特徴表現指標を自動的に抽出し、

脳波、頭部血流波及び末梢血流波信号収集変換器を用い、異なる状態下の人の多導脳波及び多導血流灌注波を収集し、これらのリアルタイムなデータを受信したコンピュータシステムはデータを算出処理し、リアルタイムな定量特徴指標データを取得し、

波形識別算法、ファジー制御算法、スペクトル分析算法、ウェーブレット解析算法、重回帰算法、及び微積分等のデータ予め処理算法を用いてリアルタイムにデータを算出し、

脳波データに対して、時間窓加重を用い、スペクトル分析算法及びウェーブレット算法を実施し、所定ウィンドウ下の時間領域脳波信号の周波数領域パワー及び位相変更、及び所定母関数下のマルチスケールウェーブレット分解スケール空間の多重成分を算出し、時間領域成分を再構成する逆変換算法を介して、獲得された変換及び逆変換の一束データに対して、ファジー算法及び閾値抽出算法を実施し、一束ウェーブレット離散数値を獲得し、

睡眠状態を結合する重回帰算法を介して、加重指数化によって、一連の異なる睡眠状態を代表する定量脳波特徴指標を獲得し、

血流灌注波形データに対して、所定母関数のマルチスケールウェーブレット解析算法を用い、多導血流灌注波形の多束時間領域血流灌注波形の波形変化点を取得し、これに基づいて、微積分及びフィッティング算出を施し、血流灌注波形の動的時間領域パワー及び相対速度を獲得し、睡眠状態下の異なる睡眠品質、睡眠構成の頭部及び末梢血流灌注信号を表現できる定量特徴指標を生成することを特徴とする方法。

【請求項 17】

人体生命データを取得し、医療健康データを収集することと、

医療臨床検査項目を分解して単一項目が標準化された生命状態定量測定となり、自組織分析して生命状態情報を算出し、様々な疾病生理、生命体特徴データの検査報告及び健康予測報告を形成することと、

モノのネットワーキングモード下で脳状態のリアルタイム及び定量的な多指標抽出のシステム技術実現を構成し、人の自然睡眠構造と品質の神経電気生理及び血流灌注信号の総合定量特徴指標抽出及び表現方法を構成することと、

血流灌注分布の測定を導入することによって、頭部及び末梢血流灌注を2つのユニットに画定し、血流と代謝の関係を利用し、それぞれ2つのユニット代謝需要を低減させる訓練パス及び方法を確立し、人々は疾病状態下で、各器官が血流灌注に対する要求を低減させて低灌注レベルを耐えることができるようになることと、

疾病治療、疾病回復、疾病予防、健康長寿の第三種類生命メンテナンスモードとして生命監視測定メンテナンスニューモードを創出し、自己意識的に生命データの変化を制御することによって、健康長寿のターゲットを達成することと、

疾病治療、疾病予防、疾病回復及び健康長寿の過程において、持続の生命データ、医療健康データを導入することにより定量的に精細測定・算出を行い、疾病状態下での人々の負方向情緒を正方向情緒に変化させることによって、自己がリアルタイムに出力するバイタルサイ、生理信号定量の特徴指標の変更を絶え間なく重複に感知することによって、疾病の治療効果、疾病の回復効果を向上させ、疾病予防、長寿の目的を達成し、疾病治療、

10

20

30

40

50

回復、予防及び健康長寿の過程に生じたデータ及び技術をツールとする理念を導入して、無線ネットワーク通信を基礎とし、他人の疾病治療、予防、回復及び健康長寿過程のシステム技術実現を支援又は直接的に駆動することと、を含むことを特徴とする個人健康情報プラットフォーム。

【請求項 18】

健康長寿及び疾病治療、疾病回復の示範発頭人のメディア制度を確立し、発頭人の診療履歴及び生命データを定時的に放送し、メディアを介してリアルタイムに伝達し、比較、学習、模倣の示範テンプレートとして他人に疾病治療、疾病回復及び健康長寿過程の定量健康データを提供することを更に含むことを特徴とする請求項 17 に記載の個人健康情報プラットフォーム。

10

【請求項 19】

前記プラットフォームは無線移動生命データ収集伝達端末、データ算出サービス中心とデータ記憶中心サーバ及び移動コンピュータ端末と固定型コンピュータ、移動通信端末などのハードウェア及びシステムソフトウェアプラットフォームから構成されることを特徴とする請求項 18 に記載の個人健康情報プラットフォーム。

【請求項 20】

前記プラットフォームは通信伝達媒介としてインターネット通信プラットフォームを用い、ユーザが自己の健康銀行ウェブサイトの応用アカウントを登録し、ユーザの個人身分情報をバインドすることを特徴とする請求項 17 に記載の個人健康情報プラットフォーム。

【請求項 21】

前記プラットフォームにおいて、各ユーザが生活及び作業環境で無線移動生命情報収集伝達端末を用い、端末がユーザの応用アカウントをバインドし、日常の使用において、無線移動生命情報収集伝達端末を介して、ユーザの生命データ、主観的な感受、薬の使用事件等の情報を自動的に収集し、無線方式を介してインターネットのデータ算出中心サーバ及びアカウント記憶サーバ中に自動的に送信し、

20

伝達されたデータチェーンがユーザの個人身分情報をバインドし、ユーザが確立した応用アカウントに対応するデータベースに自動的に記憶して永久的に保存して随時呈露させ、

データ算出中心サーバがデータを受信した後、クラウドコンピューティングモードを用いて大規模データを自動及びリアルタイム的に算出分析し、原則として各疾病診断が要する検査分析報告における各指標を洗練し、各単一項目生命状態特徴指標をそれぞれ算出し、そしてそれを組合して医療機構の相応疾病診断標準に合致する検査分析レポートを形成し、アカウント記憶サーバに伝送し、ユーザの応用アカウントに記憶して随時呈露させることを特徴とする請求項 17 に記載の個人健康情報プラットフォーム。

30

【請求項 22】

脳状態多特徴指標の抽出の過程を更に含み、その原始データは無線移動生命情報収集伝達端末のリアルタイムな脳波データに由来し、サービス算出中心の自動数学処理算出によって、大脳の異なる状態を代表する多項定量デジタル指数を取得し、脳状態の客観的な定量リアルタイム特徴指数によって、効果的な定量的脳使用習慣を確立し、脳状態を定量的に制御する方法及びテクニックを習得することを特徴とする請求項 17 に記載の個人健康情報プラットフォーム。

40

【請求項 23】

血流灌注分布の特徴指標抽出を更に含み、データは無線移動生命データ収集伝達端末のリアルタイムな血流灌注波に由来し、サービス算出中心の自動連続数学処理算出によって、異なる位置の血流灌注分布を代表する定量デジタル指数を取得し、血流灌注が人体代謝の需要であり、低血流灌注を低減・忍耐する訓練によって、人体局所の代謝需要を低減することを習得し、疾病状態下での人体器官保護と低灌注忍耐及び回復、長寿の基礎環境を確立することを特徴とする請求項 17 に記載の個人健康情報プラットフォーム。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

50

【0001】

本発明は医学分野におけるデータ分析及び健康管理に関し、具体的には、生命メンテナンスモード、脳抑制法及び個人健康情報プラットフォームに関する。

【背景技術】

【0002】

人体は複数の器官から構成され、これら器官の運行状態は人体の状況と密接に関わっている。例えば、大脳は人体の重要な器官で、人の皮質高級認知は学習能力を有し、同時に忘却能力を持ち、怠惰に傾く。大脳皮質高級認知の感情機能は人と動物の区別で、長期にわたり進化してきたものである。皮質機能が生命資源を消耗し、人の寿命が低減する因素になると言える。正確な生活方式、正確な科学的な脳使用方式は、人の健康及び長寿に対して極めて重要な作用を果たす。高級皮質認知機能を健康及び長寿に対して積極的な促進作用に変更すれば、人の寿命を100～150歳の正常な生命規律周期までに大いに高めることができる。血流分布や呼吸はいずれも生命体が酸素成分やエネルギーを取得することを決定する因素であり、それら大脳高級皮質機能の影響を受け、更に間接的に制御される。生命過程において、ある疾病は本来、大脳により直接制御されるものであり、例えば、睡眠が挙げられ、人が生まれた後、誰でも睡眠し、特に少年時期に、寝たければ寝ることができる。なぜ不眠になって、焦慮や憂鬱が生じるかについて、主に、外部の相応する刺激を受け、睡眠を犠牲にしてある認知任務を完成する必要があるから、その中、正方向や負方向情緒過程を伴うことがあり、一部の人にとって、負方向情緒を伴うと、大脳は睡眠の方法を忘却し、この過程は短い可能性があり、何日かの時間で不眠の結果になる恐れがある。薬物依存も1つの例である。大脳がエンケファリンを分泌することは本能的な過程であるが、外部からアヘン類の物質が入ると、大脳はすぐにエンケファリンの分泌能力を忘却し、同時に、引き起こした愉快的情緒によって、大脳がまた外部から絶え間なくこの物質を要求する習慣を習い、薬物の依存となる。薬物依存症からの回復過程はまた1つの逆方向過程であり、苦痛な負方向情緒過程によって、大脳が外部物質からの愉快的記憶を抑制し、大脳がまたエンケファリンの分泌方法を身につけるようになる。これによって、大脳に改めて睡眠の方法を習得させることは可能であり、あるいは愉快的情緒を伴うことによって、大脳が既に忘却した能力を習得することができ、さらに、前に具備しなかった健康長寿の能力を習得できることは見える。

【0003】

大脳の状態が人体の健康状況に対して非常に重要な作用を果たすため、大脳の状態情報の取得方法が大脳に対する後続研究や健康医療等に対していずれも重要であることは見える。中国特許文献CN102783936Aにおいて、大脳状態を決定するシステムは開示され、大脳構成が記載されるデータを提供するための入力装置と、前記入力装置に通信接続されるプロセッサとを含み、前記プロセッサは前記データを参照し、前記大脳構成の少なくとも1つの幾何特性を測定し、前記少なくとも1つの幾何特性を参照し、大脳指数を決定し、そして前記大脳指数と少なくとも1つの予め設定した指数とを比較させ、前記比較結果によって、前記大脳状態が決定され、前記大脳指数値に対応するように設置される。この方案において、大脳指数を反映する指標が単一で、大脳の状態を正確に反映できなく、健康評価及び医療に根拠を提供できない。

【0004】

また、大脳の他に、人体の他の部分の状態情報も人体の健康状況を反映でき、これら情報を定量化して抽出できれば、健康評価及び医療サービスの関連性を大いに向上できる。

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0005】

このため、本発明が解決しようとする技術的な問題は、従来の技術における人体状態の検出方法による指標が単一であり、健康医療のために依拠を提供できない問題があり、さらに、様々な指標を総合して大脳状態及び身体情報を反映する人体信号検出方法を提出する。

10

20

30

40

50

【課題を解決するための手段】

【0006】

上記した技術問題を解決するために、本発明は、

生命状態データを自動的に測定・算出し、単一項目表として変換する生命状態定量測定データとなるように検査項目を分解することと、

脳抑制法を結合して、治療、回復、健康長寿の定量牽引手段として大脳皮質高級自己意識によって生命状態データの変更を積極的に制御することと、

生命状態データを分析・算出することにより検査分析報告と健康傾向予測報告を形成して、疾病の発生及び発展を予測・予防することと、

医療受診履歴における医指示または処方箋を提示根拠として、ショートメッセージを介して在宅患者に対して検査治療行為を自動的に提示し、そして無応答の場合、自動的にショートメッセージにて警報するサービスを提供することと、を含むことを特徴とする生命メンテナンスモードを提供する。

【0007】

好ましくは、前記生命状態データを自動的に測定・算出する過程は、

バイタルサインと生理データの信号をデジタル信号に変換することと、

デジタル信号を監護電気回路のフィルタ、ノイズ制御、増幅入力部分に送信し、相応監護モジュールによる各算出処理、加工を行った後、それぞれモジュールのアナログ信号入力ポートを介して中央算出制御管理電気回路のアナログ・デジタル変換電気回路に送信することと、

R S 2 3 2 インターフェースの電気回路を介して処理後の上記信号を中央算出制御管理電気回路の通信インターフェースに送信することと、

中央算出制御管理電気回路がデジタル化の上記信号データを取った後、それぞれ暗号化し、圧縮して、処理後のデータフローを獲得し、動的なデータリンクキャッシュメモリ行列に送信することと、

動的なデータリンクキャッシュメモリ行列は変更的なデータを記憶・出力する構造であることと、

ネットワーク状態の異なりによって、データは記憶領域内での構成が異なっていることと、

中央算出制御管理電気回路によってネットワーク状態変更の中断事件触発を取得した後、収集されたデータの異なる行列組合を制御することと、

書込コマンドの制御で、記憶行列のデータバッファに書き込むことと、

行列におけるデータが、中央算出制御管理電気回路の読込コマンドの制御で、データポートを介して無線インターネットアクセス制御電気回路に出力されることと、

インターネットアクセス制御電気回路部分がネットワークに対する自動ダイヤル、ネットワーク状態識別、T C P / I P モード信号変調、サブパッケージ、出力の機能を完成させ、データ記憶サーバ及びデータ算出サーバにアップロードすることと、を含む。

【0008】

好ましくは、前記生命状態データを自動的に測定・算出する過程は、さらに、

前記生活状態データ及び主観的な感受データの収集は、携帯電話、タブレット、固定型コンピュータなどの様々なコンピュータ装置が含まれた主観感受情報収集器によって実現され、B / S 構成のブラウザウィンドウ又はA P P 応用ソフトウェア操作ウィンドウを入力操作インターフェースとし、マニュアル入力方式でデータを入力し、入力インターフェースがクリック選択方式を用いて異なる感受データ又は量のデータを選択することと、

上記データは直接的にコンピュータの無線、有線インターネットアクセスを介して健康銀行個人アカウントのデータ記憶と算出サーバにアップロードされることと、を含む。

【0009】

好ましくは、前記生命状態データを自動的に測定・算出する過程において、収集する信号は、

(1) 波形信号として脳波、頭部と末梢血流灌注波、ペニス血流灌注波、心波、脈拍酸

10

20

30

40

50

素容積波、口鼻胸腹呼吸波、筋肉動作電位波、眼動波、呼吸末二酸化炭素濃度波、

数値信号として脈拍数、非侵襲的な血圧、血糖、脈拍酸素飽和度、呼吸末二酸化炭素濃度、吸入酸素濃度、体温、呼吸回数、ペニス周径、ペニス硬度、ペニス温度、ペニス動脈酸素飽和度、尿量、相対肢体運動量、体重、運動発汗量が含まれた生命体特徴及び生理データと、

(2) 服薬、飲食、入水量、排便量が含まれた収集の生活状態データと、

(3) 疼痛分級、嘔吐分級、目まい分級、生活品質分級、思いむせぶこと、頻尿、尿液色、出血、下痢、便秘、大便色、慌てること、息苦しいこと、無力、目くらみ、哮喘、発熱、苛立ち、怒り、焦慮分級、憂鬱分級、寝つきが悪いこと、一過性不眠、夢を見ることが含まれた収集の主観的な感受データと、を含む。

10

【0010】

また、フィードバックパラメータとして頭部眼窩上動脈血流灌注指数をリアルタイムに収集することと、

注入ポンプを用いて、鎮静剤量の静脈鎮静薬物を注輸することを自動的にフィードバック・制御することと、

脳皮質高級認知機能の酸素代謝の要求を最低に低減させることと、

大脳皮質高級認知機能の抑制を制御することとを含むことを特徴とする脳抑制療法を提供する。

【0011】

好ましくは、注入ポンプを用いて、鎮静剤量の静脈鎮静薬物を注輸することを自動的にフィードバック・制御する過程は、

20

頭部血流灌注指数の特徴指標を用い、閉環フィードバックを行って注入ポンプの静脈鎮静薬物の注輸を制御し、前記フィードバック制御の原理は頭部血流灌注指数を最も小さいとさせるようにシステムを安定に調節することと、

フィードバックパラメータとして頭部眼窩上動脈血流灌注指数の特徴指標を用い、閉環フィードバックで頭部眼窩上動脈血流灌注指数を最も小さいとさせるように注入ポンプの静脈鎮静薬物の注輸を制御することと、

頭部梓上動脈血流灌注信号の収集及び算出技術を用い、無線移動生命情報収集伝達端末を使用し、頭部眼窩上動脈の血流灌注信号を収集し、信号がW I F Iモードにより処理コンピュータに送信され、コンピュータが信号に対して自動的に算出処理を行い、リアルタイムな灌注指数の定量数値を獲得し、標準R S 2 3 2通信インターフェースを介して、制御コマンドを注入ポンプのコンピュータインターフェースに送信し、注入ポンプを制御して鎮静薬物を自動的に注輸し、皮質認知機能抑制の目的を達成することと、を含む。

30

【0012】

好ましくは、制御規則はT C Iターゲット制御注輸モデルを用い、制御本体として血薬濃度を設定し、フィードバック調節として血流灌注指数を結合し、血薬濃度を増加又は低減させ、眼窩上動脈血流灌注を最も小さく自動的に制御し、定量制御によって自動的に睡眠鎮静疾病の治療を行う。

【0013】

また、前頭葉両側の脳波、前頭葉両側梓上の動脈血流灌注信号波及び肢体末梢の血流灌注信号波を収集することと、

40

前記脳波、動脈血流灌注信号波及び肢体末梢の血流灌注信号波は変換器を介して前置き電気信号増幅電気回路に入り、信号はアナログ電気回路の整合フィルタにより増幅された後、アナログ・デジタル変換電気回路に入り、離散化のコンピュータデータセットに変換することと、

前記前頭葉両側梓上の動脈血流灌注信号波に基づき、頭部血流灌注指数を算出することと、

前記肢体末梢の血流灌注信号波に基づき、末梢血流灌注指数を算出することと、

脳波信号に対して処理して脳状態特徴指標を獲得することと、を含むことを特徴とする前記脳抑制療法に用いられる脳部信号収集方法を提供する。

50

【0014】

好ましくは、上記の脳部信号収集方法は、心波形信号及び血流灌注信号に基づいて血管弾性を算出すること、及び脳波信号及び大脳状態指標に基づいて大脳パワースペクトラムを算出することを更に含む。

【0015】

好ましくは、前記脳状態特性指標は、脳鬱散状態指数、脳集中状態指数、脳活性指数、脳思惟指数、脳含蓄指数、左右脳側性化指数、脳安定度指数、脳鎮静指数からなる群から選ばれた1種又は複数種である。

【0016】

好ましくは、前記脳状態特徴指数に基づいて脳状態散布図を確立して、人脳状態の変更を取得する。

10

【0017】

好ましくは、前頭葉両側枰上の動脈血流灌注信号波が前頭葉の圧力センサ、レーザセンサ及び脳波センサにより取得される。

【0018】

また、一体に集成される両導脳波、両導頭部枰上動脈血流波、及び4導独立末梢血流波変換器ユニットを備え、血管の血流に携帯される赤血球により変更が生じ、血流が血管壁に対して作用し、搏動を形成し、

センサにおける近赤外線レーザ発射器が、血管を照射して反射波を発生させ、一側に設置されるレーザ受信器が反射信号を受信し、出力とするとともに、血管部位に設置される圧力変換器が血管壁の搏動波を受け付けて、出力信号とし、

20

2種類の信号が出力され、制御コンピュータチップに処理された後、血流波を獲得し、脳波センサがドライ電極金属片を媒介とし、頭部額部位に付着し、出力として頭部の電気信号を伝導することを特徴とする一体に集成される脳波、前頭葉血流波信号変換器及び一組に独立される末梢血流波変換器を提供する。

【0019】

好ましくは、一体化変換器は $12 \times 1.4 \times 0.4$ cm範囲内の柔軟シリカ・ゲル上に固定され、弾性を有し、ストリップ状であり、環状に形成することができ、医用絆創膏の粘性テープで固定され、末梢血流センサは血流信号のみを収集し、体積が $3 \times 1 \times 0.3$ cmの柔性シリカ・ゲル上に固定される。

30

【0020】

好ましくは、変換器の出力信号は、脳波信号収集増幅モジュールまたは血管血流波信号収集増幅モジュールが含まれた電子信号変換増幅ユニットにより識別可能なアナログ電気信号に変換され、変換器に収集された微小信号を増幅して干渉及び無効成分を消去し、それぞれアナログ・デジタル変換器に伝送させ、離散してデジタル信号に変換させ、制御コンピュータチップで分配、算出、暗号化、圧縮のデータ処理フローを完成させ、

処理後のデータフローを獲得し、動的なデータリンクキャッシュメモリ行列に送信し、動的なデータリンクキャッシュメモリ行列は変更的なデータ記憶及・出力する構造であり、ネットワーク状態の異なりによって、データが記憶領域内での構成が異なり、

算出制御電気回路はネットワーク状態変更の中断事件触発を取得した後、収集されたデータの異なる行列組合を制御し、

40

書込コマンドの制御で、記憶器行列に書き込み、行列におけるデータが制御コンピュータの読込コマンドの制御で、データポートを介して無線インターネットアクセス電気回路に出力され、インターネットアクセス電気回路部分がネットワークに対する自動ダイヤル、ネットワーク状態識別、TCPモード信号変調、サブパッケージ、出力の機能を完成させる。

【0021】

また、睡眠分析方法であって、

神経電気生理測定方法及び頭部血流灌注測定方法の結合を利用し、頭部血流灌注及び末梢血流灌注信号指数である睡眠品質の変更を直接的に表現する生理信号を抽出して、睡眠

50

過程状態変更及び睡眠構成、睡眠品質を定量的に表示する生命データ表現方式及び特徴指標を創出し、

頭部血流灌注及び末梢血流灌注を睡眠測定の主要的な生理信号基礎とし、脳波信号を補助し、睡眠品質の客観的な記述を完成し、睡眠過程において頭部血流灌注及び躯体血流灌注の相対変更を露呈し、睡眠の疾病治療、健康長寿に対して影響する定量生理変更過程を反映し、

収集された多導脳波及び多導血流灌注波に対してリアルタイムに算出することによって、睡眠構成変更を定量的に記述する脳波特徴表現指標を自動的に抽出し、睡眠品質変更及び健康状態変更を定量的に反映する頭部及び躯体末梢血流灌注が分布する特徴表現指標を自動的に抽出し、

脳波、頭部血流波及び末梢血流波信号収集変換器を用い、異なる状態下の人の多導脳波及び多導血流灌注波を収集し、これらのリアルタイムなデータを受信したコンピュータシステムはデータに対して算出処理し、リアルタイムな定量特徴指標データを取得し、

波形識別算法、ファジー制御算法、スペクトル分析算法、ウェーブレット解析算法、重回帰算法、及び微積分等のデータ予め処理算法を用いてリアルタイムにデータを算出し、

脳波データに対して、時間窓加重を用い、スペクトル分析算法及びウェーブレット算法を実施し、所定ウィンドウ下の時間領域脳波信号の周波数領域パワー及び位相変更、及び所定母関数下のマルチスケールウェーブレット分解スケール空間の多重成分を算出し、時間領域成分を再構成する逆変換算法を介して、獲得された変換及び逆変換の一束データに対して、ファジー算法及び閾値抽出算法を実施し、一束ウェーブレット離散数値を獲得し、

睡眠状態を結合する重回帰算法を介して、加重指数化によって、一連の異なる睡眠状態を代表する定量脳波特徴指標を獲得し、

血流灌注波形データに対して、所定母関数のマルチスケールウェーブレット解析算法を用い、多導血流灌注波形の多束時間領域血流灌注波形の波形変化点を取得し、これに基づいて、微積分及びフィッティング算出を施し、血流灌注波形の動的時間領域パワー及び相対速度を獲得し、睡眠状態下の異なる睡眠品質、睡眠構成の頭部及び末梢血流灌注信号を表現できる定量特徴指標を生成することの特徴とする方法を提供する。

【0022】

また、人体生命データを取得し、医療健康データを収集することと、

医療臨床検査項目を分解して単一項目が標準化された生命状態定量測定となり、自組織分析して生命状態情報を算出し、様々な疾病生理、生命体特徴データの検査報告及び健康予測報告を形成することと、

モノのネットワークモード下で脳状態のリアルタイム及び定量的な多指標抽出のシステム技術実現を構成し、人の自然睡眠構造と品質の神経電気生理及び血流灌注信号の総合定量特徴指標抽出及び表現方法を構成することと、

血流灌注分布の測定を導入することによって、頭部及び末梢血流灌注を2つのユニットに画定し、血流と代謝の関係を利用し、それぞれ2つのユニット代謝需要を低減させる訓練パス及び方法を確立し、人々は疾病状態下で、各器官が血流灌注に対する要求を低減させて低灌注レベルを耐えることができるようになることと、

疾病治療、疾病回復、疾病予防、健康長寿の第三種類生命メンテナンスモードとして生命監視測定メンテナンスニューモードを創出し、自己意識的に生命データの変化を制御することによって、健康長寿のターゲットを達成することと、

疾病治療、疾病予防、疾病回復及び健康長寿の過程において、持続の生命データ、医療健康データを導入することにより定量的に精細測定・算出を行い、疾病状態下での人々の負方向情緒を正方向情緒に変化させることによって、自己がリアルタイムに出力するバイタルサイ、生理信号定量的特徴指標の変更を絶え間なく重複に感知することによって、疾病治療効果、疾病の回復効果を向上させ、疾病予防、長寿の目的を達成し、疾病治療、回復、予防及び健康長寿過程に生じたデータ及び技術をツールとする理念を導入して、無線ネットワーク通信を基礎とし、他人の疾病治療、予防、回復及び健康長寿過程のシステム

10

20

30

40

50

技術実現を支援又は直接的に駆動することと、を含むことを特徴とする個人健康情報プラットフォームを提供する。

【0023】

好ましくは、健康長寿及び疾病治療、疾病回復の示範発頭人のメディア制度を確立し、発頭人の診療履歴及び生命データを定時的に放送し、メディアを介してリアルタイムに伝達し、比較、学習、模倣の示範テンプレートとして他人に疾病治療、疾病回復及び健康長寿過程の定量健康データを提供することを更に含む。

【0024】

好ましくは、前記プラットフォームは無線移動生命データ収集伝達端末、データ算出サービス中心とデータ記憶中心サーバ及び移動コンピュータ端末と固定型コンピュータ、移動通信端末などのハードウェア及びシステムソフトウェアプラットフォームから構成される。

10

【0025】

好ましくは、前記プラットフォームは通信伝達媒介としてインターネット通信プラットフォームを用い、ユーザが自己の健康銀行ウェブサイトの応用アカウントを登録し、ユーザの個人身分情報をバインドする。

【0026】

好ましくは、前記プラットフォームにおいて、各ユーザが生活及び作業環境で無線移動生命情報収集伝達端末を用い、端末がユーザの応用アカウントをバインドし、日常の使用において、無線移動生命情報収集伝達端末を介して、ユーザの生命データ、主観的な感受、薬の使用事件等の情報を自動的に収集し、無線方式を介してインターネットのデータ算出中心サーバ及びアカウント記憶サーバ中に自動的に送信する。

20

【0027】

伝達されたデータチェーンがユーザの個人身分情報をバインドし、ユーザが確立した応用アカウントに対応するデータベースに自動的に記憶して永久的に保存して随時呈露させる。

【0028】

データ算出中心サーバがデータを受信した後、クラウドコンピューティングモードを用いて大規模データを自動及びリアルタイム的に算出分析し、原則として各疾病診断が要する検査分析報告における各指標を洗練し、各単一項目生命状態特徴指標をそれぞれ算出し、そしてそれを組合して医療機構の相応疾病診断標準に合致する検査分析レポートを形成し、アカウント記憶サーバに伝送し、ユーザの応用アカウントに記憶して随時呈露させる。

30

【0029】

好ましくは、脳状態多特徴指標の抽出の過程を更に含み、その原始データは無線移動生命情報収集伝達端末のリアルタイムな脳波データに由来し、サービス算出中心の自動数学処理算出によって、大脳の異なる状態を代表する多項定量デジタル指数を取得し、脳状態の客観的な定量リアルタイム特徴指数によって、効果的な定量的脳使用習慣を確立し、脳状態を定量的に制御する方法及びテクニックを習得する。

【0030】

好ましくは、血流灌注分布の特徴指標抽出を更に含み、データは無線移動生命データ収集伝達端末のリアルタイムな血流灌注波に由来し、サービス算出中心の自動連続数学処理算出によって、異なる位置の血流灌注分布を代表する定量デジタル指数を取得し、血流灌注が人体代謝の需要であり、低血流灌注を低減・忍耐する訓練によって、人体局所の代謝需要を低減することを習得し、疾病状態下での人体器官保護と低灌注忍耐及び回復、長寿の基礎環境を確立する。

40

【0031】

本発明の上記技術案が従来技術に比べると、以下のメリットを有する。

(1) 本発明は人体信号の検出方法を提供し、前頭葉両側の脳波、前頭葉両側枰上の動脈血流灌注信号波及び肢体末梢の血流灌注信号波を収集し、処理後、頭部血流灌注指数、末梢血流灌注指数及び脳状態特徴指標を算出し、例えば、睡眠の状況、情緒状態が身体の

50

他の部分に設置される運行状態である人体状況の多くの情報がいずれも人脳で反映できるため、いずれも大脳の情報によって直接又は間接取得でき、このため、大脳状態情報の分析によって、大脳の運行状態を獲得し、これによって、人体身体状況評価及び医療サービスに根拠を提供する。

(2) 本発明に記載の人体信号の検出方法は、例えば、血管弾性取得、呼吸波分析などの他の人体特徴に対する検出を含み、様々な人体の特徴によって、身体の運行状況を反映し、健康評価、人体状況監視制御及び医療に多方面の根拠を提供する。

【図面の簡単な説明】

【0032】

本発明の内容を容易に理解させるために、以下、本発明の具体的な実施例に基づいて図面を参照しながら、本発明を詳細に説明する。

【図1】閉環フィードバック脳抑制療法を示す図である。

【図2】中央算出制御管理電気回路の構成図である。

【図3】変換器の構成を示す図である。

【図4】信号流れを示す図である。

【図5】血流灌注増幅器電気回路構成図である。

【図6】ペニス硬度増幅電気回路図である。

【図7】ペニス周径増幅電気回路図である。

【図8】ペニス血流増幅電気回路図である。

【図9】筋電増幅電気回路図である。

【図10】呼吸増幅電気回路図である。

【図11】脳波増幅電気回路図である。

【図12】心電増幅電気回路図である。

【図13】胸腹呼吸増幅電気回路図である。

【図14】眼動増幅電気回路図である。

【図15】相対運動量方法電気回路図である。

【図16】体重及び尿量測定増幅電気回路図である。

【図17】脳状態定量測定散布図である。

【図18】脳状態指数設定数値である。

【図19】クラウドコンピューティングシステムフレームである。

【図20】ロボット試合を示す図である。

【図21】思惟牽引制御電気回路図である。

【図22】ロボット動作信号収集電気回路図である。

【図23】健康銀行個人アカウント情報構成である。

【図24】生命データ治療疾病のフィードバックフレーム図である。

【発明を実施するための形態】

【0033】

〔実施例1〕

生命メンテナンスモードであって、

(1) 生命状態データを自動的に測定・算出し、検査項目を分解して単一項目表が変換した生命状態定量測定データとなることは、主に、

バイタルサインと生理データ信号をデジタル信号に変換することと、

デジタル信号を監護電気回路のフィルタ、ノイズ制御、増幅入力部分に送信し、相応監護モジュールによる各算出処理、加工を行った後、そしてモジュールのアナログ信号入力ポートを介して、それぞれ中央算出制御管理電気回路のアナログ・デジタル変換電気回路に送信することと、

処理後の上記信号がRS232インターフェース電気回路を介して中央算出制御管理電気回路の通信インターフェースに送信されることと、(中央算出制御管理電気回路は図2に示される。)

中央算出制御管理電気回路がデジタル化の上記信号データを取得した後、それぞれ暗号

10

20

30

40

50

化し、圧縮して、処理後のデータフローを獲得し、動的データリンクキャッシュメモリ行列に送信することと、

動的データリンクキャッシュメモリ行列が変更するデータ記憶と出力構成であることと

、

ネットワーク状態の異なりによって、データは記憶領域内での構成が異なっていることと、

中央算出制御管理電気回路によってネットワーク状態変更の中断事件触発を取得した後、収集したデータの異なり行列組合を制御することと、

書込コマンド制御下で、記憶行列のデータバッファに書き込むことと、

行列におけるデータが、中央算出制御管理電気回路の読込コマンド制御下で、データポートを介して無線インターネットアクセス制御電気回路に出力されることと、

インターネットアクセス制御電気回路部分がネットワークに対する自動ダイヤル、ネットワーク状態識別、TCP/IPモード信号変調、サブパッケージ、出力の機能を完成させ、データ記憶サーバ及びデータ算出サーバにアップロードすることと、を含む。

【0034】

また、生活状態データ及び主観的な感受データを収集する必要があると、これらデータの収集は、主観感受情報収集器によって実現され、主観感受情報収集器は携帯電話、タブレット、固定型コンピュータなどの様々なコンピュータ装置を含み、B/S構成のブラウザウィンドウ又はAPP応用ソフトウェア操作ウィンドウを入力操作インターフェースとし、マニュアル入力方式でデータを入力し、入力インターフェースがクリック選択方式を用いて異なる感受データ又は量のデータを選択する。上記データは直接コンピュータの無線、有線インターネットアクセスを介して健康銀行個人アカウントのデータ記憶と算出サーバにアップロードされる。

【0035】

ここで、収集する信号において、生命体特徴及び生理データは、更に、

脳波、頭部と末梢血流灌注波、ペニス血流灌注波、心波、脈拍酸素容積波、口鼻胸腹呼吸波、筋肉動作電位波、眼動波、呼吸末二酸化炭素濃度波の波形信号と、

脈拍数、非侵襲的な血圧、血糖、脈拍酸素飽和度、呼吸末二酸化炭素濃度、吸入酸素濃度、体温、呼吸回数、ペニス周径、ペニス硬度、ペニス温度、ペニス動脈酸素飽和度、尿量、相対肢体運動量、体重、運動発汗量の数値信号と、を含む。

【0036】

ここで、収集する生活状態データは、服薬、飲食、入水量、排便量を含む。

【0037】

また、収集する主観的な感受データは、疼痛分級、嘔吐分級、目まい分級、生活品質分級、思いむせぶこと、頻尿、尿液色、出血、下痢、便秘、大便色、慌てること、息苦しいこと、無力、目くらみ、哮喘、発熱、苛立ち、怒り、焦慮分級、憂鬱分級、寝つきが悪いこと、一過性不眠、夢を見ることを含む。

【0038】

ここで、図6はペニス硬度増幅電気回路図である。図7はペニス周径増幅電気回路図である。図8はペニス血流増幅電気回路図である。図9は筋電増幅電気回路図である。図10は呼吸増幅電気回路図である。図11は脳波増幅電気回路図である。図12は心電増幅電気回路図である。図13は胸腹呼吸増幅電気回路図である。図14は眼動増幅電気回路図である。図15は相対運動量方法電気回路図である。図16は体重及び尿量測定増幅電気回路図である。

【0039】

無線移動生命情報収集伝達端末はバイタルサイデータ収集、生理データ収集、主観的な感受データ収集などの三種類の生命データ自動収集の能力を含む。データをリアルタイムに自動的に無線インターネットに伝達する能力を含む。データの伝達がデータオーナーの個人身分アカウントをバインドし、移動情報収集端末のデバイス番号をバインドし、データ暗号化算法をバインドする。生命データ収集は、脳波、心波、脈拍数、非侵襲的な血圧

10

20

30

40

50

、血糖、脈拍酸素飽和度、呼吸末二酸化炭素濃度、吸入酸素濃度、体温、口鼻呼吸波、胸腹呼吸波、呼吸回数、面部筋電波、眼動波、末梢血流灌注波、頭部血流灌注波、ペニス血流灌注波、ペニス周径、ペニス硬度、ペニス温度、ペニス動脈酸素飽和度、相対肢体運動量（上下4肢）、体重、運動発汗量、尿量、主観的な感受（疼痛、嘔吐、目まい、思いむせぶこと、頻尿、出血、下痢、慌てること、息苦しいこと、無力、目くらみ、哮喘、発熱、苛立ち、夢を見ること、心理等）、服薬、飲食、入水量、排便量を含む。端末装置において、生命情報収集部サブパッケージは監護電気回路、算出制御電気回路、データ処理電気回路、動的データリンクキャッシュメモリ電気回路、無線インターネットアクセス制御電気回路、電源電気回路等の部分を含む。各部分の間の接続関係は下記の通りである。病人身体上の心電、脳波、血圧、血酸素等センサプローブによって、病人の相応バイタルサイ信号を電気信号に変換させ、当該信号が監護電気回路のフィルタ、ノイズ制御、増幅入力部分に送信され、相応監護モジュール（H X D _ I）による各算出処理、加工後に、そしてモジュールのR S 2 3 2通信ポート及びアナログ信号出力ポートを介して、それぞれ中央算出制御部分のアナログ・デジタル変換電気回路及びR S 2 3 2インターフェース電気回路に送信する。中央算出制御部分はデジタル化の上記生命データを取得した後、それぞれ暗号化、圧縮を行う。処理後のデータフローを獲得し、動的データリンクキャッシュメモリ行列に送信する。動的データリンクキャッシュメモリ行列は変更するデータ記憶及び出力構成である。ネットワーク状態の異なりによって、データが記憶領域内での構成が異なる。算出制御電気回路はネットワーク状態変更の中断事件触発を取得した後、収集したデータの異なり行列組合を制御する。書込コマンド制御下で、記憶行列データを書き込む。行列におけるデータが算出制御電気回路の読込コマンド制御下で、データポートを介して無線インターネットアクセス制御電気回路に出力される。インターネットアクセス制御電気回路部分がネットワークの自動ダイヤル、ネットワーク状態識別、T C Pモード信号変調、サブパッケージ、出力の機能を完成させる。主観的な感受及び事件情報は配置した移動端末通信装置（例えば携帯電話、P a dなど）を介して、インターネットブラウザモードクリック選択で選択入力され、自動的に通信機能で伝達される。

【0040】

（2）脳抑制法を結合させ、大脳皮質高級自己意識によって生命状態データを主動的に制御する変更を治療と回復、健康長寿の定量牽引手段とする。脳抑制法は後の実施例で詳細に紹介する。脳抑制療法であって、フィードバックパラメータとして頭部眼窩上動脈血流灌注指数をリアルタイムに収集し、注入ポンプを用い、鎮静剤注輸量制御下の静脈鎮静薬物を自動的にフィードバックし、脳皮質高級認知機能の酸素代謝要求を最低に低減させ、大脳皮質高級認知機能抑制を制御する。

【0041】

（3）生命状態データを分析・算出することによって、検査分析報告と健康傾向予測報告を形成し、疾病の発生及び発展を予測・予防する。

【0042】

（4）医療受診履歴と漢方医指示処方箋を提示根拠とし、ショートメッセージを介して在宅患者の検査治療行為を自動的に提示し、そして自動的に無応答ショートメッセージにより警報するサービスを提供する。

【0043】

本実施例において、新たな生命メンテナンスモードを創立し、第三種類生命メンテナンスモードと称し、疾病発生後、受診時に実施する臨床診断検査を生命データの系列単一自動測定算出項目に分解し、人々日常生活作業中に普及し、持続して開展し、連続の診断検査分析報告及び傾向を形成する。自動測定算出の生命データをツールとし、大脳皮質高級自己意識主動制御生命データの変更（ツールの使用変更）を治療と回復、健康長寿の定量牽引手段とする。形成した検査分析報告及び傾向を基礎とし、疾病の発生及び発展を予測・予防する。医療受診履歴と漢方医指示処方箋を提示根拠とし、ショートメッセージを介して在宅患者の検査治療行為を自動的に提示し、そして自動的に無応答ショートメッセージにより警報するサービスを提供する。全時空環境下、人体生命データ、医療健康データ

の収集、無線伝達、記憶、算出、レビュー、臨床診断検査分析報告、医療受診履歴、リアルタイムな対話、大閉環自主治療、自動初期警告警報、自動提示、自動疾病予防予測のモノのネットワークング広域マンマシン相互関係システムプラットフォームを構成し、個人デジタル健康銀行アカウントの確立によって、マンマシン相互関係の生命状態表現、調整、メンテナンスの知能モノのネットワークング応用情報サービスモードを実現する。宅化使用において、医療臨床検査項目を単一項目標準化の生命状態定量測定に分解し、生命状態情報を自組織分析算出し、様々な疾病生理、生命体特徴データ検査報告及び健康予測報告を形成する。モノのネットワークングモード下脳状態のリアルタイムに、定量多指標抽出のシステム技術実現を構成し、人の自然睡眠構成と品質の神経電気生理和血流灌注信号の総合定量特徴指標抽出と表現方法を構成する。血流灌注分布の測定を導入することによって、頭部及び末梢血流灌注を2つのユニットに画定し、血流と代謝の関係を利用し、それぞれ2つのユニット代謝需要を低減させる訓練パス及び方法を確立し、人々が疾病状態で、各器官が血流灌注に対する要求を低減させて低灌注レベルを耐えることができるようになる。疾病治療、疾病回復、疾病予防、健康長寿の第三種類生命メンテナンスモードとして生命監視測定メンテナンスニューモードを創立し、自己意識制御生命データの変化によって、健康長寿のターゲットを達成する。疾病治療、疾病予防、疾病回復及び健康長寿の過程において、持続の生命データ、医療健康データを導入することによって、定量的に精細測定・算出を行い、疾病状態での人々の負方向情緒を正方向情緒に変化させることによって、自己がリアルタイムに出力するバイタルサイ、生理信号定量特徴指標の変更を絶え間なく重複に感知することによって、疾病治療効果、疾病回復効果を向上させ、疾病予防、長寿の目的を達成し、ツールとして疾病治療、回復、予防及び健康長寿過程に生じたデータ及び技術を導入する理念は、無線ネットワーク通信を基礎とし、他人の疾病治療、予防、回復及び健康長寿過程のシステム技術実現を支援又は直接駆動する。ツールとしてこれらデータ及び技術を用い、ゲーム、競技試合を導入して疾病治療、回復、予防及び健康長寿過程に介入する理念は、健康レベルを絶え間なく向上させるとともに、社会有効財産の再分配の客観的な効果も果たす。健康長寿及び疾病治療、疾病回復の示範発頭人のメディア制度を確立し、発頭人の診療履歴及び生命データを定時的に放送し、メディアを介してリアルタイムに伝達し、他人に疾病治療、疾病回復及び健康長寿過程の定量健康データ比較、学習、模倣の示範テンプレートを提供する。システムプラットフォームは無線移動生命データ収集伝達端末、データ算出サービス中心とデータ記憶中心サーバ及び移動コンピュータ端末と固定型コンピュータ、移動通信端末等ハードウェア及びシステムソフトウェアプラットフォームから構成される。通信伝達媒介としてインターネット通信プラットフォームを用い、ユーザが自己の健康銀行ウェブサイトの応用アカウントを登録し、ユーザの個人身分情報をバインドする。各ユーザは生活と作業環境中で無線移動生命情報収集伝達端末を用い、端末がユーザの応用アカウントを臨時バインド（借用）又は固定バインド（購入）し、日常使用において、無線移動生命情報収集伝達端末を介して、ユーザの生命データ、主観的な感受、薬使用事件などの情報を自動的に収集し、無線方式を介してインターネットのデータ算出中心サーバ及びアカウント記憶サーバ中に自動的に送信する。伝達したデータチェーンがユーザの個人身分情報をバインドし、ユーザが確立した応用アカウントに対応するデータベースに自動的に記憶して永久保存して随時呈露させる。データ算出中心サーバがデータを受信した後、クラウドコンピューティングモードを用いて大規模データを自動的にリアルタイムに算出分析し、各疾病診断が要する検査分析報告における各指標を原則として洗練し、各単一項目生命状態特徴指標をそれぞれ算出し、組合して医療機構の相応疾病診断標準に合致する検査分析レポートを形成し、アカウント記憶サーバに伝送し、ユーザの応用アカウントに記憶して随時呈露させる。自己意識は生命データの変化を制御し、無線インターネットプラットフォームに基づき、規模化普及応用した疾病治療、疾病予防、疾病回復及び健康長寿の精細、規範、科学、定量の標準フロー及び方法を確立し、それを漢方医治療、西医治療と並列する第三種類人体健康メンテナンス及び疾病治療ニューモードにする。算出した単一項目特徴指標結果が、同期記憶保存される同時に、ユーザの固定型コンピュータ、手持ち移動端末、あるいは実際物体の移動制御駆動ユ

10

20

30

40

50

ニットに自動的に、リアルタイムに送信し、あるゲームプロセス又は実際物体の移動を駆動し、生命状態特徴指標の変更をゲームプロセス又は実際物体移動制御の競技試合中に変換する。ゲームプロセス又は実物の移動の制御を感知・習得すると、生命状態指標の制御を習得し、疾病の改善と治療及び健康保持の方法を習得する。このような方法の核心は、人のゲーム及び競技冒険の原始本能と金儲けの欲望を利用し、大脳の内部褒美機制の生理特徴を基礎とし、疾病治療、予防、回復及び健康長寿の持続性プロセスを駆動し、集中、愉快の疾病診療及び健康プロセスの良好心理環境を造営する。脳状態多特徴指標の抽出において、その原始データが無線移動生命情報収集伝達端末のリアルタイムな脳波データからのものであり、サービス算出中心の自動数学処理算出によって、大脳異なり状態を代表する多項定量デジタル指数を取得し、脳状態の客観的な定量リアルタイム特徴指数によって、効果的な定量的脳使用習慣を確立し、定量制御脳状態の方法及びテクニックを習得する。血流灌注分布の特徴指標抽出において、データが無線移動生命データ収集伝達端末のリアルタイムな血流灌注波からのものであり、サービス算出中心の自動連続数学処理算出によって、異なり位置の血流灌注分布を代表する定量デジタル指数を取得し、血流灌注が人体代謝の需要であり、低血流灌注を低減・忍耐する訓練によって、人体局部の代謝需要低減を習得し、疾病状態下での人体器官保護と低灌注忍耐及び回復、長寿の基礎環境を確立する。個人健康データはサーバに記憶され、銀行貯金の方式に類似し、個人生命データアカウントを確立する。アカウント下の生命健康情報は電子化方式で記憶され、個人が有する、プライバシー属性を持つ電子医療健康核心データレコードを形成し、データフレームが医療臨床情報化フレームを標準とし、制御するコンピュータ端末で身分識別方式で査閲表示、対話、処理及び制御することができる。アカウントに記憶されるデータはリアルタイム処理機能を有し、疾病特徴指標をリアルタイムに自動的に抽出でき、診断技術報告の生成及び疾病治療の元データに用いられる。治療情報及び測定検査情報（服薬あるいは血圧、血糖、体温測定等）をリアルタイムに自動的に抽出し、個人の移動端末上（携帯電話、移動コンピュータ、固定型コンピュータ）にリアルタイムに送信し、音声、ショートメッセージ、スクリーン表示等の方式で個人に通知して診療過程を実行させ、設定時間内に、実行の返答情報を受信しないと、アカウントがショートメッセージを設定した移動通信装置又は固定型コンピュータ上に自動的に送信し、他の人又は機構へ世話請求を提出し、更に、救急警報請求を提出する。アカウントは自動的に特定期間内の医療健康情報に対して初期健康予測を行い、個人移動端末又は指定の健康サービス提供者のコンピュータ上に定期的に送信して表示及び提示する。アカウントのオーナーはウェブサイトブラウザをマンマシン相互関係の応用ウィンドウとして、医療健康データの随時査閲表示を制御し、リアルタイムに対話の遠隔対話交フローウィンドウを確立し、情報を選択して閲読を許す受信方に伝達することを操作制御できる。メディア上日常流行の疾病治療、回復、予防及び健康長寿の情報流れを開拓し、日常人々が健康消費に用いられるツールとする。全時空データを基礎とする様々な疾病回復治療、予防及び長寿者の示範発頭人ガイドモードを確立し、リーダ健康情報公開プラットフォームを確立する。正確な、徐々に改善する又は完全回復する疾病治療人の回復プロセスの生命データ、及び長寿者の生命データを様々なメディア上にリアルタイムに自動的に開示して公開し、相応人々の模倣、対比、自己の疾病と健康長寿を予測するプロセス発展に日常化の客観的な定量ガイド情報とデータベースを提供する。自適応、定量比較、市場経済行為の健康管理モードを確立し、メディアの正エネルギー促進に内容を提供する。

【0044】

〔実施例2〕

本実施例は脳抑制療法を提供し、図1は閉環フィードバック脳抑制療法を示す図であり、主に、

(1) フィードバックパラメータとして頭部眼窩上動脈血流灌注指数をリアルタイムに収集するステップと、

(2)

頭部血流灌注指数の特徴指標を用い、閉環フィードバックを行って注入ポンプの静脈鎮

10

20

30

40

50

静薬物の注輸を制御し、前記フィードバック制御機構は定常状態調節システムであり、頭部血流灌注指数を最小にすることと、

フィードバックパラメータとして頭部眼窩上動脈血流灌注指数特徴指標を用い、閉環フィードバックで注入ポンプの静脈鎮静薬物の注輸を制御し、ターゲットを制御して頭部眼窩上動脈血流灌注指数を最小にすることと、

頭部柢上動脈血流灌注信号収集及び算出技術を用い、無線移動生命情報収集伝達端末を使用し、頭部眼窩上動脈の血流灌注信号を収集し、信号がWIFIモードにより処理コンピュータに送信され、コンピュータが信号に対して自動的に算出処理を行い、リアルタイムな灌注指数の定量数値を獲得し、標準RS232通信インターフェースを介して、制御コマンドを注入ポンプのコンピュータインターフェースに送信し、注入ポンプを制御して鎮静薬物を自動的に注輸し、皮質認知機能抑制の目的を達成することと、を含む

注入ポンプを用いて、鎮静剤注輸量制御下の静脈鎮静薬物を自動的にフィードバックするステップと、

(3) 脳皮質高級認知機能の酸素代謝要求を最低に低減させるステップと、

(4) 大脳皮質高級認知機能抑制を制御するステップとを含む。

【0045】

制御規則はTCIターゲット制御注輸モデルを用い、制御本体として血薬濃度を設定し、フィードバック調節として血流灌注指数を結合し、血薬濃度を増加又は低減させ、眼窩上動脈血流灌注を最小に自動的に制御し、定量制御によって自動睡眠鎮静疾病治療を行う。

【0046】

血流灌注は、疾病治療に対する作用が同様に明確である。特に重大疾病の治療である。人体頭部及び躯体の血流灌注変更（頭部疾病を除き）を積極的に制御し、治療効果を向上できる。高級皮質認知機能はエネルギーを消耗し、血流に携帯される酸素を消耗し、血流が頭部に対する灌注量を増加する。このようなエネルギー消耗は疾病の治療に対して一定の不良影響を与え、大脳高級認知機能がエネルギーに対する需要を制御し、大脳の認知機能を暫時抑制と休眠させ、この背景下で、疾病の治療を展開させ、大脳へ搬送する血流灌注を低減させ、疾病部位に灌注する血流を上昇させ、血に携帯される免疫細胞と抗体、及び酸素成分をもっと疾病部位に達させ、疾病の治療に対して正方向影響を与え、このような疾病治療背景を制御する方法は脳抑制療法と称する。フィードバックパラメータとして頭部眼窩上動脈血流灌注指数特徴指標を用い、閉環フィードバックで注入ポンプの静脈鎮静薬物の注輸を制御し、フィードバック制御機構は定常状態調節システムであり、ターゲットを制御して頭部眼窩上動脈血流灌注指数を最小にする。頭部柢上動脈血流灌注信号収集及び算出技術を用い、無線移動生命情報収集伝達端末を使用し、頭部眼窩上動脈の血流灌注信号を収集し、信号がWIFIモードにより処理コンピュータに送信され、コンピュータが信号に対して自動的に算出処理を行い、リアルタイムな灌注指数の定量数値を獲得し、標準RS232通信インターフェースを介して、Graseby3400注入ポンプを制御し、注入ポンプで鎮静薬物を自動的に注輸し、制御規則がTCIターゲット制御注輸モデルを用い、眼窩上動脈血流灌注を最小に自動的に制御する。

【0047】

〔実施例3〕

本実施例において、前記脳抑制療法に用いられる脳部信号収集方法を提供し、上記実施例2においてフィードバックパラメータとして頭部眼窩上動脈血流灌注指数をリアルタイムに収集することに用いられる方法は、

前頭葉両側の脳波、前頭葉両側柢上の動脈血流灌注信号波及び肢体末梢の血流灌注信号波を収集することと、

前記脳波、動脈血流灌注信号波及び肢体末梢の血流灌注信号波は変換器を介して前置き電気信号増幅電気回路に入り、信号がアナログ電気回路の整合フィルタにより増幅された後、アナログ・デジタル変換電気回路に入り、離散化のコンピュータデータセットに変換することと、（血流灌注増幅器電気回路構成は図5に示す。）

10

20

30

40

50

前記前頭葉両側枰上の動脈血流灌注信号波に基づき、頭部血流灌注指数を算出することと、

前記肢体末梢の血流灌注信号波に基づき、末梢血流灌注指数を算出することと、

脳波信号に対して処理して脳状態特徴指標を獲得することと、を含む。前記脳状態特性指標は、脳鬱散状態指数、脳集中状態指数、脳活性指数、脳思惟指数、脳含蓄指数、左右脳側性化指数、脳安定度指数、脳鎮静指数のうちの1種又は複数種を含む。

更に、心波形信号及び血流灌注信号に基づいて血管弾性を算出し、及び脳波信号及び大脳状態指標に基づいて大脳パワースペクトラムを算出することを更に含む。

【0048】

前記脳状態特徴指数に基づいて脳状態散布図を確立し、人脳状態の変更を取得する。

【0049】

前頭葉両側枰上の動脈血流灌注信号波が前頭葉の圧力センサ、レーザセンサ及び脳波センサにより取得される。

【0050】

本実施例において、モノのネットワークモード下脳状態のリアルタイムに、定量多指標抽出のシステム技術実現を構成することでは、脳状態に関する脳波及び頭部血流灌注変更の特徴指標抽出は、生理信号両導脳波、両導前頭葉枰上動脈血流灌注波の収集を用い、多序列脳波及び血流灌注の離散データを取得し、脳波データに対してウェーブレット算法、スペクトル分析算法、波形識別算法、ファジー算法の結合を施し、算出対象は一回データ、及び一回算出が取得した結果データ、多段階算出、重回帰反復、手術麻酔状態下脳波にフィッティングする変更特徴ベースデータ加重因子序列を含み、最終に大脳の目覚め時に異なる状態下の1セットの定量リアルタイム特徴指標を獲得し、それぞれは集中度指数 i_{22} 、鬱散度指数 i_{35} 、思惟強度指数 i_{48} 、感官敏感度指数 i_{52} 、準備度指数 i_{20} 、記憶加工指数 i_{60} 、左右脳興奮比指数 i_{50} 、鎮静度指数 WLi (ウェーブレット指数) を代表する。前頭葉枰上動脈血流灌注信号がウェーブレット解析算法及び微積分算法を用い、1セットの定量リアルタイム特徴指標を獲得し、それぞれは思惟離散度指数 g_{10} 、抑制度指数 g_{12} 、前頭筋動作指数 g_{15} を代表する。上記リアルタイム定量データをデータセットとし、多重反復加重算法を施し、規定任務のリアルタイム音声提示下で、鎮静時大脳の一組状態指標を獲得し、それぞれは大脳の左右脳側性化指数、内集中度指数、外集中度指数、反応速度指数、脳含蓄指数、脳鬱散指数、脳活性指数、脳疲労指数、倦困指数、記憶加工指数、脳エネルギー消耗指数、脳安定指数、思惟強度指数、脳鎮静時間比、脳注意散漫回数、目閉じ時間比、目開け時間比、目弾き回数、眼筋震顫時間比、左脳興奮時間比、右脳興奮時間比、外集中時間比、内集中時間比等の1系列定量データ分析結果を代表する。リアルタイムデータ分解ウィンドウは1.2秒であり、脳状態結果時間ウィンドウは6分間～12分間であり、データ単位は無次元指数化0～100変更である。脳波及び血流灌注波信号が変換器(上記請求項9に記載)を介して前置き電気信号増幅電気回路に入り、信号がアナログ電気回路の整合フィルタにより増幅された後、アナログ・デジタル変換電気回路に入り、離散化のコンピュータデータセットに変換し、CPUチップのデータフロー制御、暗号化算出及びデータ身分アドレスバインド整合によって、包装後のデータが無線通信制御電気回路中に送信され、データキャッシュメモリ、通信制御電気回路のインターネットアクセス自動識別、接続及びTCP/IPのデータパックを介して、無線インターネットプラットフォームに送信される。コンピュータ端はネットワークを介してデータをリアルタイムに受信した後、復号してデータに対してリアルタイムに算出処理を行い、リアルタイム音声指導下で、一回脳状態の定量分析算出を完成し、定量、普遍適応、比較可能の一組脳状態特徴指標を抽出する。

1. i_{35} : 脳鬱散状態指数
2. i_{22} : 脳集中度指数
3. i_{60} : 脳活性指数
4. i_{48} : 脳思惟強度指数
5. i_{52} : 脳含蓄指数

6. i_{66} : 左右脳側性化指数 (左右脳協調性指数)
7. i_{45} : 脳安定度指数
8. WL_i : 脳鎮静指数
9. 脳エネルギー消耗 : 脳興奮度レベル
10. 脳集中力 : 均一集中能力

分け : 内集中 — — — 自身に凝集される集中

外集中 — — — 外部に凝集される交流

1. 脳含蓄 (感覚閉鎖) : 自身が入力する能力、聞き、見、体感を閉じ
2. 脳鬱散 : 自己を均一する鬱散鎮静能力
3. 記憶加工 : 脳が記憶加工状態にあり、主に大腦が夢現状態にある
4. 脳疲労 : 脳疲労程度
5. 脳含蓄 : 感官入力を閉じる能力
6. 脳安定 : 1 種脳状態を維持する能力
7. 脳排空 : 大腦空明状態、自由想像状態
8. 倦困睡眠 : 脳倦困程度
9. 反応強度 : 脳状態の間の変換速度
10. 脳現在状態 : 脳能力、脳健康評価総点

【0051】

収集する左右リアルタイム集中、鬱散指数 (i_{22} 、 i_{35})、リアルタイム思惟強度指数、鬱散指数 (i_{48} 、 i_{35})、リアルタイム感官閉じ指数、思惟強度指数 (i_{52} 、 i_{48}) に対して散布図を生成し、脳状態の左右脳変更の形態学変化を示す。座標は i_{22} 、 i_{48} 、 i_{52} を縦座標とし、 i_{35} 、 i_{48} を横座標とし、それぞれ i_{22} の目盛り 240 及び i_{35} の横座標目盛り 40 に、 i_{48} の横座標 90 に縦線及び横線を設定し、座標領域を 4 つの象限に仕切る。それぞれ i_{22} 、 i_{35} 、 i_{48} 、 i_{52} データ点は散布図で 1 つの点と示される。散点の密度及び分布によって、異なる脳状態変更を示す。左右脳散布図によって、図から脳状態を明確でき、散点の分布から離合率、クラスタ等の情報を抽出して定量化抽出を行う。図 17 は脳状態定量測定散布図である。図 18 は脳状態指数設定数値である。

【0052】

〔実施例 4〕

本実施例において、一体に集成される脳波、前頭葉血流波信号変換器及び一組に独立される末梢血流波変換器であって、一体に集成される両導脳波、両導頭部桡上動脈血流波、及び 4 導独立末梢血流波変換器ユニットを備え、血管の血流が携帯する赤血球により変更が生じ、血流が血管壁に対して作用し、搏動を形成し、

センサにおける近赤外線レーザ発射器が、血管を照射して反射波を発生させ、一側に設置されるレーザ受信器が反射信号を受信し、出力とするとともに、血管部位に設置される圧力変換器が血管壁の搏動波を受け付けて、出力信号とし、

2 種類の信号が出力され、制御コンピュータチップの処理後、血流波を獲得し、

脳波センサがドライ電極金属片を媒介とし、頭部額部位に付着され、出力として頭部の電気信号を伝導する。

【0053】

一体化変換器は $12 \times 1.4 \times 0.4$ cm 範囲内の柔軟シリカ・ゲル上に固定され、弾性を有し、ストリップ状であり、環状に形成され、医用絆創膏の粘性テープで固定され、末梢血流センサは血流信号のみを収集し、体積が $3 \times 1 \times 0.3$ cm の柔性シリカ・ゲル上に固定される。図 3 に示す。

【0054】

前記変換器の作業方法は、

変換器の出力信号が電子信号変換増幅ユニットにより識別可能なアナログ電気信号に変換され、脳波信号収集増幅モジュール、血管血流波信号収集増幅モジュールを含み、変換器が収集する微小信号を増幅して干渉及び無効成分を消去し、それぞれアナログ・デジタ

10

20

30

40

50

ル変換器に伝送させ、離散してデジタル信号に変換させ、制御コンピュータチップで分配、算出、暗号化、圧縮のデータ処理フローを完成させ、

処理後のデータフローを獲得し、動的データリンクキャッシュメモリ行列に送信し、動的データリンクキャッシュメモリ行列は変更するデータ記憶及び出力構成であり、ネットワーク状態の異なりによって、データが記憶領域内での構成が異なり、

算出制御電気回路はネットワーク状態変更の中断事件触発を取得した後、収集したデータの異なり行列組合を制御し、

書込コマンド制御下で、記憶器行列に書き込み、行列におけるデータが制御コンピュータの読込コマンド制御下で、データポートを介して無線インターネットアクセス電気回路に出力され、インターネットアクセス電気回路部分がネットワークに対する自動ダイヤル、ネットワーク状態識別、TCPモード信号変調、サブパッケージ、出力の機能を完成させる。当該信号流れを示す図は図4である。

10

【0055】

本実施例において、一体に集成される脳波、前頭葉血流波信号変換器及び一組に独立される末梢血流波変換器を提供し、一体に集成される両導脳波、両導頭部桡上動脈血流波、及び4導独立末梢血流波変換器ユニットを備える。血管の血流が携帯する赤血球により変更が生じ、血流が血管壁に対して作用し、搏動を形成する。センサにおける近赤外線レーザ発射器が、血管を照射して反射波を発生させ、一側に設置されるレーザ受信器が反射信号を受信し、出力とするとともに、血管部位に設置される圧力変換器が血管壁の搏動波を受け付けて、出力信号とする。2種類の信号が出力され、制御コンピュータチップの処理後、血流波を獲得する。脳波センサがドライ電極金属片を媒介とし、頭部額部位に付着され、出力として頭部の電気信号を伝導する。一体化変換器は $12 \times 1.4 \times 0.4$ cm範囲内の柔軟シリカ・ゲル上に固定される。弾性を有し、ストリップ状であり、環状に形成され、医用絆創膏の粘性テープで固定される。末梢血流センサは血流信号のみを収集し、体積が $3 \times 1 \times 0.3$ cmの柔性シリカ・ゲル上に固定される。医用絆創膏テープで異なる肢体末端に固定される。変換器の出力信号が電子信号変換増幅ユニットにより識別可能なアナログ電気信号に変換され、脳波信号収集増幅モジュール、血管血流波信号収集増幅モジュールを含み、変換器が収集する微小信号を増幅して干渉及び無効成分を消去し、それぞれアナログ・デジタル変換器に伝送させ、離散してデジタル信号に変換させ、制御コンピュータチップで分配、算出、暗号化、圧縮のデータ処理フローを完成させる。処理後のデータフローを獲得し、動的データリンクキャッシュメモリ行列に送信する。動的データリンクキャッシュメモリ行列は変更するデータ記憶及び出力構成である。ネットワーク状態の異なりによって、データが記憶領域内での構成が異なる。算出制御電気回路はネットワーク状態変更の中断事件触発を取得した後、収集したデータの異なり行列組合を制御する。書込コマンド制御下で、記憶器行列に書き込む。行列におけるデータが制御コンピュータの読込コマンド制御下で、データポートを介して無線インターネットアクセス電気回路に出力される。インターネットアクセス電気回路部分がネットワークに対する自動ダイヤル、ネットワーク状態識別、TCPモード信号変調、サブパッケージ、出力の機能を完成させる。

20

30

【0056】

〔実施例5〕

本実施例において、睡眠分析方法を提供し、上記脳部信号に基づいて睡眠分析を行い、以下のステップを含む。

40

【0057】

神経電気生理測定方法及び頭部血流灌注測定方法の結合を利用し、頭部血流灌注及び末梢血流灌注信号指数である睡眠品質変更を直接示す生理信号を抽出し、睡眠過程状態変更及び睡眠構成、睡眠品質を定量的に示す生命データ表現方式及び特徴指標を創出し、

頭部血流灌注及び末梢血流灌注を睡眠測定的主要生理信号基礎とし、脳波信号を補助し、睡眠品質の客観的な記述を完成し、睡眠過程において頭部血流灌注及び躯体血流灌注の相対変更を露呈し、睡眠が疾病治療、健康長寿に対して影響する定量生理変更過程を反映

50

し、

収集する多導脳波及び多導血流灌注波に対してリアルタイムに算出することによって、睡眠構成変更を定量的に記述する脳波特徴表現指標を自動的に抽出し、睡眠品質変更及び健康状態変更を定量的に反映する頭部及び軀体末梢血流灌注が分布する特徴表現指標を自動的に抽出し、

脳波、頭部血流波及び末梢血流波信号収集変換器を用い、異なり状態下の人の多導脳波及び多導血流灌注波を収集し、これらリアルタイムなデータを受信したコンピュータシステムがデータに対して算出処理し、リアルタイムな定量特徴指標データを取得し、

波形識別算法、ファジー制御算法、スペクトル分析算法、ウェーブレット解析算法、重回帰算法、及び微積分等のデータ予め処理算法を用いてリアルタイムにデータを算出し、

脳波データに対して、時間窓加重を用い、スペクトル分析算法及びウェーブレット算法を実施し、所定ウィンドウ下の時間領域脳波信号の周波数領域パワー及び位相変更、及び所定母関数下のマルチスケールウェーブレット分解スケール空間の多重成分を算出し、時間領域成分を再構成する逆変換算法を介して、獲得した変換及び逆変換の一束データに対して、ファジー算法及び閾値抽出算法を実施し、一束ウェーブレット離散数値を獲得し、

睡眠状態を結合する重回帰算法を介して、加重指数化によって、一連の異なり睡眠状態を代表する定量脳波特徴指標を獲得し、

血流灌注波形データに対して、所定母関数のマルチスケールウェーブレット解析算法を用い、多導血流灌注波形の多束時間領域血流灌注波形の波形変化点を取得し、この基礎上、微積分及びフィッティング算出を施し、血流灌注波形の動的時間領域パワー及び相対速度を獲得し、睡眠状態下の異なる睡眠品質、睡眠構成の頭部及び末梢血流灌注信号を表現できる定量特徴指標を生成する。

【0058】

本実施例において、自動取得点解した異なる疾病発展変更に指す一束特徴指標群において、睡眠構成、睡眠品質、健康状態に関する脳波及び睡眠において頭部及び軀体末梢血流灌注分布の特徴指標抽出のデータ交換方法であって、神経電気生理測定方法及び頭部血流灌注測定方法の結合を利用し、頭部血流灌注及び末梢血流灌注信号指数である睡眠品質変更を直接示す生理信号を抽出し、睡眠過程状態変更及び睡眠構成、睡眠品質を定量的に示す生命データ表現方式及び特徴指標を創立する。頭部血流灌注及び末梢血流灌注を睡眠測定の主要生理信号基礎とし、脳波信号を補助し、睡眠品質の客観的な記述を完成し、睡眠過程において頭部血流灌注及び軀体血流灌注の相対変更を露呈し、睡眠が疾病治療、健康長寿に対して影響する定量生理変更過程を反映する。収集する多導脳波及び多導血流灌注波に対してリアルタイムに算出することによって、睡眠構成変更を定量的に記述する脳波特徴表現指標を自動的に抽出し、睡眠品質変更及び健康状態変更を定量的に反映する頭部及び軀体末梢血流灌注が分布する特徴表現指標を自動的に抽出する。指標の抽出算出はリアルタイムであり、大脳睡眠状態を定量客観的に反映し、更に健康状態の生理及び病理変更を反映する。脳波、頭部血流波及び末梢血流波信号収集変換器を用い、異なり状態下の人の多導脳波及び多導血流灌注波を収集し、これらリアルタイムなデータを受信したコンピュータシステムがデータに対して算出処理し、リアルタイムな定量特徴指標データを取得する。波形識別算法、ファジー制御算法、スペクトル分析算法、ウェーブレット解析算法、重回帰算法、及び微積分等のデータ予め処理算法を用いてリアルタイムにデータを算出する。脳波データに対して、時間窓加重を用い、スペクトル分析算法及びウェーブレット算法を実施し、所定ウィンドウ下の時間領域脳波信号の周波数領域パワー及び位相変更、及び所定母関数下のマルチスケールウェーブレット分解スケール空間の多重成分を算出し、時間領域成分を再構成する逆変換算法を介して、獲得した変換及び逆変換の一束データに対して、ファジー算法及び閾値抽出算法を実施し、一束ウェーブレット離散数値を獲得する。睡眠状態を結合する重回帰算法を介して、加重指数化によって、一連の異なり睡眠状態を代表する定量脳波特徴指標を獲得する。血流灌注波形データに対して、所定母関数のマルチスケールウェーブレット解析算法を用い、多導血流灌注波形の多束時間領域血流灌注波形の波形変化点を取得し、この基礎上、微積分及びフィッティング算出を施し、

血流灌注波形の動的時間領域パワー及び相対速度を獲得し、睡眠状態下の異なる睡眠品質、睡眠構成の頭部及び末梢血流灌注信号を表現できる定量特徴指標を生成する。

【0059】

〔実施例6〕

本実施例において、上記脳抑制法及び第三生命メンテナンスモードに基づく個人健康情報プラットフォームを提供し、図23に健康銀行個人アカウント情報構成図を示し、

人体生命データを取得し、医療健康データを収集することと、

医療臨床検査項目を分解して単一項目標準化の生命状態定量測定となり、自組織分析して生命状態情報を算出し、様々な疾病生理、生命体特徴データ検査報告及び健康予測報告を形成することと、

モノのネットワークモード下で、脳状態のリアルタイムな、定量的な多指標抽出のシステム技術実現を構成し、人の自然睡眠構成と品質の神経電気生理及び血流灌注信号総合定量特徴指標抽出及び表現方法を構成することと、

血流灌注分布の測定を導入することによって、頭部及び末梢血流灌注を2つのユニットに画定し、血流と代謝の関係を利用し、それぞれ2つのユニット代謝需要を低減させる訓練パス及び方法を確立し、人々が疾病状態下で、各器官が血流灌注に対する要求を低減させて低灌注レベルを耐えることができるようになることと、

疾病治療、疾病回復、疾病予防、健康長寿の第三種類生命メンテナンスモードとして生命監視測定メンテナンスニューモードを創立し、自己意識制御生命データの変化によって、健康長寿のターゲットを達成することと、

疾病治療、疾病予防、疾病回復及び健康長寿の過程において、持続の生命データ、医療健康データを導入することによって、定量的に精細測定・算出を行い、疾病状態下での人々の負方向情緒を正方向情緒に変化させることによって、自己がリアルタイムに出力するバイタルサイ、生理信号定量特徴指標の変更を絶え間なく重複に感知することによって、疾病治療効果、疾病回復効果を向上させ、疾病予防、長寿の目的を達成し、ツールとして疾病治療、回復、予防及び健康長寿過程に生じたデータ及び技術を導入する理念は、無線ネットワーク通信を基礎とし、他人の疾病治療、予防、回復及び健康長寿過程のシステム技術実現を支援又は直接駆動することと、を含む。

【0060】

また、健康長寿及び疾病治療、疾病回復の示範発頭人のメディア制度を確立し、発頭人の診療履歴及び生命データを定時的に放送し、メディアを介してリアルタイムに伝達し、他人に疾病治療、疾病回復及び健康長寿過程の定量健康データ比較、学習、模倣の示範テンプレートを提供する。前記プラットフォームは無線移動生命データ収集伝達端末、データ算出サービス中心とデータ記憶中心サーバ及び移動コンピュータ端末と固定型コンピュータ、移動通信端末などのハードウェア及びシステムソフトウェアプラットフォームから構成される。前記プラットフォームは通信伝達媒介としてインターネット通信プラットフォームを用い、ユーザが自己の健康銀行ウェブサイトの応用アカウントを登録し、ユーザの個人身分情報をバインドする。各ユーザが生活及び作業環境で無線移動生命情報収集伝達端末を用い、端末がユーザの応用アカウントをバインドし、日常使用において、無線移動生命情報収集伝達端末を介して、ユーザの生命データ、主観的な感受、薬使用事件等の情報を自動的に収集し、無線方式を介してインターネットのデータ算出中心サーバ及びアカウント記憶サーバ中に自動的に送信する。伝達したデータチェーンがユーザの個人身分情報をバインドし、ユーザが確立した応用アカウントに対応するデータベースに自動的に記憶して永久保存して随時呈露させる。データ算出中心サーバがデータを受信した後、クラウドコンピューティングモードを用いて大規模データを自動的にリアルタイムに算出分析し、各疾病診断が要する検査分析報告における各指標を原則として洗練し、各単一項目生命状態特徴指標をそれぞれ算出し、組合して医療機構の相応疾病診断標準に合致する検査分析レポートを形成し、アカウント記憶サーバに伝送し、ユーザの応用アカウントに記憶して随時呈露させる。上記プラットフォームは、脳状態多特徴指標の抽出の過程を更に含み、その原始データが無線移動生命情報収集伝達端末のリアルタイムな脳波データからのものである

り、サービス算出中心の自動数学処理算出によって、大脳異なり状態を代表する多項定量デジタル指数を取得し、脳状態の客観的な定量リアルタイム特徴指数によって、効果的な定量の脳使用習慣を確立し、定量制御脳状態の方法及びテクニックを習得する。当該プラットフォームは、血流灌注分布の特徴指標抽出を更に含み、データが無線移動生命データ収集伝達端末のリアルタイムな血流灌注波からのものであり、サービス算出中心の自動連続数学処理算出によって、異なり位置の血流灌注分布を代表する定量デジタル指数を取得し、血流灌注が人体代謝の需要であり、低血流灌注を低減・忍耐する訓練によって、人体局部の代謝需要低減を習得し、疾病状態下での人体器官保護と低灌注忍耐及び回復、長寿の基礎環境を確立する。

【0061】

個人医療受診情報、日常持続のバイタルサイ及び生理データ情報、日常個人の健康主観的な感受と疾病主訴情報、入量と出量、個人在宅化の経口薬物治療情報を結合する個人医療健康電子データ記憶プラットフォームである。データの記憶と使用はインターネットブラウザの操作インターフェースでマンマシン相互関係を実現し、個人安全制御を有する、銀行貯金のような医療健康銀行アカウントを設立し、医療健康データを記憶して査閲する。医療受診情報は手動方式で個人医療健康アカウントに入力され、日常持続の生命体特徴及び生理データは無線移動生命データ収集伝達端末によって収集され、リアルタイムに無線インターネット通信プラットフォームを介して個人アカウントに自動的にアップロードされる。個人の主観的な感受及び主訴、薬物治療、食量、飲水、排便量、尿量等の情報は移動通信端末のAPPアプリケーションにより個人アカウントに入力されてアップロードされる。アカウントにおける医療健康情報は医療臨床情報化(CIS)フレームを基礎とし、病案、処方、治療、検査、映像、医師指示、体徴情報が含まれる。個人アカウントデータは数値、図像、傾向変更曲線、文字リポート及びリアルタイム波形等の方式で呈露され、時間ウィンドウ、データ組合、データ発掘を柔軟に選択する様々なデータ表示方式を有する。収集する生命データを分項算出記憶し、疾病診断検査分析報告フォーム及び内容組合に基づいて検査リポートを生成して、記憶して査閲する。アカウントにおいて治療及び医師指示情報は時間要求に応じて、接続されるショートメッセージ通信プラットフォームを介して個人の通信端末(携帯電話、移動コンピュータ、固定型コンピュータ)に自動的に送信され、音声、ショートメッセージ、スクリーン表示等の方式で個人に通知して診療過程を実行させ、設定時間内に、実行の返答情報を受信しないと、アカウントがショートメッセージを設定した移動通信装置又は固定型コンピュータ上に自動的に送信し、他の人又は機構へ世話請求を提出し、更に、救急警報請求を提出する。アカウントは自動的に特定期間内の医療健康情報に対して初期健康予測を行い、個人移動端末又は指定の健康サービス提供者のコンピュータ上に定期的に送信して表示及び提示する。アカウントにおいてリアルタイムに対話ウィンドウを設立し、ビデオ、文字、波形、数値、傾向変更等の形式で、医者と個人との間、個人と個人との間に相互にリアルタイムに交流し、リアルタイムに診察する。アカウントの応用はコンピュータ及び知能移動通信装置をバインドし、ネットワークウェブサイト閲覧方式で2つのコンピュータでデータ内容を査閲及び表示する。

【0062】

本方案において、メディア上日常流行の疾病治療、回復、予防及び健康長寿の情報流れを確立し、日常人々が健康消費に用いられるツールとする。全時空データを基礎とする様々な疾病回復治療、予防及び長寿者の示範発頭人ガイドモードを確立し、医療健康知識定量化精細普及教育及び自己育成モードを確立し、リーダ健康情報公開プラットフォームを確立する。その特徴は、個人の健康銀行アカウントを基礎とし、メディア上(ネットワーク、テレビ、平面)で、一部の自然人の完整医療履歴及び生命データを毎日定時的に公布し、これらの人は医療委員会のスクリーニング及び生命データ競技試合の勝利率高低により選択され、有償方式で、彼らの医療履歴及び生命データを完全開示する。これらの人はある疾病の正確治療及び正確回復の過程を代表し、様々な癌症の回復者、慢病制御の優秀者、健康優秀の妊娠過程の優良婦人、及び百歳以上の長寿老人を含む。彼らは正確な疾病治療方法、正確な疾病回復過程、正確な慢病管理方法、正確な生活履歴と飲食内容、正確な

生活心理状態と情緒変更、正確な体育トレーニングと労働履歴、正確な疾病受診方法と老年看護を代表する。無線移動生命情報収集伝達端末及び個人健康アカウントを用い、リアルタイムに生命データと医療受診データを収集し、メディアの展示ウィンドウに自動的にアップロードし、全国の人々へ定時的に播送する。これらデータは、医療受診情報、治療情報、主観的な感受情報、運動量情報、飲食情報、排出量情報、生命体特徴情報、生理パラメータ情報、在宅化の簡単生化測定情報を含む。これらデータは人々の模倣、比照、自身疾病発展予測と健康長寿過程の参照内容をし、自身の対応生命データと医療履歴を前後比較してフィッティングし、自己疾病治療、慢病回復及び健康長寿の参照テンプレートを発見し、人々が自然生活作業環境において科学的な、定量的な正確健康長寿を実現する生存ターゲット履歴を確立し、絶え間ない生命データ、生活データの定量化比較において、疾病と健康知識の取得及び自己育成を獲得する。自適応の、市場経済行為の健康管理モードを実現し、メディアの正エネルギー促進に内容を提供する。スター育成、スター追い、ウェイボー名人、ドラフト等のファッション業界の影響力モードを健康長寿及び疾病治療回復の過程に馴染む。これら示範人が、健康示範発頭人として、健康スター、健康達人になり、定量データの基礎で、人々が科学的、理性的な健康長寿過程をガイドする。同時に、自己に名と利の合理収穫をもたらす。

10

【0063】

〔実施例7〕

本実施例は上記実施例1～6の方案を一体に集合するシステムを提供し、本発明の目的はインターネットプラットフォームに基づく生命データ自動収集算出、リアルタイム対話及び脳抑制療法、脳状態定量特徴表現、睡眠構成の血流灌注定量特徴表現、閉環自主生命データ駆動治療の情報交換方法及び長寿定量牽引の実現を提供する。

20

【0064】

本発明が基づく思考は、人々の医療行為、健康保健行為を生命のメンテナンスモードと見なすことができる。様々な方法で生命のプロセスを伸ばす。現在の医療健康フローは西医診療モードと漢方医診療モードに分けられ。医療健康モードとして、完璧、科学的な理論体系及び標準化、規範化の検査、診断、治療、回復、保健の完全操作フローを具備する必要がある。西医は解剖学、化学の基礎上で発展してきた生命メンテナンス学科である。漢方医は陰陽協調、平衡、自然、物質相生相克の素朴伝統文化基礎上で発展してきた生命メンテナンス学科である。西医は化学物質和手術治療で生命体を干与するプロセスである。漢方医は、植物、御灸、マッサージ等を用いて生命体を干与するプロセスである。この2種類のモードはいずれも、外力で疾病及び健康行きを変更させる方法である。長期間の医学発展過程において、人々は多くの疾病が人の精神心理に関わり、人の自身抵抗力に関わると気づく。人体内部が疾病治療、健康改善、延年の内在機制及び作用力を有すると分かる。無論、健康破壊、疾病誘致、死亡の逆方向作用力を有する。このような作用力は、よいものであっても、健康に有利なものであっても、悪いものであっても、身体に有害なものであっても、いずれもいつの間にかに発生するものである、人々の自然意識及び認知はこの過程を気づけなく、更に、この過程を主動、意識的に干与することが不可能である。結論として、身体内部に疾病と健康に影響を与える力量がある。現在、このような力量は、激発されなく、ただ自然又は潜在力、第六感等の玄学範疇に含まれる。つまり、疾病治療及び健康長寿は半分（半分と暫定）の力量はまだ利用されなく、特に疾病予防の力量がぜんぜん利用されない。つまり、人の寿命が発育周期の4倍ぐらいになる因素であるが、動物がその発育周期の7倍に達することができる。

30

40

【0065】

人の皮質高級認知は学習能力を有し、同時に忘却能力を持ち、怠惰に傾く。大脳皮質高級認知の感情機能は人と動物の区別で、長期にわたり進化してきたものである。皮質機能が生命資源を消耗し、人の寿命が低減する因素になると言える。正確な生活方式、正確な科学的な脳使用方式は、人の健康及び長寿に対して極めて重要な作用を果たす。高級皮質認知機能を健康及び長寿に対して積極的な促進作用に変更すれば、人の寿命を100～150歳の正常な生命規律周期までに大いに高めることができる。血流分布や呼吸はいずれ

50

も生命体が酸素成分やエネルギーを取得することを決定する因素であり、それら大脳高級皮質機能の影響を受け、更に間接的に制御される。生命過程において、ある疾病は本来、大脳により直接制御されるものであり、例えば、睡眠が挙げられ、人が生まれた後、誰でも睡眠し、特に少年時期に、寝たければ寝ることができる。なぜ不眠になって、焦慮や憂鬱が生じるかについて、主に、外部の相応する刺激を受け、睡眠を犠牲にしてある認知任務を完成する必要があるから、その中、正方向や負方向情緒過程を伴うことがあり、一部の人の人にとって、負方向情緒を伴うと、大脳は睡眠の方法を忘却し、この過程は短い可能性があり、何日かの時間で不眠の結果になる恐れがある。薬物依存も1つの例である。大脳がエンケファリンを分泌することは本能的な過程であるが、外部からアヘン類の物質が入ると、大脳はすぐにエンケファリンの分泌能力を忘却し、同時に、引き起こした愉快な情緒によって、大脳がまた外部から絶え間なくこの物質を要求する習慣を習い、薬物の依存となる。薬物依存症からの回復過程はまた1つの逆方向過程であり、苦痛な負方向情緒過程によって、大脳が外部物質からの愉快な記憶を抑制し、大脳がまたエンケファリンの分泌方法を身につけるようになる。これによって、大脳に改めて睡眠の方法を習得させることは可能であり、あるいは愉快な情緒を伴うことによって、大脳が既に忘却した能力を習得することができ、さらに、前に具備しなかった健康長寿の能力を習得できることは見える。

10

【0066】

西医、漢方医診療モードと行列する第三種類生命メンテナンスモードを創立し、身体内部の力量を激発して利用し、疾病治療、疾病回復、疾病予防、健康長寿の方法とし、生命メンテナンスモードと称する。その核心は、承継性、創新性、発展性を有する理論体系を確立し、現代通信技術、インターネット技術、医療臨床情報化技術、デジタル信号処理技術、算出数学技術、人工知能技術、自動化技術、生物医学工程技術、電子技術を基礎とし、伝統医学臨床体系を承継し、持続定量化生命データ測定算出を根拠とし、大脳の高級皮質神経中枢と深部脳神経中枢、植物神経中枢との間の感知通路を設立し、皮質機能の認知と感情制御を手段とし、自己意識下で生命データの変化を自由制御し、治療、健康、延年の最終ターゲットを達成する。

20

【0067】

疾病治療の背景環境を創立し、現在常規治療方法の効果を最大化にする。疾病治療の背景環境は疾病治療の効果に影響を与え、精細化の背景制御手段を利用し、疾病治療の過程を豊富豊富・完善する。背景の制御は主に大脳高級皮質認知機能の抑制及び休眠を手段とし、背景の制御を実現する。

30

現代科学技術の高速発展、及び伝統医学との日々融合は、医学技術及びモードの革命性発展に条件を提供する。孤立の、明らかに感覚がある生命状態変更が生じた後の医療受診方式を、持続の、明らかな生命状態変更の感覚がない時に既に医療受診及び健康保健の全過程にあったように変更させ、かつ、このような過程において大部分時間が医療等級の、診断が要する検査測定、診断過程、治療と回復、亜健康制御等の持続の生命過程管理であり、第三種類生命メンテナンスの規範化診療環節フローのニューモードを確立する。各環節は、現在の診療モードに対して承継性を有するとともに、発展及び創新性を有する。診断環節に対して、まず、臨床医療診断が要する検査項目を精細化して、簡単な操作可能な在宅化使用の生命データ算出内容となり、日常において絶え間なく重複するデータ収集及び測定項目となり、組合して疾病診断検査分析レポートとなり、疾病及び健康状態を予測する。診断検査測定環節のニューモード及び規範化内容を確立する。そして、持続の、在宅環境において疾病検査測定環節に応用できる生命データ収集算出技術と方法を利用し、自己意識下での高級皮質機能制御生命データ変更の疾病治療、回復及び健康長寿の方式を確立し、第三種類生命メンテナンスモードの核心創新内容を形成する。このような創新の実現は、解剖学、化学が西方医学創立に対する貢献に類似し、現代科学技術において無線通信、インターネット、算出数学、医学生物学工程、ビッグデータ技術をサポートプラットフォームとし、実現の基礎と保証である。無線インターネット通信システムを利用し、自己意識下での高級皮質機能制御生命データ変更の疾病治療、回復及び健康長寿の方式は制御論

40

50

体系内の閉環フィードバック定常状態システム調節機構であり、制御論において精確定量データ調節のモデル算法を導入し、大閉環、ビッグデータの人工知能フレーム下での診療健康モードを形成する。制御論における標準化、定量化フローに類似し、標準化、規範化、定量化の疾病治療、疾病予防、疾病回復及び健康長寿のフロー及び方法を確立できる。治療と回復過程に娯楽、競技試合の応用形式であり、生来の大脳学習能力の特徴を利用し、生命データ変更を絶え間なく重複嘗試制御する過程において、大脳皮質が意識的に生命データを調整するテクニックを習得する。

【0068】

技術の実現は無線インターネット通信及びハードウェア担体を基礎とし、無線移動生命情報収集端末をツールとし、生命データ特徴指標自動抽出を核心とし、医療検査結果報告自動算出生成を根拠とし、ビッグデータクラウドコンピューティングフレームを支持とし、生命データ診療データの銀行化入金と出金をバックステージとし、在宅化持続生命データ収集と伝達を表現とし、ネット上医患リアルタイム対話を方法とし、ゲームと競技化試合過程を手段とし、人々の健康長寿に完全な、基礎、ツール、核心、根拠、支持、バックステージ、表現、方法、手段を含んで伝統医療サービスモードと行例する第三種類生命メンテナンスモードを創造し、実行可能化、サービス精細化、過程科学化、技術承継化、使用経済化等を実現できる強大な応用可能性、有効性及び創新性を有する。疾病予防、疾病診断及び治療の新たな診療サービスの補助方法を創造する。人々の疾病予防、治療、回復及び健康長寿の需要に愉快と刺激を有する新たなドアを開く。

【0069】

本発明の核心理念は、第三種類生命メンテナンスモードを確立し、疾病発生後、受診時に実施する臨床診断検査を生命データの系列単一自動測定算出項目に分解し、人々日常生活作業中に普及し、持続して開展し、連続の診断検査分析報告及び傾向を形成する。自動測定算出の生命データをツールとし、大脳皮質高級自己意識主動制御生命データの変更（ツールの使用変更）を治療と回復、健康長寿の手段とする。形成した検査分析報告及び傾向を基礎とし、疾病の発生及び発展を予測・予防する。医療受診履歴と漢方医指示処方箋を提示根拠とし、ショートメッセージを介して在宅患者の検査治療行為を自動的に提示し、そして自動的に無応答ショートメッセージにより警報するサービスを提供する。

【0070】

本発明はハードウェアシステム、ソフトウェアプラットフォーム、応用モードの3つの部分を含む。ハードウェアシステムは生命情報収集センサ、無線移動生命情報収集伝達端末、主観感受情報収集器、家庭診療健康情報提示ステーション、生命データ感知学習制御装置、及び相応するデータ記憶サーバ、データ算出サーバ等の部分かれ構成され、生命データ、医療履歴、主観的な感受情報の収集、情報の伝達通信、疾病治療、回復の制御等の任務を完成させる。ソフトウェアプラットフォームは管理医療健康情報がインターネットプラットフォーム下での情報交換過程の作用を果たし、プラットフォームは相互集成及び相対独立のモジュール化システムで存在し、健康銀行ウェブサイトシステム、生命データ算出システム、個人在宅検査治療情報提示警報管理システム、系列検査報告生成システム、生命データ特徴指標自動抽出システム、クラウドコンピューティング自動分配管理システム、単一項目生命データ算出サービス管理システム、自適応生命データ感知閉環フィードバックシステム、データ放送情報管理システム等のシステムから構成される。応用モードは生命データ算出結果と疾病治療、慢病制御の過程データ治療疾病と疾病回復、健康長寿のボーナス競技試合を使用する健康情報消費モードと、疾病治療と疾病回復、健康長寿の過程を個人ゲームに馴染む情報消費モードと、疾病治療、回復及び健康長寿の示範発頭人データ公示テンプレート応用等のメディア伝播応用モードとを含む。

【0071】

無線移動生命データ収集伝達端末の組成は3つのユニットを含む。第1のユニットは生理、生命信号収集変換器であり、第2のユニットは生命情報収集伝達端末ホストであり、第3のユニットは手持ち通信端末又は移動、固定型コンピュータのウェブサイト入力インターフェースを含む。収集変換器収集する生命体特徴及び生理データは、脳波、頭部と末

10

20

30

40

50

梢血流灌注波、ペニス血流灌注波、心波、脈拍酸素容積波、口鼻胸腹呼吸波、筋肉動作電位波、眼動波、呼吸末二酸化炭素濃度波の波形信号と、脈拍数、非侵襲的な血圧、血糖、脈拍酸素飽和度、呼吸末二酸化炭素濃度、吸入酸素濃度、体温、呼吸回数、ペニス周径、ペニス硬度、ペニス温度、ペニス動脈酸素飽和度、尿量、相対肢体運動量（上下4肢）、体重、運動発汗量の数値信号とを更に含む生命体特徴及び生理データとを含む。収集する生活状態データは、服薬、飲食、入水量、排便量を含む。収集する主観的な感受データは、疼痛分級、嘔吐分級、目まい分級、生活品質分級、思いむせぶこと、頻尿、尿液色、出血、下痢、便秘、大便色、慌てること、息苦しいこと、無力、目くらみ、哮喘、発熱、苛立ち、怒り、焦慮分級、憂鬱分級、寝つきが悪いこと、一過性不眠、夢を見ることを含む。基本電気回路は図1～図15を参照する。

10

【0072】

端末ホストは生理信号及び証明体症信号の増幅、整形、変換受信、暗号化、バック、通信等の作業を完成し、ここで、監護電気回路を含み、ここで、信号変換電気回路、信号増幅電気回路、フィルタ電気回路等の信号整形増幅電気回路、及び中央算出制御管理電気回路、通信インターフェース電気回路、動的データリンクキャッシュメモリ電気回路、無線インターネットアクセス制御と自動サブパッケージアップロード電気回路、電源電気回路等の部分を含む。各部分の間の接続関係は下記の通りである。人体の脳波、血流灌注、心電、脳波、血圧、血酸素、呼吸、体温等生理波形信号及び生命体特徴数値信号変換器プロンプによって、人体の相応バイタルサイ、生理信号を電気信号及びコンピュータ数値信号に変換し、電気信号が監護電気回路のフィルタ、ノイズ制御、増幅入力部分に送信され、相応監護モジュール（HXD_I）による各自算出処理、加工後に、そしてモジュールのアナログ信号入力ポートを介して、それぞれ中央算出制御管理電気回路のアナログ・デジタル変換電気回路に送信され、生命数値信号がRS232インターフェースを介して中央算出制御管理電気回路の通信インターフェース電気回路に送信される。中央算出制御管理電気回路はデジタル化の上記生命データを取得した後、それぞれ暗号化、圧縮を行う。処理後のデータフローを獲得し、動的データリンクキャッシュメモリ行列に送信する。動的データリンクキャッシュメモリ行列は変更するデータ記憶及び出力構成である。ネットワーク状態の異なりによって、データが記憶領域内での構成が異なる。算出制御管理部分はネットワーク状態変更の中断事件触発を取得した後、収集したデータの異なり行列組合を制御する。書込コマンド制御下で、記憶行列のデータバッファへ書き込む。行列におけるデータが算出制御管理電気回路の読込コマンド制御下で、データポートを介して無線インターネットアクセス制御電気回路に出力される。インターネットアクセス制御電気回路部分がネットワークの自動ダイヤル、ネットワーク状態識別、TCP/IPモード信号変調、サブパッケージ、出力の機能を完成させ、データ記憶サーバ及びデータ算出サーバにアップロードされる。

20

30

【0073】

システムにおける監護モジュールは登録販売許可を有する華翔多機能組合式監護装置（HXD_I）を用いる。その多機能モジュールは常規バイタルサイ及び脳機能指標の監視測定を含み、同時に、常規バイタルサイの二次算出に対して、多項機能監視測定指数を取得した。

40

【0074】

データの収集は分布算出処理モードでそれぞれ異なる制御ユニットに完成され、バイタルサイのデータ収集を含み、取得したデータが循環二進法行列構成で算出制御ユニットに整合される。中央算出制御管理電気回路は標準のデータ構成、統一なデータ周波数で、ローカルマシンがネットワークでの名称構成を合わせて、端末の名称構成は以下である。

【0075】

端末機器アドレス＝ネットワーク範囲内の唯一アドレス番号＋ネットワークサーバの固定IPアドレス

ネットワーク内最大機器数＝65535

データに対して暗号化処理と圧縮を実施する。整合のデータフローはリンク記憶行列中

50

に入る。データウィンドウは8つの `be t y` である。

【0076】

$L \text{ フローウィンドウ} = w a v e l e t (m 1 + m 2 + m 3 + m 4 + a d d r + a s y n + d a t a 1 + d a t a 2)$

`m 1`、`m 2`、`m 3`、`m 4`はモジュール伝送のデータ、`as yn`は同期、`da ta`はデータと暗号化パッケージである。

【0077】

システムデータ送信及び状態受信、コマンド受信はシステム実用化の根本保証であり、システムの安全使用のキー環節の1つでもある。移動時に、GPRSとCDMAは安定なインターネットアクセス技術ではない。多くの環節はデータ伝送の効果に影響を与える。数値型データの伝送に対して、UDPパッケージを用いることができる。複数回送信の方式で、サーバが一回の有効データ実体を受信することを保証する。波形図像の伝達は、連続性及び排他性を要求する。データを失うことがいけない。これは本項技術の難題である。データの暗号化及び圧縮は波形伝達の他の難題である。波形図像の伝送はTCPパッケージを採用する必要がある。シングルチップコンピュータのフロー制御能力によって、GPRSアクセスの状態及び内部キャッシュメモリ大きさをリアルタイムに処理する。ネットワーク通信のリアルタイムプロセスを自動識別及び自己修正し、そしてデータフローの方向及びネットワーク呼びダイヤルを制御する。六分間のデータリンク動的行列区を設置する。データの完全及びフォルト耐性の向上を保証する。

【0078】

データがリンク記憶行列でインターネット加入を待つ。ネットワーク状態触発電気回路はネットワーク状態事件を触発し、算出制御ユニットの事件処理フローは事件性質によって、それぞれ異なるスレッド処理ユニットに入る。正常状態で、リンクデータを取得し、TCPプロトコルでサブパッケージし、無線ネットワークを介してネットワークに設置されるウェブサイト及びポートヘブプロトコルパッケージを送信する。

【0079】

$T C P \text{ プロトコルパッケージ} += (s a v e _p o i n t - r e a d _p o i n t) * r e a l _d a t a \rightarrow r e a d _p o i n t ++$

`save_point`、`read_point`はデータ指針、`real_data`はリアルタイムデータである。

【0080】

非正常状態では、システムが起動し、ダイヤルスレッド処理フローを待ち、ネットワークアクセス状態識別電気回路はネットワークつなぎ状況を定時的に嘗試し、同時に、データキャッシュメモリ事件を触発し、データ構成を再構成する。ネットワーク状態識別はネットワークサーバが忙しいであるかそれともネットワーク断線が発生するかを決定し、異なるメッセージを触発し、ダイヤル電気回路を改めて起動する又はサーバスレッドのつなぎを嘗試する（図2を参照）。

【0081】

$L \text{ フローウィンドウ} = (m 1 + m 1 + m 1 + m 1 + a d d r + a s y n + d a t a)$

`m 1`は伝送のキーデータ、`as yn`は同期、`da ta`は暗号化パッケージである。

動的データリンク管理はメモリデータ行列管理、データ暗号化管理、データ圧縮管理、データ構成動的変化、データフローの再構成を含む。レビューデータ及び現在データ送信の動的相互協調とキーデータ高速伝送の機能が含まれる。

【0082】

システムのデータ伝達は、公衆回線及び無線モードを用い、データの伝達に対して暗号化を行う必要がある。本システムには常規データ暗号化技術を使用しない。独立知的財産権を有する動的データ暗号化方法を提出し、すなわち、ウェーブレット解析データ暗号化技術である。考慮する基礎は、ウェーブレット解析技術の複雑と精細、分解と還元特性、及び強大な干渉抵抗能力である。システムのハードウェア設計は本項技術の実施を十分に考慮する。データフォームは八通路データ伝達能力までに拡張される。所定データセクシ

ョンのウェーブレット変換及び指数化ウェーブレット解析結果を事前に設定する。その母関数及びデータ変換の分解率は秘密にし、各成分データの通路番号は無序である。受信端で、信号に対して逆変換を実施し、データの原始特性を復帰できる。本項技術の採用によって、信号の干渉を消去できる。ウェーブレット解析技術の応用によって、受信端で信号に対して処理でき、様々な信号の一部の特徴指標を抽出し、遠距離フィードバック調整制御のデータ基礎とする。本項技術の採用はシステム実用化の基礎である。

【0083】

生活状態データ及び主観的な感受データの収集は主観感受情報収集器によって実現される。観感受情報収集器は携帯電話、タブレット、固定型コンピュータなどの様々なコンピュータ装置を含み、本発明に記載の健康銀行個人アカウント下で、B/S構成のブラウザウィンドウ又はAPP応用ソフトウェア操作ウィンドウを入力操作インターフェースとし、マニュアル入力方式でデータを入力し、入力インターフェースがクリック選択方式を用いて異なる感受データ又は量のデータを選択し、疼痛分級、嘔吐分級、目まい分級、生活品質分級、思いむせぶこと、頻尿、尿液色、出血、下痢、便秘、大便色、慌てること、息苦しいこと、無力、目くらみ、哮喘、発熱、苛立ち、怒り、焦慮分級、憂鬱分級、寝つきが悪いこと、一過性不眠、夢を見ること等の日常行為上の現象及び感覚を含む。これらデータは直接コンピュータの無線、有線インターネットアクセスを介して健康銀行個人アカウントのデータ記憶と算出サーバにアップロードされる。これら主観情報は医療健康サービスの患者主訴内容を生成し、記憶・記録して、同時に、相応する生命体特徴及び生理信号の変更は同期記録され、生活及び作業における健康医療情報の全面収集を取得する。

【0084】

一体に集成される脳波、頭部血流灌注波の信号収集変換器は、前頭葉両側の脳波及び前頭葉両側枰上動脈の血流灌注波を連続収集する。センサは $6 \times 0.7 \times 0.3 \text{ cm}$ シリカ・ゲル体範囲内に集成される複数の変換器組合である。シリカ・ゲル体はシリカ・ゲル床と称する。各変換器は工業級信号センサを用いる。一組の圧力センサ、一組の近赤外線レーザー発生器、近赤外線レーザー受信器及び酸素化処理後の一組の金属銀電極片を含む。金属電極は脳波信号を感知し、圧力センサ及び近赤外線レーザーは血流灌注信号を感知し、金属電極は左側枰上部位及び右側枰上部位の2つの脳電気信号引導電極、及び両耳耳たぶ部の2つの脳電気信号参照電極に分けられる。組合後、それぞれ左右脳の脳波信号を収集し、電極設計は理化処理を行って、形状上及び電位極化上でドライ電極収集脳波信号の応用要求を見たし、信号収集点付近の皮膚に対して専門処理を行わなくても、医療標準に合致する脳波信号を利便に収集できる。圧力センサ及び近赤外線レーザーセンサはそれぞれ枰上において中部位置に近づく両側枰上動脈解剖学位置付近に集成され、左右側部位圧力センサ及び光発射器はそれぞれ両組部品を選択し、光受信器はそれぞれ一組部品を選択し、個人簡単佩帯の使用要求下で発射光が確実に血管部位を照射すること、及び圧力センサが血管の搏動信号を感受することを保証する。前頭葉両側の圧力センサ、レーザーセンサ及び脳波センサはシリカ・ゲル床に固定され、上記規則によって左から右まで行列し、耳部脳波引導電極は2つの耳鉢に固定され、導線及びシリカ・ゲル体によって全体になる。シリカ・ゲル体は弾性を有するゴムひもに接続され、直径を調節できるかつらを形成する。シリカ・ゲル体の導線はゴムひもの中部後脳部位下までに伸び、プラグを有し、完全な頭部脳波及び血流灌注信号の変換器を獲得する。

【0085】

末梢血流灌注波変換器は、1セットの近赤外線レーザーセンサを集成し、光受信・発射部品を含み、センサが $2.5 \times 0.7 \times 0.3 \text{ cm}$ シリカ・ゲル体に固定され、手指の部位の血流灌注波信号を収集する。シリカ・ゲル体は接着テープ（刺条）により接続され、使用時に手指末端を被覆し、接着テープが固定される。末梢血流灌注波信号変換器を獲得する。信号の導線は頭部血流灌注及び脳波信号変換器に接続され、プラグを介して生命信号収集伝達端末の相応ソケットに接続される。センサ外觀図及び信号フロー、電気回路図は図3～図5を参照する。

【0086】

近赤外線レーザセンサは血管に流動する血流を照射し、血管において血流が携帯する赤血球の数変更によって反射波の変更を発生させ、同時に、血流が血管壁に作用し、搏動を形成し、圧力センサはこのような搏動を感受する。圧力センサによって最大化の血管搏動を感受し、桡上動脈の大体位置を見つけることができ、近赤外線レーザセンサにおける近赤外線レーザ発射器は、血管を照射して反射波を発生させ、一側に設置されるレーザ受信器は反射信号を受信して出力とする。同時に、血管部位に設立される圧力変換器は受信した血管壁搏動波をも出力信号とする。2種類の信号出力は、生命信号収集伝達端末の監護電気回路電子信号変換増幅ユニットによって識別可能なアナログ電気信号に変換され、アナログ・デジタル変換器に伝送され、離散されてデジタル信号に変換され、中央算出制御電気回路チップに入り、分配、算出、暗号化、圧縮、バインド身分情報のデータ処理フローを完成させる。処理後のデータフローを獲得し、動的データリンクキャッシュメモリ行列に送信させてインターネットプラットフォームに無線送信させ、サーバ端でリアルタイム血流灌注波を獲得する。同じく、サーバ端でリアルタイム末梢血流灌注波を獲得してもよい。脳波センサは大脳皮質帯電イオンの極化反応によって生じる生物電位変更を感受し、引導電極と参照電極との間に電位差信号を形成して出力とし、信号が生命信号収集伝達端末の監護電気回路電子信号変換増幅ユニットによって識別可能な模擬電位信号に変換され、アナログ・デジタル変換器に伝送され、離散されてデジタル信号に変換され、中央算出制御管理電気回路チップの処理によって、血流灌注波のように、サーバ端でリアルタイム脳波データを取得する。

10

【0087】

20

一体に集成されるペニス血流灌注波、ペニス周径、ペニス硬度、ペニス温度、ペニス動脈酸素飽和度変換器は睡眠におけるペニス生理変更状態信号を収集し、変換器装置はペニス局部血流変更、硬度変更、周径変更、温度変更、相対血酸素変更等の生理パラメータを連続収集する。センサは $5 \times 0.7 \times 0.35 \text{ cm}$ シリカ・ゲル体範囲内に集成される複数の変換器組合に分けられる。各変換器は工業級信号センサを用いる。光発生器と光受信器、圧力センサ、温度センサ、金属電極片を含む。センサはある規則で行列され、導線、端子を伸びし、生理信号変換出力の作用を完成する。センサはストリップ状に構成され、中間部分に弾性物質を有し、一端に医用絆創膏が接続され、環状方式でペニス根部をカバーする。センサ内部から複数本の導線を伸ばし、巻回して、一端が端子が配置され、前置き増幅器の入力端に接続される。

30

【0088】

増幅器は血流灌注前置き増幅器、硬度周径増幅器、血酸素飽和度モジュール、温度入力インターフェースを含み、各部分増幅器は前置きフィルタ、初級増幅、零点調節、アクティブフィルタ、時間常数、信号隔離、二級増幅出力を含む。信号は $0 \sim 5 \text{ V}$ の電圧信号に変換される。それぞれはペニス血流変更、ペニス硬度変更、ペニス周径変更、ペニス温度変更、ペニス相対血酸素飽和度変更等のパラメータを代表する。血酸素飽和度モジュールは市販する医療装置標準血酸素モジュール、血酸素監視測定プローブを用いて改進する。ペニス相対血酸素の測定を実現する。ペニス周径測定は零点調節を要求し、センサをペニスに装着した後、そのきつさは無線移動生命信号収集伝達端末の零点指示灯の点灯で示される。増幅整形処理後の信号はアナログ・デジタル変換後に、デジタル信号に変換され、中央算出制御電気回路チップに送信され、分配、算出、暗号化、圧縮、バインド身分情報のデータ処理フローを完成させる。処理後のデータフローを獲得し、動的データリンクキャッシュメモリ行列に送信されてインターネットプラットフォームに無線送信され、サーバ端でペニス血流灌注、ペニス周径、硬度、温度、相対酸素飽和度等波形及び数値をリアルタイムに獲得する。ペニス硬度、ペニス血流、ペニス周径は図6～図8を参照する。

40

【0089】

心波、脈拍酸素容積波、口鼻胸腹呼吸波、筋肉動作電位波、眼動波、呼吸末二酸化炭素濃度波、脈拍数、非侵襲的な血圧、血糖、脈拍酸素飽和度、呼吸末二酸化炭素濃度、吸入酸素濃度、体温、呼吸回数等信号変換器は市販する専用機能モジュールを用いて実現し、主にHXD—I系列多パラメータ組合を監護器の各機能モジュールとし、国際国内相応モ

50

ジュールサプライヤーの製品を配合して上記生理、生命体特徴信号の収集を実現する。各機能モジュール出力信号は波形出力及びデジタル出力の2種類のモードを含み、それぞれは中央算出制御管理電気回路のアナログ信号入力端和デジタル通信インターフェース端に送信される。信号の通信は有線と無線方式の混合で実現され、無線方式はブルートゥース又はw i f iモードを有する機能モジュールで実現され、主に血糖低侵襲測定ケース、呼吸成分測定ケースという两部分測定ユニット及び無線移動生命信号収集伝達端末は分体可能であり、無線方式接続は、他の機能モジュールが端末装置に含まれ、有線方式で接続される。各機能モジュールの出力信号は無線移動生命信号収集伝達端末のアナログ・デジタル変換器によって離散のデジタル信号に変換され、中央算出制御電気回路チップに入り、上記の処理加工後に、処理後のデータフローを獲得し、動的データリンクキャッシュメモリ行列に送信させてインターネットプラットフォームに無線送信させ、サーバ端で上記様々な生命体特徴及び生理信号の波形と数値をリアルタイムに獲得する。各部分電気回路は図9～図14を参照する。

10

【0090】

相対肢体運動量（上下4肢）信号収集変換器は加速度センサで実現され、ウェア方式で身体四肢に固定される。4つの加速度センサは上下两部分に分けられ、それぞれ有線方式で上衣とズボンに固定される。四本の信号線は $4 \times 1 \times 2.5 \text{ cm}$ の集線ケースに接続され、信号線の行きが腰回り部位で交差し、腰回りに固定される方式で集線ケースに接続される。集線ケースに信号出力線があって無線移動生命信号収集伝達端末の相応ソケットに接続され、四肢相対運動大きさの信号変換器機能を実現する。肢体運動加速度信号は交流電気信号であり、端末の監護電気回路部分に送信され、アナログ信号の増幅整形等の処理された後に、アナログ・デジタル変換によって、離散のデジタル信号となり、中央算出制御管理電気回路に入り、デジタル化処理された後に、インターネットプラットフォームに送信され、サーバ端で四肢相対運動量波形信号をリアルタイムに獲得する。相対運動量信号収集電気回路は図15を参照する。

20

【0091】

尿量、体重、運動発汗量の収集変換器はデジタルはかりによって実現され、測定する重量信号は無線方式で無線移動生命信号収集伝達端末に伝達され、そして端末から本発明において健康銀行のサーバ端に送信される。重量信号の無線送信はブルートゥース技術又はw i f i技術モードで実現される。重量情報収集電気回路は図16を参照する。

30

【0092】

家庭診療健康情報提示ステーションは、家庭で使用する卓上コンピュータシステムであり、家用コンピュータシステム、知能携帯電話等でもあり、このコンピュータによって、授權された場合に（購入サービス）、コンピュータはサーバから伝送したコマンドで音声及びスクリーン文字情報を示し、ユーザに指導して相応する疾病治療、回復及び健康長寿の各ステップを完成させる。携帯電話を提示端装置とすると、主にショートメッセージ形式で送信する。サーバのコマンド生成は医指示処方箋要求に従い、本発明において、健康銀行個人アカウントの診査情報入力では、医指示処方箋が含まれ、処方における服薬と測定の内容を抽出し、処方規定される時間に応じて治療コマンド序列を生成し、指定の個人家庭コンピュータ又は携帯電話に定時的に送信される。

40

【0093】

生命データ感知学習制御装置は、運動制御タブレットコンピュータ、自動ロボットという两部分を含む。タブレットコンピュータは無線インターネットプラットフォームを介して本発明に含まれる生命データ算出分析サーバの算出結果を受信し、算出結果によってロボットの運動制御コマンドを出し、ロボットの動作を制御する。ロボットは米国から輸入したプログラム可能な組立可能なモジュール式ロボット製品EV3を用い、一組の動作コマンドシステムを含む。ロボットと制御コンピュータとの間の通信はブルートゥースモードを用いる。情報交換は大閉環フィードバック制御システムフレーム下のマンマシン組合閉環モードである。制御回路に人の生理生命信号、無線インターネットプラットフォーム、信号算出サーバ、制御コンピュータ、実行機構（ロボット）、人の感官入力システムが含ま

50

れる。信号フローは、無線移動生命信号収集伝達端末によってユーザの生理生命体特徴信号をリアルタイムに収集し、無線インターネットプラットフォームによってネットワーク上の信号算出分析サーバに送信され、クラウドコンピューティングモードによって、人の生命状態をリアルタイムに反映するリアルタイム特徴指標を取得し、無線インターネットプラットフォームで制御コンピュータに直接伝送され、コンピュータが特徴指標及びユーザが設定した疾病治療又は健康保健、脳使用素養の目的に応じて、異なる実行機構運動の制御コマンドを出し、実行機構がコマンドを受信した後に、相応する運動形態を生じ、人の目、耳が実行機構の運動後を見て聞いて（自己生理と生命信号の変更を感知することに相当）、自己生理生命信号の変化を調節することによって、実行機構の運動を促進して自己希望の状態に達し、人、インターネット、実行機構、人の閉環フィードバックの制御モードを形成する。制御フローは図25を参照する。

10

【0094】

一体に集成される脳波、頭部血流灌注波の信号収集変換器は、前頭葉両側の脳波と前頭葉両側枰上動脈の血流灌注波、及び肢体末梢の血流灌注波を連続収集する。多路波形データはインターネット無線モードによってデータ算出サービス中心とデータ記憶中心に伝送される。データ算出サービス中心のサーバは各路波形データに対してクラウドコンピューティング処理を実施し、睡眠特徴を代表する指標を抽出する。前頭葉枰上動脈は眼底動脈からの血管分支であり、眼底動脈は頭内動脈血管からの分支である。枰上動脈の血流灌注と頭内血流灌注とは関連性がある。頭内血流灌注は脳機能維持する根本因素であり、脳状態に影響する根本因素でもある。脳皮質の作業は皮質血流灌注の変化で代表してもよく、現代脳部走査及び測定技術は、主に脳部各機能領域の血流映像変更を観察する。医学研究は以下を証明する。脳部血流灌注の血液量は身体血液総量の30%左右を占める。脳皮質の作業が大量血液が携帯する酸素成分及び他の内分泌物質を消耗すると言える。血流灌注の作用は主に酸素成分を携帯して全身で循環し、絶え間なく各器官細胞間で酸素分子及び二酸化炭素分子を交換させる。酸素分子は細胞が代謝機能を完成するエネルギー供給であり、酸素化反応を発生させる主要成分である。二酸化炭素は酸素化反応の付帯産物であり、血流で搬送され、人体の肺部に到着し、呼吸で身体の外へ交換する。頭部血流灌注を測定し、特に頭外血管によって、頭内血流灌注に関する特徴指標を測定し、脳皮質機能状態の変化を客観的に反映できる。実験によって、脳が睡眠状態で、血流灌注が変更し、軀体血流灌注も変更し、このような変更が血流灌注の測定で反映を獲得できると分かる。血流灌注の測定は頭部血流灌注測定及び肢体末梢血流灌注測定を含み、測定する結果は頭部血流灌注指数及び末梢血流灌注指数の2つの指標を獲得し、それぞれHPi指数及びPi指数と称する。この2つの指数は身体から出すバイタルサイ出力信号であり、睡眠状態で、2つの部位血流灌注の変更を代表し、逆に見ると待、この指数も睡眠構成及び睡眠品質の変化を直接代表し、睡眠測定の定量客観的な表現である。このような睡眠構成の表現方式は、生理データが睡眠品質を直接反映する突破を代表する。

20

30

【0095】

HPiとPiの取得は前頭葉枰上動脈血流灌注波及び肢体末梢血流灌注波の算出からのものであり、算出は複合算法、モード識別、波形識別、微積分及びウェーブレット算法を利用する。

40

【0096】

収集する血流灌注信号波に対して、サンプリング周波数500/秒、サンプリング時間ウィンドウ1.25秒、サンプリング精度10ビットb i t eの離散化処理を行い、各リード波形信号のベクトル組を生成する。

【0097】

$$X_i = [x_1 \ x_2 \ x_3 \ \cdots \ x_{m-2} \ x_{m-1} \ x_m]$$

ここで、mはベクトルにおいて元素の数であり、元素 x_i は波形ある点の幅値であり、かつ相隣する両元素間の時間間隔 Δt は同一である。iはリード数である。血流リード数は3である。

【0098】

50

上記のベクトル数値に対して、特徴組[a、b、c、d、e]の各点の数値を求める。ベクトルに対して微分算出を行う。

$$y(j) = x(j) - x(j-1) / \Delta t$$

$$j = 0, 1, 2, \dots, m$$

y(i)において最大数値を取得し、特徴指数(a)を取得でき、その正負反対点は、特徴値(b)及び特徴値(d)であり、特徴値(c)はファジー識別技術を用いて、ベクトルデータに対して反復微分算法を実施する。

【0099】

$$y(j, i) = \Sigma (x(j+i) - x(j+i-1) / (\Delta t + i))$$

iは Δt の1からNまでの増量であり、jは点(b)から点(d)までの間の数値順序番号である。 10

【0100】

マトリックスy(j, i)における各ベクトルに対して、ベクトルにおける最小値を選択し、対応するj点は図における(c)点を代表する。

【0101】

波形信号の時間領域信号ベクトルを取得し、 $X_i = [x_1 \ x_2 \ x_3 \ \dots \ x_{m-2} \ x_{m-1} \ x_m]$ 、 $D(a, b, c, d, e)$ 、 $T(i = 1, 2, \dots, M)$ 、特定のモードをCつの類 $\omega_1, \omega_2, \dots, \omega_c$ に置き、そして、モードの間の距離関数で分類を判別する。ここで、Tは移項であり、Mは見本点数であり、Dは見本特徴数である。各モード類は様々な血流灌注波形の異なり形態を代表し、各血流灌注波の距離関数を算出する。 20

【0102】

$$Z(j) = (\omega_j - D) \quad j = 1, 2, \dots, c$$

一組ベクトルZ(j)を取得し、最小値に対応する ω_j を選択し、各血流灌注波と他の距離関数を算出し、

$$G = \Sigma (D_i - D_{i-1}) \quad i = a, b, c, d, e \text{ を獲得し、}$$

各血流灌注波の変異性の大きさとする。

【0103】

点(a)と点(b)との間の勾配及び積分を算出する。

$$H = [a - b] / \Delta t$$

$$T = \int y(i) * \Delta t \quad i = a, \dots, b$$

点(b)と点(c)との間の積分を算出する。

$$T1 = \int y(i) * \Delta t \quad i = b, \dots, c$$

点(c)と点(d)との間の積分を算出する

$$T2 = \int y(i) * \Delta t \quad i = c, \dots, d$$

灌注指数を求める。

【0104】

$$P = ((T * H) + T1 + T2) * L / G$$

Lは点(b)と点(e)との間の距離であり、Gは各血流灌注波の変異率である。

Pを指数化にし、

$$P_i = (1 - 1 / \exp(P)) * 100 \text{ を獲得する。}$$

同じく、HPiも算出されて獲得される

$$HP_i = (1 - 1 / \exp(P)) * 100$$

【0105】

脳波の研究方法は主にパワースペクトラム分析を重点とし、各周波数帯域成分の多少を脳機能状態の分析指標とする。脳波図の個体差異によって、脳波スペクトルパワー成分の定量が量値上の統一を達成しにくい。各成分波在脳波図における表現も連続性を有しなく、脳機能状態の分解率が極めて低く、直線性が理想ではない。同時に、パワースペクトラム数学算法が非周期信号処理に対するウィンドウ効果によって、数値上のランダム誤差をもたらす。人々の応用の共性を具備しない。即ち、相互間には比較可能性がなく、目標を決めた後、自己比較が一定の意味がある。群体性研究の目的を達成しにくい。 50

【0106】

最近、国際では、不眠焦慮憂鬱の定量測定を研究し、左右脳の興奮程度差異の方法を利用した。左右脳前頭葉脳波図データを収集し、伝統的なパワースペクトラム分析技術を用いて、脳波におけるAlpha成分の高低を抽出し、左右脳の興奮度を代表する。研究によって、左脳興奮度が高い人が不眠焦慮憂鬱の確率が低いと発見する。このような成分の左右脳比值は、定量化指標とされ、脳前頭葉側性化研究と称する。このような研究の問題は、脳波における周波数スペクトル成分が、人の個体差異によって、絶対値意味上の比較可能性がない。その敏感度と特異性が不足である。乱れをもたらす可能性が大きい。応用価値の決定がまだ決めない。

【0107】

脳波収集は一般的に、臨床医療単位の神経内科脳波図室及び他の科室の睡眠監視測定に応用され、すでに基本臨床診断の1つの項目となる。しかし、脳波信号収集の条件は比較的に厳格であり、良好なシールドあるいは接地を要する。患者頭部電極位置が更に処理される必要があり、これで、皮膚抵抗を低減させ、電気生理信号の収集要求に達する。普及化の脳波収集応用に対して、提出する要求は、脳電気信号収集の環境及び条件を低減させ、患者本人がわざと処理する必要がなく、電極を直接装着し、電気生理要求に合致する脳電気信号を取得する。

【0108】

上記変換器が収集する左右脳半球前頭葉脳波信号は、インターネット無線モードを介してデータ算出サービス中心及びデータ記憶中心に伝達される。収集した脳波信号に対して、クラウドコンピューティング処理を実施し、ウェーブレット解析、スペクトル分析、波形識別、微積分等の算法でリアルタイムに算出し、脳機能状態を定量的に表現する一組の特徴指標を取得する。算出は6～10分間の脳波データを収集する必要がある。以下のような定量脳機能状態指標を取得する。

【0109】

1. i__35：脳鬱散状態指数
2. i__22：脳集中度指数
3. i__60：脳活性指数
4. i__48：脳思惟強度指数
5. i__52：脳含蓄指数
6. i__66：左右脳側性化指数（左右脳協調性指数）
7. i__45：脳安定度指数
8. WLi：脳鎮静指数
9. 脳エネルギー消耗：脳興奮度レベル
10. 脳集中力：均一集中能力
分け：内集中——自身に凝集される集中
外集中——外部に凝集される交流
11. 脳含蓄（感覚閉鎖）：自身が入力する能力、聞き、見、体感を閉じ
12. 脳鬱散：自己を均一する鬱散鎮静能力
13. 記憶加工：脳が記憶加工状態にあり、主に大脳が夢現状態にある
14. 脳疲労：脳疲労程度
15. 脳含蓄：感官入力を閉じる能力
16. 脳安定：1種脳状態を維持する能力
17. 脳排空：大脳空明状態、自由想像状態
18. 倦困睡眠：脳倦困程度
19. 反応強度：脳状態の間の変換速度
20. 脳現在状態：脳能力、脳健康評価総点

【0110】

抽出した上記定量指数は人々大脳皮質出力電位信号における共性成分であり、人の高級思惟活動に関する共性成分でもある。脳集中状態に関し、i__22、i__52、脳集中は

規律性変更がある。脳鬱散と鎮静の向上に関し、 i_{35} 、 i_{48} 、 WLi は顕著な数値変化がある。不眠、焦慮、憂鬱及び疲労の亜健康状態に関し、脳エネルギー消耗、左右脳側性化、脳疲労、脳倦怠、 i_{35} 、 i_{22} 、 i_{66} 、 i_{60} 、 i_{45} は関連性変更がある。学習能力及び問題解決能力に関し、 i_{22} 、 i_{45} 、 i_{66} 、 i_{60} 、内集中、外集中、感官閉鎖は特異性表現がある。脳状態指標の変更特性は人々応用の重複性、関連性を満たす。脳波図の個体差異を消去する。異なる人の間に絶対値比較が可能となる。同時に、良好な脳機能状態分解率、特異性、直線性及び高い時間分解率を有する。

【0111】

脳波信号は人工睡眠期間分けの主要参照ツールである。臨床上マニュアル期間分けは脳波における特徴波形で睡眠の各期間分けを判断する。睡眠構成は高速位相睡眠及び非高速位相睡眠という2種類の状態に分けられる。高速位相睡眠において高速眼動の発生が伴う。非高速眼動相は浅から深までの1、2、3、4期睡眠に分けられる。高速眼動相は前頭葉脳波の引導電極で眼動筋電波を発生させ、1期睡眠は8～13Hzの脳波周波数成分（ α 波）と13Hz以上の脳波成分（ β 波）とを交替に出現させることをマークとし、2期睡眠は一組の10つ左右 α 波成分の出現を代表とし、あるいは単一の4Hz以下の脳波成分（ピーク、 k 総合波）を出現を代表とし、3期睡眠は4Hz以下の δ 波成分が1フレーム時間（20秒）の30%を占めることを代表とする。4期睡眠は δ 波成分が1フレーム時間の50%を占めることを代表とする。脳波成分4～8Hzの間の脳波成分は θ 波と称する。脳波成分の特徴によって、人工で睡眠構成の期間分けを開展してもよい。本発明は脳波データの算出分析によって、波形識別とウェーブレット算術を使用し、睡眠構成に対して自動期間分けを実現できる。サービス中心のサーバが受信した両路脳波データを算出した後、クラウドコンピューティング処理を実施し、睡眠特徴を代表する神経電気生理指標を抽出できる。これによって、頭部及び末梢血流灌注波の睡眠特徴指標の自動抽出を合わせて、精確な睡眠構成自動期間分けが実現できる。

【0112】

データ算出サービス中心は受信した脳波信号に対して、クラウドコンピューティング処理を実施し、算術はウェーブレット解析、パワースペクトラム分析、波形識別、微積分等の算術を用い、大脳睡眠構成和現在脳状態をリアルタイムに反映する定量客観的な表現を抽出する。睡眠構成の算出は夜間一晩8時間の睡眠脳波及び眼動波データを収集する必要がある。算出取得の睡眠構成指標は以下を含む。

1. 睡眠合計時間
2. 覚醒合計時間
3. 覚醒回数
4. 体動回数
5. 睡眠潜伏期
6. 深睡眠効率
7. 浅睡眠効率
8. 非高速位相睡眠1、2、3、4期が睡眠時間を占める比例
9. 高速位相睡眠潜伏期
10. 高速位相睡眠効率
11. 高速位相睡眠周期回数
12. 高速位相睡眠密度
13. 高速位相睡眠合計時間
14. 高速位相睡眠が睡眠時間を占める比例

【0113】

収集する脳波信号に対して、サンプリング周波数500/秒、サンプリング時間ウィンドウ1.5秒、サンプリング精度10ビットbitで、離散化処理を行い、各リード波形信号のベクトル組を生成する。

【0114】

$$f_i(x) = [x_1 \ x_2 \ x_3 \ \cdots \ x_{m-2} \ x_{m-1} \ x_m]$$

i : 脳波リード数、 m : ベクトル元素数

【0115】

各リード脳波データが1.5秒収集され、各リードの脳波データベクトル N_i を構成する。ベクトルデータに対して直流分量が消去される予め処理を行う。

$$f(x) = f(x) - Av;$$

Av はベクトルの直流分量である

【0116】

予め処理後脳波データに対して、波形識別算法、スペクトル分析算法及びウェーブレット解析算法を実施する。ウェーブレット解析算法は脳波算出の最新数学処理ツールとして、顕著な算出メリットを有する。ウェーブレット算法は以下のように定義する。

【0117】

$f(x)$ 関数は空間領域 $[-\infty, +\infty]$ の信号であり、連続ウェーブレット変換算法公式は以下のとおりである。

【数1】

$$W_a f(\tau, a) = \frac{1}{\sqrt{a}} \int_{-\infty}^{\infty} f(x) \phi\left(\frac{x-\tau}{a}\right) dx$$

脳波ベクトルの算出は二進法離散ウェーブレット変換を用い、その公式は以下のとおりである。

【数2】

$$W_{2^j} f(k) = \langle f(t), \phi_{2^j}(k) \rangle = \frac{1}{2^j} \int_{\mathbb{R}} f(t) \phi(2^{-j}t - k) dt$$

ウェーブレット周波数域の算出公式は、以下の表現式を用いる。

【数3】

$$WT_x(a, \tau) = \frac{\sqrt{a}}{2\pi} \int_{\mathbb{R}} X(\omega) \psi(a\omega) e^{j\omega\tau} d\omega$$

スペクトル分析算法は離散Fourier算出公式を用いる。

【数4】

$$F(\omega) = f(\omega) = \int_{\mathbb{R}} f(t) e^{-j\omega t} dt$$

逆変換は以下の公式を用いる。

【数5】

$$f(t) = \hat{F}(\omega) = \frac{1}{2\pi} \int_{\mathbb{R}} F(\omega) e^{j\omega t} d\omega$$

【0118】

脳波データに対して、まずウェーブレット解析における二進算法及び波形再構成算法を用いて所定脳波データベクトルに対して処理を行い、母関数は平滑関数の一階導数（スプライン関数）を取り、64個の点を構築し、スケールは $2^0 \sim 2^6$ であり、二進ウェーブレット変換を行う。

【0119】

$$(Wf(2^j, x)) \quad j \in \mathbb{Z}$$

バンドパスフィルタグループ下の一組のウェーブレット変換基関数を獲得できる。

$$(Wf(2^0, x)), (Wf(2^1, x)), \dots, (Wf(2^N, x))$$

再構成はウェーブレット関数再構成及び各ウェーブレット基関数の再構成を用い、公式は以下のとおりである。

10

20

30

40

50

$$f_j(x) = \sum W f(2^j, x) * X_{2^j}(x)$$

ここで、 $X_{2^j}(x)$ は再構成ウェーブレットであり、 j は時間領域関数の階数である。

異なるウェーブレット基関数再構成に対して、一組の再構成関数を獲得する。

$f_1(x)$ 、 $f_2(x)$ 、 $f_N(x)$ ； N = 階数；

ウェーブレット基再構成算出による各波形関数 $f_i(x)$ に対して、積分算法を用いる。

$$E(i) = (\int f_i(x) dx)^2 \quad ; \quad i = 1, 2, \dots, N;$$

各ウェーブレット基再構成関数の波形電位のパワー $E(i)$ を取得できる。

【0120】

10

各導脳波ベクトルに対して、

$$f(x) = [x_1 \ x_2 \ x_3 \ \dots \ x_{m-2} \ x_{m-1} \ x_m]$$

パワースペクトラム関数を同期に算出し、高速 Fourier 変換算出公式を用いる。

【数6】

$$F(\omega) = \int_{-\infty}^{\infty} f(x)e^{-i\omega x} dx$$

算出ウィンドウは $N = 512$ であり、 $8 \sim 13 \text{ Hz}$ の α 波成分、 $0.5 \sim 4 \text{ Hz}$ の δ 波成分、 $4 \sim 8 \text{ Hz}$ の θ 波成分、 $13 \sim 30 \text{ Hz}$ の β 波成分、及びメリット周波数、エッジ周波数及び中心周波数を取得できる。

20

$\alpha\% = X(\omega_{8-13})$ ； $\delta\% = X(\omega_{0.5-4})$ ； $\theta\% = X(\omega_{4-8})$ ； $\beta\% = X(\omega_{13-30})$ ；

$$F_{sef} = (\int X(\omega)^2 * \Delta\omega > 0.95)$$

$$F_{max} = (X(\omega)^2)_{max}$$

$$F_c = (\int X(\omega)^2 * \Delta\omega > 0.5)$$

【0121】

波形識別算法を用いて、再構成関数 $f_i(x)$ と $f(x)$ の極値点を算出する。 $f_i(x)$ に対して導関数を求める。

$$D_i(x) = (f_i(x) - f_i(x+m)) / \Delta x$$

$D_i(x)$ に対して順序を付け、極大値及び極小値を獲得し、閾値 a を設定し、眼動波等の筋動電位、高速位相睡眠を捕捉した眼動現象及び眼動密度を求めることができる。

30

$D_i(x)$ の正負極性変化点を求め、一組の極値点ベクトルを獲得する。

$M_i(j)$ と $m_i(j)$ ； j は極値点の数である。

【0122】

取得した上記算出結果に対して、一束の中間算出結果ベクトルを組合生成する。

$$G_i(x) = [M_i(j), m_i(j), F_{sef}(i), F_{max}(i), F_c(i), \alpha\%(i), \delta\%(i), \theta\%(i), \beta\%(i)]$$

x は中間結果の数であり、 $x = 0, 1, \dots, N$ ；

一連の標準回帰係数を設定し、加重因子とし、 $[a_{i1}, a_{i2}, \dots, a_{in}]$ と設定し、回帰公式を用いる。

40

$$y = a_{i1} * G_i(0) + a_{i2} * G_i(1) + \dots + a_{i(n-1)} * G_i(N) + a_{in}$$

最小自乗法で、

$$q = \sum [y - (a_{i1} * G_i(0) + a_{i2} * G_i(1) + \dots + a_{i(n-1)} * G_i(N) + a_{in})]^2$$

最小にし、回帰係数は公式を満たす。

$$(C C^T) [a_{i1}, a_{i2}, \dots, a_{in}] = C [y_0, y_1, \dots, y_t]$$

$$[y_0, y_1, \dots, y_t] = [i_{22}, i_{35}, i_{60}, i_{66}, i_{52}, i_{48}, i_{45}, WL_i]$$

取得した回帰係数に対し、最は指標の加重項とし、リアルタイムに算出した脳状態指標

50

は以下のとおりである。

$$j = [i_22, i_35, i_60, i_66, i_52, i_48, i_45, WL i] \\ j = [a_{i1} * G_i(0) + a_{i2} * G_i(1) + \dots + a_{i(n-1)} * G_i(N)] j$$

j = 脳波収集するリード数

【0123】

収集する左右リアルタイム集中、鬱散指数 (i_22 、 i_35)、リアルタイム思惟強度指数、鬱散指数 (i_48 、 i_35)、リアルタイム感官閉じ指数、思惟強度指数 (i_52 、 i_48) に対して散布図を生成し、脳状態の左右脳変更の形態学変化を示す。座標は i_22 、 i_48 、 i_52 を縦座標とし、 i_35 、 i_48 を横座標とし、それぞれ i_22 の目盛り 240 及び i_35 の横座標目盛り 40 に、 i_48 の横座標 90 に縦線及び横線を設定し、座標領域を 4 つの象限に仕切る。それぞれ i_22 、 i_35 、 i_48 、 i_52 データ点は散布図で 1 つの点と示される。散点の密度及び分布によって、異なる脳状態変更を示す。左右脳散布図によって、図から脳状態を明確でき、散点の分布から離合率、クラスタ等の情報を抽出して定量化抽出を行う。図 17 を参照する。

10

【0124】

上記リアルタイム脳状態定量指標の異なり組合を算出し、異なり脳波リードのデータの間の関係によって、左右脳側性化、脳エネルギー消耗、脳集中、脳活性、脳含蓄（感官閉鎖）、脳鬱散、疲労、倦困、反応力、記憶加工、脳安定、脳排空等の定量化指標を算出できる。算出時間ウィンドウは 6 ～ 10 分間であり、医療応用は 10 分間であり、他は 6 分間である。

20

【0125】

$$\text{脳エネルギー消耗} = [a_0, a_1, \dots, a_n] * [i_22, i_35, i_60, i_66, i_52, i_48, i_45, WL i]$$

$[a_0, a_1, \dots, a_n]$ は回帰係数

$$\text{左右脳側性化} = [\text{左}(i_22) > \text{右}(i_22)] \in T$$

$$T = 6 \text{ 分間}$$

$$\text{脳集中} = \Sigma(i_22) < K_0$$

$$\text{脳含蓄} = \Sigma(i_52) < K_1$$

30

$$\text{記憶加工} = \Sigma(i_60) < K_2$$

$$\text{脳安定} = \Sigma \Sigma[(i_22)] / N - (i_22)$$

$$\text{脳排空} = \Sigma(i_48) < K_3$$

(i_22 、 i_35) 散布図において脳状態のクラスタの間の距離から生成する。

$$\text{反応力} = |\Sigma(i_22) < K_4 - \Sigma(i_35) < K_5|$$

$$\text{脳鬱散} = \Sigma(i_35) < K_6$$

$$\text{脳活性} = \Sigma(i_45) / N$$

$$\text{疲労} = \Sigma(i_22) * K_7 + \Sigma(i_45) * K_8$$

$$\text{倦困} = \Sigma(WL i) < K_9$$

$[K_0, K_1, \dots, K_9]$ は標準の回帰係数である。

40

定量化の脳状態特徴指数の標準化に対して算出を行う。

$$[\text{脳状態特徴指数組}] = (1 - 1 / \exp(E/A)) \times 100$$

A は定量化因子であり；E は、

[脳エネルギー消耗、脳集中、脳活性、脳鬱散、脳含蓄（感官閉鎖）、脳安定、脳排空、脳疲労、倦困、反応力、記憶加工]

各パラメータ数値標準設定は図 18 を参照する。

【0126】

睡眠構成の算出は、波形識別、ウェーブレット解析、パワースペクトラム、モード識別等の様々な算法結合を用いる。前頭葉両側に収集する脳波において、眼動波形成分及び前頭筋電成分が含まれる。ウェーブレット公式は以下である。

50

【数 7】

$$WT_x(a, \tau) = \frac{\sqrt{a}}{2\pi} \int X(\omega) \psi(a\omega) e^{j\omega\tau} d\omega$$

【0127】

脳波ベクトル組に対して

$$f_i(x) = [x_1 \ x_2 \ x_3 \ \cdots \ x_{m-2} \ x_{m-1} \ x_m]$$

i: 脳波リード数、m: ベクトル元素数

リアルタイム算出処理は、マルチスケールフィルタグループ（上記脳波処理と同一）算
法で、各スケールウィンドウ下のウェーブレット基関数を分析する 10

$$(Wf(2^j, x)) \quad j \in \mathbb{Z}$$

$$(Wf(2^0, x)), (Wf(2^1, x)), \dots, (Wf(2^N, x))$$

上記のように、取得した一組の時間領域再構成関数は以下のとおりである。

$$f_j(x) = \sum Wf(2^j, x) * X_{2^j}(x)$$

$$f_1(x), f_2(x), \dots, f_N(x); N = \text{階数};$$

各時間領域関数は異なり周波数段の脳波、眼動電波及び筋電波を代表する。分解した各
波形に対して、波形識別算法で眼動、脳波紡錘波、脳波慢波、脳波高速波、ハンプ波、k
総合波等の脳波睡眠特徴波成分を抽出する。まず、各波形の一階導数を求める。

$$D_i(x) = (f_i(x) - f_i(x+m)) / \Delta x \quad 20$$

$D_i(x)$ に対して順序を付け、極大値及び極小値を獲得し、閾値 a を設定し、眼動等
の大きいノイズ波成分を排除できる。

$D_i(x)$ の正負極性変化点を求め、一組の極値点ベクトルを獲得する。

$M_i(j)$ と $m_i(j)$; j は極値点の数である。

【0128】

モード識別算法を用い、極値点ベクトル $M_i = [x_1 \ x_2 \ x_3 \ \cdots \ x_{j-2} \ x_{j-1} \ x_j]$ 、 $D(a_1, a_2, a_3, \dots, a_n)$ を取得し、特定の上記各脳波睡眠標準
特徴波の極値点ベクトルを C つの類 $\omega_1, \omega_2, \dots, \omega_c$ に置き、そしてモードの間の
距離関数で分類を判別する。ここで、M は見本点数であり、D は見本特徴数である。各モ
ード類は睡眠脳波の異なり形態を代表し、各ベクトルの距離関数を算出する。 30

$$Z(j) = (\omega_j - D) \quad j = 1, 2, \dots, c$$

一組ベクトル $Z(j)$ を取得し、最小値に対応する ω_j を選択し、収集する脳波時間領
域波形に含まれる睡眠特徴波の種類を取得する。同時に、眼動及び筋電波分類関数に対し
て積分算法を用いる。

$$E = \int f_0(t)^2 * \Delta t$$

$$E_1 = \int f_1(t)^2 * \Delta t$$

筋電と眼動のパワー値大きさを獲得し、閾値法によって、脳波における筋電成分及び眼
動成分を取得でき、高速位相睡眠の特徴指標に対して数値を取得する。

【0129】

時間領域脳波に対して、上記脳波処理算出に一致し、パワースペクトラム算法を用いる 40

【数 8】

$$F(\omega) = \int_{-\infty}^{\infty} f(x) e^{-j\omega x} dx$$

脳波においてパワースペクトラムの各成分を取得でき、 $\alpha \beta \delta \theta$ バンドの数値、F s e
f、F m a x 等のエッジ周波数、メリット周波数等の数値を含む。

【0130】

上記各定量数値の総合分類に対して、1 つの期間内の脳波（通常 20 秒又は 30 秒）に
含まれる慢波成分の多少を獲得し、50 % 以上は 4 期睡眠、30 % 以上は 3 期、有紡錘波 50

又はハンプ波、k 総合波は 2 期であり、眼動と筋電がゼロであると、高速位相であり、他は 1 期睡眠である。分類過程において、パワースペクトラムを結合して、獲得したエッジ周波数及びメリット周波数を分析し、高速位相睡眠と体動、覚醒状態に対して精細化判断を行い、高速位相睡眠の識別を補充するとともに、覚醒回数、体動回数等の定量データを獲得する。体動回数の識別を行い、算出したパワー E 1 に対して、閾値算出を行い、パワーは均一眼動パワーの 2 倍以上であるものは体動であり、算出回数は体動回数数値である。

【0131】

完全な一晚睡眠において、寝る点の識別及び睡眠潜伏期の算出はファジー化方法を用い、主に手で睡眠時間を開始と決定し、あるいは 1 つ期間において体動回数がゼロであることを開始とし、1 期睡眠が現れると、又は他の睡眠が現れることを中止とし、その時間長さを算出して睡眠潜伏期とする。

10

【0132】

同じ道理、血管弾性の算出に対して、血流灌注波及び心波のデータベクトルに対する。

$$f(x) = [x_1 \ x_2 \ x_3 \ \cdots \ x_{m-2} \ x_{m-1} \ x_m]$$

$$e(x) = [x_1 \ x_2 \ x_3 \ \cdots \ x_{m-2} \ x_{m-1} \ x_m]$$

i : 脳波リード数、m : ベクトル元素数

血流灌注波の算出のように、まず、血流灌注波の極値点を獲得するとともに、ウェーブレット算法を用い、心波形に対してリアルタイムに算出し、心電の QRS 波の 3 つの Q、R、S 点を求める。心波のウェーブレット変換は以下である。

20

$$(We(2^j, x)) \quad j \in \mathbb{Z}$$

【0133】

高周波数帯域ウェーブレット基関数に対して、その再構成関数を取り、心電高周波数帯域の再構成時間領域関数を獲得する。

$$e_1(x) = \sum W f(2^j, x) * X 2^j(x)$$

閾値算法で、その均一値を取り、均一値 50 % 以上より大きい点の横座標を算出し、この数値より小さい点の横座標は 0 であり、座標ベクトルを取得する。

$$e(t) = [t_1 \ t_2 \ t_3 \ 0000 \ t_4 \ t_5 \ t_6 \ 000]$$

数値が 0 であるが相隣が 0 ではない点を算出し、つまり、Q、S 点である。その間の中点は R 点である。

30

結合心電算出和血流灌注の算出、对各特徴点算出其間の関係、可以求得血管の弾性。

【0134】

呼吸波の処理は血流灌注波に同等する。呼吸波のデータベクトルは以下である。

$$h(x) = [x_1 \ x_2 \ x_3 \ \cdots \ x_{m-2} \ x_{m-1} \ x_m]$$

上記のベクトル数値に対して、ベクトルに対して微分算出を実施する。

$$y(j) = h(j) - h(j-1) / \Delta t$$

$$j = 0, 1, 2, \dots, m$$

その内の正負反対点を取得し、つまり、極大極小点であり、極値点の間の横座標差値は呼吸波の時間間隔であり、間隔時間が 10 秒より大きいと、呼吸一時停止の発生である。

40

【0135】

長寿はあなたの生命過程を解決する問題であり、生命過程は機体の代謝過程であり、代謝過程は血流の流動を要し、結論は、生命過程が血流の順調、合理的な全身性流動を維持することである。血流の本質は、主に酸素成分と二酸化炭素成分を携帯することである。酸素成分は呼吸で摂取するものであり、二酸化炭素も呼吸で排出するものであり、漢方医理論において気血の基本観点を形成する。問題の結論は、血における酸素が多いほど、生命プロセスに支持し、血が全身の合理分布が、生命プロセスに支援する。この 2 つの問題は人の長寿のキーである。人的に制御できる環節でもあり、長寿の定量牽引を形成できる理論と技術実現である。

【0136】

健康長寿の定量牽引は、核心生命品質を表現する定量生理データの牽引に分解されても

50

よく、牽引は内部生命データを利用する自己意識制御の定量牽引でよく、具有高品質生命データを有するものの他の外部定量制御牽引でもよい。長寿の核心は内部機制の作用であり、外部機制は補助であり、これは、どんな環境と条件に生活しても世界各地にも長寿者があるからである。自然界において、1つの規律があり、大部分の哺乳動物の寿命はその生長期の7倍であるが、人の寿命は生長期の4倍である。その差異は人の高級皮質認知及び感情機能の進化にある。認知及び感情能力を有する人は、科学発明があり、科学を進歩させ、人々の疾病治療効果を向上さえ、寿命を延長することができる。しかし、人々が生存するエネルギー供給を消耗し、寿命の延長に影響する。平衡の結果は、人の均一寿命が70-80歳の間にある。認知及び感情は寿命に対する影響が大量のエネルギーを消耗することであり、頭部皮質の酸素代謝が増加し、対応する血流灌注も増加する。このような現象は人体の生命発展に関する他の機能器官血流灌注相対低減をもたらし、酸素代謝過程及び代謝産物の排出に影響を与え、結果として、人の寿命を低減させる。人の生命活動は以下のように理解されてもよい。

10

【0137】

1. 血流はエネルギーであり、心理エネルギーとも称する
2. 大脳皮質はコンピュータの1つのcpuコアに類似する
3. 自主神経（小脳を更に含む）はコンピュータの他のcpuコアに相当する
4. この2つのコアは人体の制御システムを組み立て、皮質は認知及び感情等の高級思惟活動を担 当し、自主神経システムは躯体各システムの協調作業、つまり、健康を担当する
5. 2つのコアは競争し、エネルギーの制御権を奪う
6. エネルギーは特定なものであり、一方が制御するエネルギーが多ければ、他方が制御するのが 少ない。
7. 心理と精神は身体に作用して表現した物理変更はエネルギーの増加と低減であり、つまり、血 流の多少である
8. 脳皮質が制御するエネルギーが増加すると（長期間）、自主神経が制御するエネルギーが低減 し、健康には問題が出る
9. 集中、冥想、ヨガ、太極、気功、漢方医の意守等はいずれも脳皮質がエネルギーに対する需要 を低減する（一部脳皮質領域エネルギー需要が低減する）
10. 睡眠、運動も脳皮質がエネルギーに対する需要を低減する
11. 脳皮質エネルギーの低減は人の身体健康に対して重要な作用を果たす
12. FMRIが測定するのは血流の多少であり、エネルギーの多少でもあり、代表するのは活動 の強弱である
13. 脳のエネルギー需要の低減は、大脳の1種の休眠であり、大脳自身にもメリットがある
14. 昏迷は自身が疾病を抵抗する方式であり、脳皮質は大部分エネルギーの需要を放棄し、昏迷（非脳痛手及びショック）に入り、自主神経が大部分エネルギーを接收管理し、死亡に対抗する
15. 中直りは自主制御が失効した後、エネルギーが正常に脳皮質へ戻し、一時の目覚め、随後死 亡
16. 実は、大脳緩めは脳皮質エネルギー低減の他の言い方である

20

30

40

【0138】

研究報告によると、研究者が機能核磁気共鳴断層装置（fMRI）を用いて冥想者と非冥想者との大脳差異を見つけ、冥想が思いやり、焦慮、精神分裂等の精神疾病に関する大脳領域を閉じそうと開示した。結論として、冥想が例えば禁煙、癌症対応、乾癬などの異なる健康問題に応用できる。彼らはfMRIで経験者と初心者の冥想者の大脳を走査し、経験者の冥想者がデフォルトモードネットワーク（default mode network）の大脳領域の活動を低減でき、関連脳領域の血流灌注を低減させる。

【0139】

なぜ緊張焦慮している人は腫瘍疾病にかかりやすいか、なぜ腫瘍疾病にかかった後に多

50

くの人にはびびて死ぬか、なぜ医者に対する信頼は治療効果を大いに強化させるか、なぜ愉快は長寿の重要因素であるか、なぜ心理偽薬効果があるか、なぜ疾病死亡前に昏迷するが、大脳が損傷しないか、なぜ中直りの現象があるか。これら現象の現れは、人体においてきつと一部の物理及び化学変更が行われるという意味があり、ここで、いかのように設定する。物理変更は全身血流灌注の変化であり、心理因素又は人体が危険で、生命制御機構が作った全身血流灌注の調整のことを説明し、心理因素が健康及び疾病治療に対する影響を反映する。

【0140】

長寿は1種の思考であり、思考は集中を代表し、集中は大脳大部分機能領域が抑制されることを代表し、その相応する血流灌注量が低減し、消耗する酸素エネルギーが低減し、他の器官の供給エネルギーが増加する。長寿のキー因素の1つは、身体血流分布及び呼吸効率である。血流分布は酸素エネルギーの全身での分布を示し、呼吸効率は血流に含まれる酸素の総量を示す。正確な血流分布は、人の寿命を促進し、正確な呼吸方式も人の寿命を促進する。血流分布は人の睡眠に関わり、人の思考に関わり、人の情緒に関わり、また人の運動に関わる。呼吸効率は人の肺活量に関わり、人の運動に関わり、人の呼吸方法にも関わる。血流が長寿に対する影響は主に携帯する酸素成分を躯体器官に搬送する量、あるいは代謝産物を持って排出する量である。呼吸が長寿に対する影響は主に肺において酸素と二酸化炭素との交換効率、各回に肺に吸入される空気の総量、拍動のスピード、及び激烈運動が酸素に対する消耗である。適当な、合理的な血流分布、効果的な呼吸方式、大きい肺活量は、健康長寿の重要条件である。長寿に対する牽引は、血流に対する牽引に変換され、呼吸に対する牽引に変換される。血流分布の牽引は、躯体血流灌注及び頭部血流灌注に対する。本発明において血流灌注の測定方法を用いて、血流灌注指数の定量リアルタイム指標を取得し、測定結果によって、睡眠、冥想、ヨガ、鎮静、太極、適当運動等が頭部が酸素代謝に対する需要を低減させ、相対的に脳部血流灌注量を低減させ、躯体血流灌注量を増加させると分かる。緊張、怯え、焦慮、憂鬱、不眠等は血流分布の逆変更をもたらす。

【0141】

睡眠は健康に有利であり、速く歩くことは健康に有利であり、このような常識がすでに人の心に深く入った。結論として、睡眠が健康長寿に対する作用は血流灌注の変化にあり、躯体器官が更に多い血流を取得する。速く歩くことが健康長寿に対する作用は、呼吸の周波数を上げ、拍動速度を速め、単位時間での血における酸素含有量を増加させ、酸素を携帯する血液は全身各箇所循環する周期が増加した。しかし、過度運動は健康に損傷し、その原因は筋肉が酸素に対する消耗が酸素の取得より大きく、酸素代謝が外部作業に変換される。

【0142】

睡眠は人々の血流分布を改善でき、睡眠の定量生理データ及び脳波を表現でき、長寿の定量牽引に対して、脳波に対する定量牽引に変換されてもよく、脳波は脳状態変更を反映し、リアルタイム定量脳状態の測定技術は、定量牽引脳状態の原動力であり、長寿に対して巨大な作用を果たし、外部に高品質睡眠を有する者が他人に対して睡眠牽引を実施する主なツールでもある。長期間に渡って、昔も今も国内でも国外でも内部自己意識下での脳状態の制御方法があり、いずれも人々が自然に探した延年の非定量化方法であり、核心意味は全身血流灌注の分布に影響し、冥想、催眠、鎮静、ヨガ、太極、祷告及び様々な気功はいずれもこのような方法の現れるである。適当な運動、呼吸調整、適当に心拍数を速めること、肺部筋肉力の改善は、健康及び長寿に対して正方向の促進があり、呼吸効率の定量牽引、肺活量の定量牽引は血流における酸素の総量を増加する直接方法であり、寿命を延伸する他の表現である。血流分布及び呼吸効率が健康長寿に対する作用は、漢方医理論における気血原理、陰陽平衡原理に現れる。血流分布及び呼吸効率を定量的に、リアルタイムに自主に引牽することは、生命プロセスを伸ばし、長寿目的に達することができる。

【0143】

脳抑制背景下の疾病治療モードは、疾病治療の人体背景の精細化制御モードである。血

流灌注が健康長寿に対する作用は明らかである。血流灌注が疾病治療に対する作用も明確である。特に重大疾病の治療に対する。人体頭部及び躯体の血流灌注変更（頭部疾病を除く）を積極的に制御して、治療効果を向上させ、高級皮質認知機能がエネルギーを消耗し、血流に携帯される酸素を消耗し、血流が頭部への灌注量を上げた。このようなエネルギー消耗は疾病の治療に対して特定の不良影響を生じ、大脳高級認知機能がエネルギーに対する需要を制御し、大脳の認知機能を暫時抑制及び休眠し、この背景下で、疾病の治療を展開させ、大脳へ搬送する血流灌注を低減させ、疾病部位へ灌注する血流を向上させ、血に携帯される免疫細胞と抗体、及び酸素成分が更に多く疾病部位に到着させ、疾病の治療に対して正方向影響を生じ、このような疾病治療背景を制御する方法は、外部疾病治療手段と身体内部疾病抵抗の能力を結合し、協力して疾病の発展を抑制する。昏迷は身体内部が疾病を抵抗する調節機制（脳部病変又は病理性昏迷を除く）であり、疾病が身体に対する侵害は生命危険がある段階では、生命制御中枢は全身の血流分布を自動的に調節し、大脳の血流灌注を低減させ、疾病部位の血流灌注を増加させ、血流に携帯される抗体細胞、免疫細胞及び酸素エネルギー等を用いて疾病の発展を抵抗し、これは人の昏迷となる。頭部血流灌注が低減すると、大脳の酸素代謝レベルを低減させ、人の自己意識機能の大部分が抑制され、この時の認知及び感情がすでに意味がない。これは身体自身が疾病を抵抗する能力の現れである。我々が見える、人体自身が疾病を抵抗して動物が疾病を抵抗する能力と同一な表現である。中直り現象はこのような能力の反映であり、このような能力を失う現象である。疾病が更に発展すると、生命制御中枢の機能に損害し、このような調節機制を喪失し、血流灌注が大脳へ戻り、一時の目覚め、一時の意識がある。これに伴って、このような時刻には常に人の記憶が更に清楚になり、疾病状態における認知程度が大きい差異があり、これによって、結論として、このような脳代謝の需要を積極的に低減することによる大脳血流灌注の低減は、大脳の抑制及び休眠をもたらし、実は、大脳に対する保護であり、心臓手術において麻酔鎮静して大脳に鎮静電位が現れることに類似し、脳代謝を最低に低減させ、最もよい脳保護の結論と一致する。身体自身が疾病を抵抗する能力は、外部手段で早めに動かしてもよく、疾病がまだ身体内部昏迷機制が効く前の段階に発展しない内に、外力でこのような昏迷機制を駆動して効かせ、これによって、さらに多い血流を疾病発生部位に灌注させ、マクロでは疾病治療の効果を向上させる。つまり、心理負方向情緒が疾病治療に影響する因素をできるだけ早期に消去する。

頭部血流灌注指数の特徴指標を利用し、注入ポンプの静脈鎮静薬物の注輸を閉環フィードバック制御し、フィードバック制御機構は定常状態調節システムであり、頭部血流灌注指数を最小にする。フィードバックパラメータとして頭部眼窩上動脈血流灌注指数特徴指標を用い、注入ポンプの静脈鎮静薬物の注輸を閉環フィードバック制御し、ターゲットを制御して頭部眼窩上動脈血流灌注指数を最小にする。本発明において頭部上動脈血流灌注信号収集及び算出技術を用い、無線移動生命情報収集伝達端末を使用し、頭部眼窩上動脈の血流灌注信号を収集し、信号がW I F I モードにより処理コンピュータに送信され、コンピュータが信号に対して自動的に算出処理を行い、リアルタイムな灌注指数の定量数値を獲得し、標準R S 2 3 2 通信インターフェースを介して、制御コマンドをイギリス製のG r a s e b y 3 4 0 0 注入ポンプのコンピュータインターフェースに送信し、注入ポンプを制御して鎮静薬物を自動的に注輸し、皮質認知機能を抑制する目的を達成する。制御規則がT C I ターゲット制御注輸モデルを用いて、制御本体として血薬濃度を設定し、血流灌注指数を結合してフィードバック調節として、血薬濃度を増加又は低減し、眼窩上動脈血流灌注を最小に自動的に制御し、自動睡眠鎮静疾病治療を定量的に制御する背景方法に達する。制御フローは図19を参照する。

【0144】

生命データの測定及び算出、在宅化の使用モードは、持続して生命状態に対してデータで分析して表現できるニューモードである。ここで、測定及び算出の内容は、元の疾病が発作した後、病院で開催した臨床検査及び測定した業務フローからのものである。医療臨床検査項目において分解可能な内容を分解して、単一項目標準化の生命状態定量測定サービスとなる。各項測定及び算出は任意の環境下で、簡単、実行可能な方式で自由開展でき

、データが自動的に伝達と処理され、自動的にデータベースに融合されて保存される。データのレビュー及び閲覧は、健康銀行個人アカウントのウェブサイト応用を管理プラットフォームとし、生命状態情報を自ら組織分析算出し、様々な疾病生理、生命体特徴データ検査報告及び健康予測報告を形成する集合能力を有する。大部分慢性疾病に対して、医師の診断は定量医学検査及び測定的基础上で行われる。かつ、いずれも疾病が発生した後、検査と測定、再診断と治療を行い、疾病発生前の健康情報が完全空白期となり、予防と予測できない。このようなモードを変化させ、現代技術が発展して新たな健康医療モードの現れを支持できる。疾病診断が要する各項検査と測定フローを分析して、大多数医療検査項目に対して、映像及び一部複雑な生化検査のほかに、検査測定に含まれるすべての内容を分解し、信号を収集するハードウェア及び測定項目内のすべての指標を含み、それぞれ独立する単一項目、単一指標の検査測定内容を形成し、現代無線通信技術及び自動算出分析技術を結合し、これら単一項目検査測定を家庭環境及び作業環境に普及し、持続して規律的に行い、疾病の特徴変更を自動的に抽出し、これで、疾病発生後の医学検査測定を疾病発生の前に拡張して効果的に持続して行い、それを個人健康情報の私有保存内容にし、健康銀行個人アカウントに保存し、インターネットのようなビッグデータフレーム及びリアルタイムに知的に情報を交換するモノのネットワークを応用担体とし、このような応用は疾病診断のフロー創新を実現し、すなわち、疾病診断が要する現在検査測定のほかに、医師は最近の関連疾病在宅化の検査測定結果を閲覧できる。同時に、最も重要なのは関連疾病の予防、予測した疾病治療及び健康管理のニューモードを実現した。様々な疾病の診断検査項目の具体内容を分類し、個人健康銀行アカウント管理下で、無線移動方式で生命データを収集と算出する。疾病の診断検査分析報告における様々な指標を独立ユニットに分類し、それぞれ収集して伝達し、単一項目生命データセットを構成する。アカウントはユーザの操作によって、生命データセットにおけるデータを自動的に組織し、分項して異なる疾病の生命データサブセットに分けられ、分解した異なる疾病発展変更に向向する一束の特徴指標群を取得し、所定疾病の医療検査分析報告、及び所定疾病発生発展の予防、予測報告を生成する。単一指標簇を疾病又は健康分析報告に変換させるデータ交換方法を確立する。アカウント下のデータはいずれも単一項目生命データのフォームで記憶され、単独に購入できる、定量的にある生命状態発展変更に向向する1セットの医療サービス内容を形成する。分割によって日常生命データ算出サービスを開展できる検査測定項目は以下のとおりである。

【0145】

10

20

30

【表 1 - 1】

類別	番号	名称	説明
睡眠測定	1	一晩睡眠において深睡眠が占める時間を分析算出	睡眠が人の一生の1/3の時間を占め、健康及び疾病の発生に関し、この1/3時間に何か発生するか、重要な価値がある。嚴重神経衰弱病にとって、不眠、焦慮、憂鬱症、及びアルツハイマー病、多動性障害児童、精神疾病患者、及び睡眠疾病（睡眠呼吸一時停止低通気等を含む）を含み、一晩睡眠において深睡眠時間の多少を測定する必要がある。
	2	一晩睡眠において浅睡眠が占める時間を分析算出	前記のように、上記疾病に対して、一晩睡眠における浅睡眠時間の多少を更に測定する必要がある。
	3	一晩睡眠における覚醒回数を分析算出	上記疾病の診断は、一晩睡眠過程において覚醒回数の多少を更に測定する必要がある。
	4	一晩睡眠において睡眠潜伏期の長さを分析算出	上記疾病において、伴う表現は睡眠障碍の発生であり、睡眠潜伏期の多少を承知して精確に測定する必要がある、つまり、睡眠開始から寝たまでの間の時間であり、睡眠障碍の深刻程度を示す。
	5	一晩睡眠において夢を見ることの時間の多少を分析算出	上記疾病の診断は、睡眠において高速位相睡眠の状況を測定する必要がある、つまり、一晩睡眠において、夢を見ることの時間の多少である。

10

20

30

40

【表 1 - 2】

	6	一晩睡眠において酸素投与が4%を低減させる合計時間の多少を分析算出	睡眠において、睡眠呼吸一時停止低通気、又は心臓機能不全、心脳血管塞栓等疾病が生じると、人の血酸素飽和度が低減し、目覚め時と比較すると、4%以下までに低減する時間は疾病診断と疾病発作警報の主要根拠である。同時に、人の健康長寿の重要表現である。	10
	7	一晩睡眠において酸素飽和度最低の数値の多少を分析算出	上記と同じ道理で、睡眠において血酸素飽和度が低減した最低値が多少であるか、疾病程度の重要診断根拠でもある。健康長寿の明確指標である。	20
	8	一晩睡眠において均一酸素飽和度の多少を分析算出	上記と同じ道理で、睡眠において均一血酸素飽和度の多少は疾病診断及び健康長寿の重要根拠でもある。	20
	9	一晩睡眠において寝返り体動の回数を分析算出	上記睡眠疾病は、睡眠品質に問題があるとし、一晩睡眠において、寝返り体動の多少は睡眠品質の良否を示す。	30
	10	一晩睡眠において最も速い拍動回数を分析算出 一晩睡眠において最も遅い拍動回数を分析算出	睡眠中、心臓機能の変更は身体機能全体表現の重要指標であり、拍動の最も速いと最も遅いことが心臓病診療において測定必要があるデータである。	30
	11			

【表 1 - 3】

呼吸測定	12	一晩睡眠において10秒時間以上の呼吸一時停止の回数を分析算出	睡眠中、筋肉弛緩又は中枢神経システムの問題によって、呼吸一時停止、低通気の場合が起こり、睡眠において呼吸一時停止回数の測定は睡眠呼吸一時停止低通気総合症の診断指標の1つである。自己が健康長寿状態を承知するキー指標の1つでもある。一時停止時間は10秒以上である。	10
	13	一晩睡眠において呼吸一時停止期間酸素飽和度均一値大きさを分析算出	睡眠において呼吸一時停止低通気発生時、血酸素飽和度の均一値大きさを算出し、睡眠呼吸一時停止深刻度を反映する重要指標である。	20
	14	一晩睡眠において呼吸一時停止最長の時間を分析算出	睡眠において、呼吸一時停止現象が発生すると、一時停止最長の時間の多少は、疾病深刻度の主要指標である。	
	15	一晩睡眠において呼吸一時停止の周期を分析算出	呼吸一時停止の発生周波数は疾病深刻度を反映する重要データである。	
	16	一晩睡眠において各分間均一呼吸回数を分析算出	睡眠中各分間均一呼吸回数の多少は植物神経機能を了解する補助データである。	30
	17	一晩睡眠において覚醒を伴う呼吸一時停止事件を分析算出	睡眠中、呼吸一時停止又は低通気が発生すると、人の睡眠過程を停止させ、覚醒を起こし、人の睡眠品質に深刻に影響し、覚醒に伴う呼吸一時停止回数を測定及び算出し、つまり、疾病深刻度のキーデータでもある。	40

【表 1 - 4】

血 流 及 び 血 圧 測 定	18	指定期間内の血圧変更傾向を分析算出	血圧の高低は人体循環システム機能を反映する主要指標である。血圧の傾向変更は、高血圧による心脳血管疾病発作を反映する参照根拠である。特に24時間において、目覚め及び睡眠期間血圧の変更傾向は、突発心脳血管疾病の予測に対して意味がある。	10
	19	指定期間内の血圧最高値及び最低値、発生の時間を分析算出	指定期間において最高血圧及び最低血圧は高血圧疾病の指標であり、血圧差の大きさも疾病深刻度の参照根拠である。高血圧と低血圧の発生時間は、高血圧治療の服薬と活動の参照根拠である。	20
	20	一晚睡眠において寝る前及び覚醒後の血圧値を分析算出	寝る前及び覚醒後の血圧値は、睡眠中、呼吸一時停止の発生が血圧に対する影響の深刻度を反映し、呼吸一時停止疾病の治療効果もこれによって反映される。	
	21	指定期間内の血管弾性変更を分析算出	血管硬化程度は心脳血管疾病と様々な嚴重疾病との関連の主要表現である。血管弾性の測定は、主に頭部血流灌注及び4肢末梢血流灌注の血流通路の血管に対する。男性のペニス血流灌注通路でもよい。血管通路の総合硬化度を反映する。測定するデータは疾病発生を予測できて又は治療効果、及び健康長寿のレベル高低を代表する。	30 40

【表 1 - 5】

22	血管内皮機能変更を分析算出	血管内皮機能は血管弾性の表現を代表し、内皮機能も内分泌の変更であり、心臓機能の変更に対して明確な参照価値を有する。血管内皮機能を測定算出して感知し、血管疾病の予防予測に対して明確な意味がある。
23	運動前後の頭部血流灌注変更傾向を分析算出	頭部血流灌注は人体血流灌注の30%左右を占め、頭部大脳皮質の血流灌注は認知及び感情にエネルギーを提供し、睡眠と目覚め、運動と静止は全身血流分布の変更を起こす。特に大脳皮質の血流灌注が変更する。睡眠と運動は大脳血流灌注に対する影響は、実際に、大脳の代謝需要を変化させ、臓器血流灌注量の変更をも代表する。血流灌注の変化は身体健康に影響する要素の1つである。運動前後の血流灌注変化を測定し、運動が健康に対する影響の大きさを分析できる。
24	運動前後の躯体末梢血流灌注変更傾向を分析算出	末梢血流灌注の変化は、頭部血流灌注の変化を結合し、身体運動トレーニング有意健康の効果大きさを定量測定する必要データであり、血管硬化程度変化を反映する定量方法でもある。

10

20

30

40

【表 1 - 6】

血糖測定	25	一晩睡眠において上下肢血流灌注変更を分析算出	睡眠中上下肢血流灌注の変化は、血管硬化及び躯体血流灌注の大きさ変更を間接説明する。下肢血流灌注の良否は、老年人の運動能力に影響を与え、このような測定は健康状況の承知に対して参照価値がある。	10
	26	指定期間内の血糖変更傾向を分析算出	糖尿病の血糖測定が血糖制御に対する作用は巨大である。血糖を測定し、傾向変更を形成し、生活において他の関連生命データ及び主観感覚、運動情報、出入量等を結合し、血糖制御の最高パスを見つけられる。	20
拍動測定	27	指定期間内の拍動変更傾向を分析算出	拍動数、運動時及び鎮静時の拍動数は、健康状態の承知に対して重要な測定データである。拍動の変更傾向も心臓機能の徐々変更を観察する重要データであり、個体相互間の健康比較の主要内容でもある。	30
	28	指定期間内の外収縮拍動回数を分析算出	拍動外収縮回数は心不全と冠状動脈硬化による心臓病発作の予測因素であり、外収縮は生理性外収縮及び病理性外収縮に分けられ、外収縮の回数はある数値以下とある数値以上であると、病理と生理性表現の程度を示す。	40
	29	24時間内の心拍数変異大きさを分析算出	心拍数変異性は植物神経機能の調節能力の大きさ及び敏感度を示す。心拍数変異性は心臓疾病診断の補助指標の1つである。	

【表 1 - 7】

	30	指定期間内の血圧、心拍数関連変更を分析算出	血圧及び心拍数の聯合変更傾向は、循環機能調節能力、ストレス反映調節能力を反映でき、血圧及び心拍数の聯合数値を測定し、その大きさの変化は、健康状態の変更及び疾病発生の表現の1つである。	10
体温測定	31	指定期間内の体温変更傾向を分析算出	体温数値の変更傾向を測定し、熱発治療の効果評価、及び疾病の予測予防に主に応用される。身体内部の炎症発生及び持続はいずれも発熱と表現する可能性があり、一部の悪性腫瘍の発生も発熱の表現を伴う。	20
	32	指定期間内の体温、拍動関連散点分布を分析算出	体温と拍動の数値を測定し、体温－拍動散布図を形成し、例えば心筋炎等の嚴重併発症の現れの可能を分析できる。これによって、誤診と重要情報喪失による危険の発生を避ける。	
運動測定	33	24時間内の相対運動量の多少を分析算出	運動量の相対変更大きさの測定及び算出は健康長寿状態を反映する定量指標であり、心臓方面の検査測定を結合し、心不全、冠状動脈硬化による心臓病の発生可能を予測予防できる。	30

【表 1 - 8】

	34	24時間内の下肢相対運動量の多少を分析算出	下肢運動量の大きさを測定算出し、頚椎、腰椎椎間板ヘルニアが下行きの神経に対する圧迫の程度を反映でき、また、脳卒中後対麻痺患者下肢活動の回復過程の客観的な効果を表現できる。健康長寿のプロセス発展の定量測定でもある。	10
	35	24時間内の上肢相対運動量の多少を分析算出	上肢運動量の大きさを測定算出し、頚椎、腰椎椎間板ヘルニアが脊柱神経に対する圧迫の程度を反映でき、また、脳卒中後半身不随患者肢体活動の回復過程の客観的な効果を表現できる。健康長寿のプロセス発展の定量測定でもある。	20
敏感測定	36	24時間内の感官入力敏感度分布を分析算出	感官敏感度を測定し、脳の干渉排除能力の大きさを代表し、集中能力の高低あるいは、反応意識敏感性、倦怠度、嗜眠状況の程度を間接反映する。外部のに対する反応力低減の程度を反映する。測定方法は脳波分析算出である。	30

【表 1 - 9】

	37	神経調節強度を分析算出	植物神経調節張力の大きさを測定し、疼痛、精神圧力、外部刺激に対する生理反射の大きさを反映でき、測定値が大きほど、刺激に対して生じる血圧、血流灌注、拍動の変更が大きく、併発疾病を起こし、更に生命に影響することを示す。数値が小さすぎると、神経調節能力の老化、弱化を示し、身体の一部の病変を高速に効果的に発見できなく、又は生命活力を喪失しようとする。
--	----	-------------	--

【表 1 - 1 0】

脳 測定	38	脳使用習慣、左右脳側性化を分析算出	大脳皮質の高級機能は生まれた後に徐々に発育して成熟したものであり、成長環境及び学習環境が大脳皮質発育に対する影響は決定的であり、大脳の左右半球が合作するとともに、競争し、それぞれ相対独立して一部の所定認知、感情機能を完成させ、左脳機能発育が強大するほど、右脳機能の発育を抑制し、逆でも同一である。成長に従い、脳使用習慣を形成する。左右脳側性化は得意な技能、感情を代表し、大部分の場合は、左脳メリットが言語能力、付き合い能力、ロジック能力、管理能力、快楽能力である。右脳の創造能力、記憶能力、感情能力、形象思惟、専門技能が比較的突出する。測定数値は左右脳の協調発育を反映し、深刻な左右脳側性化が現れると、一部の疾病又は亜健康の問題が発生することを示し、例えば、不眠、焦慮、憂鬱、疲労発生の可能性がある。
---------	----	-------------------	---

10

20

30

【表 1 - 1 1】

39	現在脳状態（脳含蓄、記憶加工、倦怠度、脳鬱散、脳排空、不眠指数、目弾き回数、脳抑制時間、脳興奮時間、目開け及び目閉じ時間）を分析算出	現在脳状態の測定は、大脳現在状態の実際値を反映し、ここで、脳含蓄が大脳感官信号入力 of 敏感程度を反映し、集中能力、意識ファジー、睡眠に直接関連する。記憶加工は大脳が記憶加工状態にあることを反映し、この時、大脳各機能領域が既に大脳に入力したデータを同期に協調して処理し、記憶を形成する。倦怠度は現在大脳が倦怠状態にあることを直接反映し、嗜眠傾向がある。脳鬱散は心理鬱散状態を反映し、表現のは大脳が抑制態、鎮静態にあることである。脳排空は大脳空明程度を反映し、この時、思惟強度が低く、なんにも考えない状態に接近する。不眠指数は寝る難易程度を反映する。数値が高いと、寝つきが悪いことを示す。目弾き回数は測定において目の目弾き回数である。脳抑制時間は鬱散と脳排空時間の合計である。脳興奮時間は大脳緊張、外向、交流の時間の合計である。目開けと目閉じ時間は測定において目開けと目閉じの時間の合計である。
----	---	--

10

20

30

【表 1 - 1 2】

脳 反応 速度 測定	40	現在の脳反応速度状況を分析と算出	大脳の反応速度を測定し、自己大脳が外部情報に対して反応するスピードを了解でき、大脳が1つの状態からもう1つの状態へ変更する速度スピードは、人の動作、喋りスピードに関わり、不用意さ、速くことをやることにも関わる。	10
疲 労 度 測定	41	大脳の疲労度状況を分析と算出	大脳の疲労度を測定するのは、自己大脳作業効率と脳現在状態を了解するための重要データである。脳疲労は最近に大脳がオーバーロード作業にある背景状態を反映し、作業効率と作業能力の低減を直接説明し、人の健康状態を間接反映し、特に持続疲労状態は、臓器の不全、急死等の深刻事件を引こす可能性がある。	20
脳 エ ネ ル ギ ー 消 耗 測 定	42	大脳が消耗するエネルギーの状況を分析と算出	脳エネルギー消耗を測定し、その数値は大脳の作業強度と圧力大きさを反映し、焦慮、憂鬱、不眠は常に脳エネルギー消耗の増加に表現され、脳エネルギー消耗の変更は、身体臓器のエネルギー供給大きさを予測し、脳エネルギー消耗の数値は、最近健康レベルの重要定量根拠である。	30

【表 1 - 1 3】

内 集中 測定	4 3	大脳内に凝集される思考の変更の分析と算出、内集中の測定	集中能力は大脳の思考能力で、大脳があることに集中する思惟強度である。大脳は1つの全体であり、多くの機能領域があり、多任務併発方式で様々な認知及び感情情報を処理する。内集中は大脳が内部認知と感情思考に集中されるが、外部情報受信機能領域を抑制する集中モードと表現される。内集中は複数の任務が大脳内部で同時処理し、又は複数の興奮領域がある。他の興奮領域又は興奮点を抑制し、1つの興奮点を保留するのは、最高の集中モードであり、通常、科学問題、技術問題解決、問題学習の思惟モードでもあり、他の機能領域の興奮レベルの抑制が強いほど、集中度が高く、能力が強く、成就が高いことを示す。あることを思考している時、負方向情緒機能領域の興奮を伴い、それは焦慮と憂鬱の表現であり、さらに大脳が同時に多くの興奮領域が興奮していて、負方向のものがあ、心配等があり、異なる外在表現となり、つまり情緒表現である。関心することを思考し、左脳快楽中枢の興奮を伴うと、それは楽しさ、期待であるが、外部感覚器官機能領域の興奮を伴うと、集中能力が悪く、静かに思考できないことである。同時に、右脳の感情中心の興奮、負方向情緒を伴うと、焦慮症状が現れる。
--	--	------------------------------------	---

10

20

30

40

【表 1 - 1 4】

		外部感覚機能領域が抑制されるが負方向情緒があると、心配と不愉快の表現である。このような思考及び負方向情緒から抜け出すことができないと、憂鬱となる。興奮点が多すぎると、抑制できないと、不眠が生じ、複数回が現れると、人が睡眠を忘れ、頑固性不眠患者となる。 興奮点が多いほど、要する血流灌注が多く、消耗するエネルギーが多い。このため、集中は身体健康に影響を与える。内集中の最高情況は1つのみ問題に関心し、相応脳区が興奮している、あるいはほんのすこしの左脳快樂中枢領域の興奮を伴い、興味があると意味し、健康と睡眠にとって最高状態であり、科学問題又は問題学習、技術問題にとって最高の解決の道である。大喜と大悲はいずれも健康と問題解決に不利な表現である。大脳の内集中レベルの測定は実際に大脳が各機能領域を抑制する能力の測定であり、焦慮と憂鬱状態の測定は学習能力、作業能力を測定する有効定量データでもある。深く抑制するほど、強く爆発する。これは内集中を測定する判定標準である。	10
			20
			30

【表 1 - 1 5】

外 集 中 測 定	44	外部情報に集中される情況の分析と算出、外集中の測定	内集中に同等し、外集中は外部受信情報に対する処理及び思考である。外部入力の情報取得、整理、理解、認識、回答等に集中する。同様に、外集中の発生は様々な機能領域の興奮又は抑制を伴い、各大脳機能領域が異なる興奮及び抑制は異なる情緒状況と外部行為を代表する。大部分機能領域を抑制し、外部情報の摂取に集中し、例えば、読書、文章を書くこと、宿題を書くこと、真剣に授業をうけること、他の個体と真剣に交流すること等がある、当然、交流は更に言語中枢の興奮を伴う。つまり、最高の外集中表現である。喜劇を見ること、悲劇を見ることであつてもよく、左脳快楽中枢の興奮又は右脳感情中枢の興奮を伴う。このような集中は身心を愉快させ又は感情を発散させる。また1種の外集中があり、つまり、運動中枢を付帯する興奮であり、常に労働、体育トレーニング、さらに喧嘩と表現される。同様に、関係ない脳区の抑制が高いほどよい。子供身体で表現されると、感覚器官入力が興奮し、運動中枢が興奮し、処理加工情報が興奮しなく、つまり多動性障害の表現である。	10 20 30 40
-----------------------	----	---------------------------	--	---

【表 1 - 1 6】

			外集中を測定する定量数値は、身心状態、人との付き合い能力、協調能力、学習と作業能力を反映できる。多動性障害、自閉症等の定量数値表現もある。
脳 活性 測定	4.5	大脳の認知配向力、脳任務を完成する予備力大きさを分析と算出	大脳の認知及び感情作業は大脳高級機能の表現である。大脳がよく休息すると、又は大脳がよく抑制されると、休眠がよいほど、脳の認知配向力がよく、複雑な問題を解決する能力が強い。特に思惟問題である。脳活性の定量数値を測定し、現在、脳状態が十分な能力があつて複雑な任務を完成するか、脳の認知及び感情能力の貯蔵の多少を示す。児童と老人は、脳活性が悪く、測定数値が高いと表現する。児童の脳発育がまだ完成しなく、正確に大脳を用いて認知任務を完成することができない。老人の大脳が老化し、萎縮し、さらにアルツハイマー病に罹り、所定の認知任務を完成できない。青年及び大人は、大脳が十分に休眠及び抑制しないと、例えば、徹夜後、脳活性が大いに低減し、問題解決の能力を保証できなく、脳貯蔵がなくなる。このため、脳活性が大脳の老化程度と児童大脳の発育程度、青年人と大人が最適な任務完成能力の状態にあるかを反映できる。

10

20

30

40

【表 1 - 1 7】

男性機能	46	一晩睡眠においてペニス勃起回数を分析算出	男性陰萎に対して、機能勃起障碍の発生は生活品質を影響する問題の1つである。一晩睡眠において、ペニス勃起の回数を測定し、自己ペニス勃起機能が正常であるか否かを実際に了解でき、問題が心理上であるか生理器官であるか、性生活品質を治療改善することに分析データを提供する。	10
	47	一晩睡眠においてペニス勃起の最大圧力を分析算出	ペニス勃起の原因はペニス充血であり、ペニス充血による圧力の大きさはペニス勃起機能品質を反映するデータ指標の1つであり、この数値を測定し、自己心生健康の度量、身体老衰の傾向を了解できる。	20
	48	一晩睡眠においてペニス勃起時の相対血流灌注の大きさを分析算出	一晩睡眠においてペニス勃起に伴って、血流灌注が急速に増加し、ペニス勃起時血流灌注の増加及び血流灌注波の血流形態変更を測定し、ペニス勃起の機能状況を反映でき、同時に、血管弾性の状況を反映できる。特に心臓供血機能の良否及び心臓病発作の予測である。	30

【表 1 - 1 8】

歴 史 受 診 情 報	49	一晚睡眠においてペニス勃起と睡眠構成との相対関係を分析算出	ペニス勃起が夜間睡眠時自然発生し、正常のペニス勃起は、一般的に、高速位相睡眠、つまり、夢を見る時に発生する。ペニス勃起と睡眠の関係を測定し、勃起機能変更を分析する主要データであり、勃起機能障害病因を判断する主要データでもある。	10
	50	指定期間内の主観健康感受を分析算出	日常生活に、自己が健康に対する感覚は疾病診断において重要な内容であり、医者を見る時、自己の状態を記述する必要があるが、つまり主訴であるが、常に回顧の形式で行われ、正確又は全面になりにくい。自己の調子悪いの様々な主観感覚をリアルタイムに記録し、詳細な真実な自己感覚及び相応する事件を残し、後の疾病の診断に対して巨大な価値がある。	20
	51	指定期間内の医療受診において生化検査の変更傾向を分析算出	医療受診過程は実際に検査と化学検査の過程であり、常に多くのデータを生成し、特に生化データは、定量の客観的なデータであり、毎回到受診するときにこれらデータを生じさせ、毎回到測定したこれら生化検査データを時間座標で傾向図変更曲線に接続させ、自己生命において生化上に発生した変更を直観的に了解できる。健康長寿と疾病診断に対して重要な意味がある。	30 40

【表 1 - 1 9】

	5.2	指定期間内の毎回受診記録において処方及び医療病案を表示する内容を抽出	受診において、大量の医療書類が生じ、病案、医師指示、処方等を含み、保存して査閲し、処方と医師指示における治療検査情報を抽出し、警報を提示し、疾病回復と疾病発展に対して更なる診断に完全な診査履歴と参照根拠を提供する。	10
	5.3	指定期間内の毎回受診記録において映像検査を表示する内容を抽出	映像検査も診査時に生じた医療情報である。健康の参照データでもあり、次回診査時の重要な診断参照データでもある。	
産 前 保 健	5.4	妊婦指定期間内の胎児の胎心変更を分析算出	妊婦の胎児胎心波形を測定し、記録して随時レビューし、問題があると、即時に診査処理する。	20
	5.5	妊婦指定期間内の胎児の胎動回数を分析算出	胎動回数を測定し、記録して傾向図を生成し、随時レビュー観察し、問題があると、即時に診査処理する。	
医 療 受 診 情 報 入 力	5.6	医療健康情報電子健康銀行記憶サービス(無料に口座を開く)	すべての医療受診データ、主観的な感受データ、生理バイタルサイデータ、部分生化データ(可在宅化使用)、運動量、出入量データ等は、電子化記憶されて査閲される。査閲方式はインターネットウェブサイト管理下の個人アカウントであり、ユーザ名及びパスワード方式で入る。	30

【表 1 - 2 0】

57	医療診査が生じた普通外来診療情報電子化収集サービス	外来診査が生じた様々な医療情報であり、医指示処方箋、化学検査領収書、病案、映像領収書、費用明細等の医療履歴がその個人健康銀行アカウント下の相応記憶ユニットに入力され、長期間記憶される。	10
58	医療診査が生じた急診診療情報電子化収集サービス	急診診査が生じた様々な医療情報であり、医指示処方箋、化学検査領収書、病案、映像領収書、費用明細等の医療履歴がその個人健康銀行アカウント下の相応記憶ユニットに入力され、長期間記憶される。	20
59	医療診査の入院治療が生じた病室診療情報電子化収集サービス	入院診査が生じた様々な医療情報であり、医指示処方箋、化学検査領収書、病案、映像領収書、費用明細等（手術と重症監護診療情報が含まれない）の医療履歴がその個人健康銀行アカウント下の相応記憶ユニット中に入力され、長期間記憶される。	30
60	医療診査において手術診療情報の電子化収集サービス	手術治療が生じた様々な医療情報であり、手術薬使用、手術同意書、手術前訪問、手術後訪問、麻酔メモ、看護メモ、費用明細等の医療履歴がその個人健康銀行アカウント下の相応記憶ユニットに入力され、長期間記憶される。	40

【表 1 - 2 1】

	61	医療受診において I C U (重症) 監護診療情報の電子化収集サービス	重症監護受診が生じた様々な医療情報であり、治療薬使用、病案、化学検査検査、看護記録、看護操作、費用明細等の医療履歴がその個人健康銀行アカウント下の相応記憶ユニットに入力され、長期間記憶される。
--	----	--------------------------------------	--

10

【0146】

人体は抵抗力、免疫力を有するとともに、強大な潜在力を有する。報道によると、12歳の一人の女の子は部屋が火事している場合に、独自にピアノを部屋から移動した。普段、このような力は絶対に自己意識によって激発されない。潜在力、潜在意識が人体に客観的に存在することを示す。かりに人体がこれら潜能を動かす方法を忘却し又は習得しなく、大脳の学習能力が生まれつくものであり、このような能力を利用し、大脳に人体の関連生命情報の変更をリアルタイムに感受させ、絶え間なくこの過程を重複し、これら情報を制御してこれら情報が代表する人体一部の潜在の能力を激発させることを習得する可能性がある。

20

【0147】

大閉環フィードバック診療プラットフォームのモードは、ビッグデータ、クラウドコンピューティングの背景下で、人の大脳高級皮質中枢、ある生理システム及び生命データ収集端末、無線インターネットプラットフォーム、コンピュータ、移動通信表示装置、ロボット、実行装置を一緒に接続させる空間距離透明化のリアルタイムビッグシステム形態であり、多入力多出力システムでまる。無線インターネット背景下で、生命データを収集し、生命データ種類を分類し算出処理を行い、特徴指標を抽出し、無線インターネットと端末装置を介して、大脳の感覚情報に変換する。大脳が自体の関連生命データの変更情報をリアルタイムに感知し、絶え間なくこの過程を重複し、自己意識下で、これらデータ変更を制御する方法とテクニックを形成し、人体に忘却される又は大脳皮質高級中枢が習得していない身体器官作業過程を意識的に変化させる能力を習得し、大脳潜在意識を動かしてこれらデータが代表する人体一部の潜在の能力を激発する。このような感知は標準化、規範化の過程であり、すべての人に普遍適応する。まず、身体健康及び疾病治療効果を代表する生命情報内容を発掘し、これら情報は測定可能な、リアルタイムな、定量的な、普遍適応性を有する、すべての人の絶対値を重複するものである。これら情報は人体からのもので、医療診断及び治療効果評価における各項医学診断検査指標からのものであり、定量化データ方式で存在し、これら指標の変更は医者が疾病及び健康過程に対する判断根拠である。これら生命検査指標を病院医療行為から剥離し、それを医者の診断疾病の定量化情報とする主要作用の他に、それを人々の日常娯楽と競技試合、冒険の核心内容とする。そして、在宅化収集、インターネット伝達、算出中心クラウドコンピューティング、特徴指標生成、及び指標データを娯楽化、競技化変換する大閉環加工処理によって、これら指標は人々により利用されて在宅化娯楽と競技試合、刺激冒険行為を開展するツールとなり、重複利用、自覚利用、愉快利用となる。娯楽と試合の過程は褒美機制を伴い、大脳自身には生理意味上の褒美機制原理を有し、それを利用して適応し、治療、回復、予防、長寿の過程を人々が娯楽、冒険及び褒美追求を熱中する本能行為に融合するモードを創造する。

30

40

【0148】

ゲームと競技試合は実物思惟制御及びウェブページ電子ゲームを含む。使用する呈露プラットフォームはコンピュータ及び携帯電話であり、コンピュータがタブレット、移動コンピュータ、固定型コンピュータ等でよい。使用する生命情報収集装置は携帯型無線移動生

50

命データ収集伝達端末であり、異なる種類の疾病治療、回復、予防及び健康長寿の目的によって、収集する生命信号が異なっていて、算出抽出する特徴指標が異なっていて、指向する疾病発展変更及び健康レベルが異なっていて、選択する端末も異なっているが、変換する娯楽ゲーム担体は同一であり、ここで、ウェブページ電子ゲームは主に自己訓練、スキルアップに用いられ、電子ゲームを主要の呈露方式とし、音楽、フラッシュ、視覚及び嗅覚の変更を含む。実物ゲームは実物ロボットの行進路線及び速度を制御することを主要のゲーム内容として呈露する。主に競技試合と日常訓練の両方面に用いられる。ウェブページゲームは個人コンピュータ又は携帯電話で直接ネットワークに接続してゲーム過程を実現する。実物ゲームは個人コンピュータ又は携帯電話でネットワークに接続してゲーム過程を実現するが、実物ロボットがロボット制御中心に設置され、サービスプロバイダーにより管理される。ゲーム過程は遠隔ビデオ生放送方式を用い、個人コンピュータ又は携帯電話でロボットが移動する全景ビデオを展示し、ユーザが全国範囲内の任意地点に分布し、使用条件が2種類のゲームにとって一致し、つまり、無線移動生命データ収集伝達端末を佩帯し、ネットワークに接続し、ウェブサイトに入り、生命データ収集、無線伝達、クラウドコンピューティング指標抽出、フィードバック制御駆動ウェブページゲーム又は実物ロボット動作の閉環思惟制御ゲーム過程を開始して完成する。実物ロボット制御中心はユーザ数によってロボットの数を設置し、各ロボットの使用が30分間を機械時間とし、一人のユーザに分配して使用させ、各中心の設置は1つのデータ算出サービス中心にマッチングし、256又は512個の無線移動生命データ収集伝達端末を管理し、毎日が32個の機械時間で算出され、8～16個の実物ロボットをマッチングする必要がある。褒美機制は疾病治療、回復、予防、健康長寿過程全体の自主駆動要素であり、過程において正方向情緒を伴う条件の1つでもある。ゲーム過程は人の精神を愉悦させる過程と心理の正方向情緒過程であり、ゲームプロセスの徐々完成に伴って、同時に、生命健康指標の改善を伴い、人々のある自主認知機能制御生命データ変化能力の収穫を伴う。褒美は合計点の方式で存在し、だんだん積み重ねて、採点方式が生命健康指標の変化大きさを根拠とし、合計点は賞品を交換し、人々が追求するターゲットとする。

【0149】

刺激と冒険は永遠に人々の天性であり、このような生命メンテナンスモードの応用過程において、刺激と冒険は競技試合を輸入する褒美機制にあり、宝くじの属性を示し、更に速くてよいゲーム完成能力及びテクニックで競技試合に参加し、巨大財産を取得するチャンスに伴う。数取り棒、賭け等の宝くじのすべての方法はいずれもこのような応用過程に移動することができる。実物ロボットの制御ゲームは競技試合の主要担体であり、試合がネット上の相手を誘う方式で展開し、観客に賭けを許し、合計点を勝ち、健康者が患者の治療と回復プロセスを支援する非慈善的寄付のヒューマニズム通路を形成する。サービスプロバイダーは定期的にボーナス競技試合を行い、領域と時間を分け、賞品の価値が低から高まで分布し、できるだけ賛助、広告等の現代メディア宣伝手段が生じた財力を集中し、疾病治療、回復及び健康長寿の実際行動に応用する。実物ロボットは移動ロボット及び実物自動車を含み、試合勝利者は実物自動車をかち取れる。試合はレベルに分けられ、病種に分けられるが、年齢、男女に分けられなく、すべての男女老少がいずれも参加でき、患者であっても正常人であっても、成人であっても児童であっても、いずれも相手になれ、年齢対等、男女対等、健康対等が必要がない。自己のある生命健康指標の制御能力を利用して競技に参加し、試合で優勝するのは合理的なものであり、公平、幅広く、普遍適応、プライバシーの特徴を体现する。試合選手が分級し、分級では原則上に年齢因素、健康因素、疾病因素を考慮する。分級の基本規則は、年齢が大きいほど、健康条件が悪いあるいは疾病が嚴重であるほど、相応レベルが高い。試合の規則が加重属性を有し、レベルが高いほど、得点の加重係数が高く、疾病治療と児童、老人優先の理念を体现する。試合の両方は単独な個体でよく、群体組合でもよく、組合において、それぞれの個人は自己がある生命データに対する制御特長を用いてそれぞれ実物ロボットの運動次元を制御し、例えば、前進、後退、左回り、右回り、低速、高速、左アーム動かし、右アーム動かし等が挙げられ、いずれも異なる人の独立制御（あるいは一人の完全制御）でよく、合作して、具

体的な思惟制御任務を完成してもよい。試合参加者は各自の居住地点に分布し、実物ロボット制御中心に到着する必要がなく、いつでもどこでも無線インターネットを介して競技試合の完全過程を完成できる。サービスプロバイダーが定期的開催したボーナス競技試合は参加者が現場で試合に参加する必要があり、真実、客観的な、公正及び影響力の目的を体現する。このような持続した生命データ制御能力及びテクニックの学習、及び競技試合によって、愉快と刺激状態の正方向心理情緒モード下で、自己意識下生命状態指標の制御を習得し、伝統疾病治療効果の促進を伴い、自主疾病治療の能力及び身体潜在疾病抵抗の激発能力を伴って習得し、さらに、一部の特異の潜在生存テクニックと知識取得能力を習得し、全面的に人の智慧と道德素質を向上させる。

【0150】

大脳皮質高級認知能力を用い、自己意識で生命データの変更を制御し、主な作用対象は大脳であり、中央制御ユニットとし、生命メンテナンスの機能を実現する。大脳機能及び疾病に対する物理調整制御技術は、現在、関連の脳磁刺激技術及び電流ショック技術が精神類疾患の応用方面で絶え間なく進展を取得する以外、微電流持続刺激技術も応用報道を有して始める。同時に、脳波の共振概念を利用する開ループ音光刺激製品は亜健康の治療応用方面でも大量の広告宣伝がある。しかし、ここで、多くて疑似科学又は科学研究の局部結果概念を盗用する、マスコミの力を借りてオーバーな宣伝をする類製品である。脳波信号を収集して閉環フィードバック調節大脳の状態を実現する技術も製品が現れるが、精細化の状態指標を基礎としなく、特に医療等級の特徴指標が抽出されなく、真の意味上の規模化応用を取得しない。このような治療と調節に存在する問題は、治療調節過程において脳状態結果のリアルタイム定量監視測定を開展し、効果を判断し、刺激出力を変化させることはなく、あるいは脳状態信号の測定特徴指標結果が正確しないことによる治療調節の効率が低減し、さらに結果が逆方向であり、不良結果となる。これも閉環フィードバック治療技術が脳状態調整制御分野で数十年にも効果的な応用を形成しない重要な原因である。

【0151】

自己意識制御生命データ変更の方法は、脳状態牽引技術の実施と見てもよく、その中のキー応用基礎は、大脳自身の状態制御であり、主に脳状態信号収集と定量指標の抽出に依存する。脳状態現状を客観的に定量的に反映する条件下、感覚信号の外部刺激を実施し、人の大脳がリアルタイムに脳自身の状態変更過程を承知するようにさせ、これで、脳の自適応と学習能力によって、大脳の抑制と興奮のエクスプリシット調整制御方法を習得する。刺激の提供は、現在の大量の開ループ脳刺激方式（これら方式は大部分が脳センサにかける条件下、一組固定の刺激フローを出し、脳が刺激状態下での変更規律を識別できなく、達する効果も制限され、かつ、常に人体の適応性に相殺され、長続きすることできない）と異なり、脳状態定量特徴指標を脳感知器とし、調整制御過程を駆動し、脳状態の変更を牽引する。外部感覚刺激種類は以下のように分けられる。音において、音楽と脳マシン言語対話を含む。光において、視覚周波数刺激、光波牽引を含む。体感において、身体位置の変化と皮膚感覚の変更を含む。刺激の方式は最終的に主にゲーム方式でユーザ端に呈露して、操作性ゲームと感覚性ゲームに分けられる。ゲームのプロセスは脳状態の変更依存し、例えば、左右脳協調性指数は、ゲームを駆動し、左脳の興奮度レベルを向上させ、焦慮憂鬱情緒を低減させ、又は右脳の興奮度レベルを向上させ、学習と記憶能力を強化させる。操作性ゲームは電子ゲームを主とし、実物ゲームも含まれ、例えば、脳状態指数は脳司南杓柄の回転を駆動し、ロボットの移動を駆動する等がある。感覚性ゲームは、目を閉じて感受することを主とし、脳マシン対話、音楽鬱散等を含む。すべての刺激は時変なものであり、脳状態の変化によって変更する。

同じ道理で、生命データで疾病を治療する原理が脳状態の牽引過程に同一であり、脳状態の牽引過程を伴う。脳状態の変化により、他の生命データの変化を制御する。提供できる生命データ制御のメンテナンス条目は以下のとおりである。

【0152】

【表 2 - 1】

生命情報自主治療及び疾病予防	1	自己意識血管弾性運動制御学習ゲーム	血管弾性が心脳血管疾病の発生及び発展に関わり、血管硬化が根本原因である。血管を運動、拡張及び収縮させれば、血管を軟化させ、血液循環を促進し、血圧を低減させることができる。血管弾性運動の学習は、身体の運動ない場合に、静かな状態で完成するものであり、自己意識の能力で血管の拡張と収縮に影響し(このような影響はずっと存在するが、自分が知らないだけである)、血管硬化に対して極めて大きな支援作用を果たし、任意の状況したで血圧を安定させる能力を習得し、自己意識が血管拡張と収縮を制御し、心脳血管疾病の発生及び発展を改善する。このような学習過程において、血栓問題が医師指示に従う必要がある。	10
	2	自己意識脳皮質抑制、休眠制御学習ゲーム	自己意識下の大脳皮質で休眠を抑制する方法を習得し、随時主動休眠制御段階を習得すると、随時睡眠段階を習得し、全身血流再分布段階に入り、長寿と健康の結果を収穫する。	20
	3	自己意識感知睡眠再学習、不眠治療学習ゲーム	不眠者に対して、睡眠の能力を忘却し、睡眠の状態を絶え間なく重複して不眠者の感覚通路におくり、主動意識下睡眠の再学習過程を形成し、不眠の終極治療を完成する。ここで、最も重要なのは学習者に大脳皮質の多すぎる興奮中心を制御することを習得させ、各皮質機能領域を徐々抑制し、聞き、見、言い、体感、運動、及び正方向情緒、負方向情緒等を含む認知感情領域の興奮程度である。	30
	4	自己意識皮質運動再学習、神経ネットワーク再造学習ゲーム	脳卒中患者に対して、脳皮質損傷部分が肢体運動障碍、半身不随又は対麻痺をもたらす。大脳皮質神経中枢は可塑性を有し、新たな補償機能領域、又は新たな神経ネットワーク反射弓を形成でき、肢体の運動を改	40

【表 2 - 2】

			めて制御する。この過程は長くて又は偶然性を有する。ゲームによって、主に実物ゲームの移動によって、神経ネットワーク反射弓の再造を感知し、自己意識が反射弓に対して確立した促進及び干渉を感知し、このプロセスを大いに速めることができる。特に、回復医療の常規手段を結合し、意識下の運動再学習を行い、絶え間なく肢体運動を重複して想像し、感官上の真実運動結果の変更を有し、想像の方法を制御し、物体の移動が想像結果に符合させ、反射弓を促進して自己意識を確立する方法を習得する。	10
	5	自己意識呼吸制御酸素投与効率学習ゲーム	呼吸制御方法を習得し、肺における血流を最大の酸素成分に交換させ、最大の二酸化炭素成分を交換させ、毎回呼吸の効率を向上させる。	20
	6	自己意識下肺活量運動学習ゲーム	最大の肺活量に達する方法を習得し、国際上の研究によって、肺活量が大きいほど、寿命が長いと証明する。このような学習によって、呼吸制御方法を習得し、肺内の収納の空気を最大にさせる。	
	7	自己意識下共感神経張力調節学習ゲーム	植物神経システムは人体器官正常作業を直接調節する主要神経システムであり、そのうち、共感神経は人々ストレス反応の主要調節通路であり、人の情緒、血圧、拍動、排汗等に関する。自己意識下で共感神経張力を向上又は低減させる方法を習得し、冷静処理の能力を習得することに支援する。共感張力調節の特徴指標は末梢血流灌注指数からのものである。	30
	8	自己意識下血流循環制御学習ゲーム	人体の血流分布は、人体健康に対する影響が絶対であり、人々の認知能力に対する影響も絶対である。血流全身分布の制御を習得することは、疾病正確治療、疾病回復及び健康長寿の根本方法の1つである。大脳皮質認知機能によって、自己意識	40

【表 2 - 3】

			下で異なる脳区の興奮と抑制を制御することを習得し、頭部血流灌注及び四肢末梢血流灌注の相対変更を変化させ、血流携帯酸素成分と免疫細胞成分身体各部位の分布を制御でき、特に疾病治療段階に対して、血流分布が常に生命の続きを間接影響する。	
	9	自己意識感知温度調節制御学習ゲーム	身体局部体表温度を感知し、自己意識で体温を変更させる。局部血流灌注を上げ、局部体表温度をあげる。温度の変更は血流灌注の変更を代表し、局部血流を改善させ、調整健康の目的を達成する。	10
	10	自己意識感知下肢運動動能学習ゲーム	下肢半身不随病人回復過程において、下肢運動動能が回復効果の変更を測定して反映する。下肢運動動能の変更を感知し、自己意識制御回復プロセスに支援し、制御運動動能の増加の思考方法を習得する。	20
	11	自己意識感知上肢運動動能学習ゲーム	上肢半身不随病人回復過程において、上肢運動動能が回復効果の変更を測定して反映する。下肢運動動能の変更を感知し、自己意識制御回復プロセスに支援し、制御運動動能の増加の思考方法を習得する。	
	12	自己意識感知頭部血流灌注代謝需要学習ゲーム	頭部血流灌注は頭部酸素代謝レベルに関し、頭部酸素代謝需要が高いが、血流灌注が満たすことができないと、脳供血不足、頭痛、目まい、視界不清楚、言語障碍等の一系列結果となり、血流灌注を改善し、供血を増加することは、問題の解決の道である。同時に、頭部酸素代謝需要低減方法を習得し、頭部血流灌注量に適応することも、問題の解決の道である。睡眠、昏迷は通常、意味上、頭部酸素代謝需要低減の結果であり、冥想、鎮静、集中等を含む。抑制大脳の興奮点を習得すると、低減脳代謝需要を習得する。表現した特徴指標は脳状態指標及び血流灌注指数である。	30 40

【表 2 - 4】

13	自己意識感知末梢血流灌注代謝需要学習ゲーム	上記と同じ、末梢血流灌注は躯体酸素代謝レベルに関し、代謝需要低減方法を習得し、心臓負担低減、エネルギー蓄積、心脳血管疾病の緩めに、顕著な価値がある。特に疾病状態下、低血酸素環境、低血流灌注環境に耐えることに支援作用を果たす。人々の長寿プロセスに巨大促進する。表現する特徴指標は上記と同じである。	10
14	自己意識血圧調節学習ゲーム	自己意識が血圧の高低を制御することを習得し、情緒が血圧に対する影響が明らかであり、情緒が人の高級認知能力であり、主動的に意識があって血圧安定を達する能力は絶え間なく重複の意識認知で学習取得する。表現する特徴指標は中血管と微循環血流灌注指数である。	20
15	自己意識心拍数調節学習ゲーム	上記と同じ、心拍数も情緒の影響を受け、自己の思惟の制御、自己の情緒の制御、自己の心拍数の影響を習得することは健康長寿の重要条件である。表現する特徴指標は心拍数である。	30
16	自己意識感知脳抑制調節学習ゲーム	自己意識で脳の抑制程度を感知し、大脳皮質機能領域の興奮度の制御を習得し、自己の脳の休眠を習得し、脳の酸素耗を低減し、大脳の感覚入力の開閉を習得し、外部音光の干渉を消去し、更に速く睡眠に入り、又は冥想鎮静状態等に入る。	40
17	自己意識感知脳活性学習ゲーム	脳活性低減は脳長期興奮後の1種の結果であり、脳老化は脳活性の低減を伴い、脳活性低減は常に、認知配向力の低減、脳問題解決の能力低減を意味する。感知脳活性の変更は、随時に自己脳の認知準備状態を承知し、自己脳の過度使用の是非を承知し、自己脳の運用が自己の健康に影響するか否かを承知する。自己の主動思惟を制御することによって、自己の脳活	

【表 2 - 5】

			性、自己の認知配向力の向上方向を習得し、脳代謝需要を間接習得する。	
	18	自己意識感知脳反応能力学習ゲーム	大脳反応能力とは脳状態変化の速度大きさであり、i_{22}とi_{35}散布図においてクラスタの間の距離に表現される。大脳反応能力は常に喋りスピード、動作速度、作業速度に関わり、自己意識下感知脳反応能力の変更は、睡眠改善、大脳制御能力向上、外部の反応速度に支援する。	10
	19	自己意識感知入力敏感度調節学習ゲーム（脳含蓄）	大脳感覚入力敏感度とは外部情報が大脳に入力する閾値の高さであり、閾値が低いと、外部情報入力を受信しやすく、つねに外部情報の干渉を受けやすい。閾値が高いと、反応が遅く、倦怠するが、強い集中能力を表現する可能性もある。自己意識下で感覚入力の敏感度の主動調節を習得し、外部干渉の排除方法、集中方法、睡眠に入ることを習得できる。又は更に集中して外部交流の情報を受信することを習得できる。	20
	20	自己意識感知内集中調節学習ゲーム	内集中反応は大脳が内部思考の集中状態に凝集されることである。内集中は1種の思考能力であり、内集中が高すぎて長すぎると、過度思考を意味し、科学問題に対する以外、焦慮と憂鬱を現れる可能性があり、持続すると、健康に影響する。自己意識下で、自己大脳を鎮静させることを習得し、内集中レベルを低減し、随時集中の能力を習得でき、集中と鎮静状態を自由に切り替えることを習得でき、集中の品質を向上させることを習得できる。	30
	21	自己意識感知外集中調節学習ゲーム	上記と同じであり、外集中は内集中に類似し、外部情報の受信に集中する。外集中が高すぎると、エネルギーギッシュ、緊張、怯えを意味し、自己意識下で外集中レベルを低減す	40

【表 2 - 6】

			ることを習得すると、情緒とストレス反応を制御する能力を習得し、感覚器官の入力の閉じを習得し、睡眠能力を間接習得する。	
	22	自己意識制御脳鬱散学習ゲーム	鬱散能力は、人々が追求する1種の良い脳機能状態であり、生活が具備すべきの常態でもある。鬱散を習得するために、人々が多くの方法を採用し、呼吸法、音楽法、マッサージ法等を含む。最も直接な方法は、自己意識で脳の鬱散を制御することを習得し、鬱散の特徴指標を直接感受し、脳の思惟状態を絶え間なく調整し、更に深い鬱散レベルに達することができる。	10
	23	自己意識感知記憶加工学習ゲーム	記憶加工は脳の1種所定状態であり、1種の感覚入力を閉じた睡眠前状態又は目覚めたばかりで目を閉じた状態である。自己意識が絶え間なく感知記憶加工を重複し、主動思惟を制御し、このような状態に入ることを習得すると、記憶の改善方法を習得し、記憶力減退を遅延させ、脳の老化を遅延させ、更に、自動記憶、自動知識取得の自適応学習モードを実現できる。	20
	24	自己意識脳安定性調節学習ゲーム	脳安定は脳が1種状態を維持する能力であり、例えば感覚入力閉じ状態、鬱散状態、記憶加工状態、冥想状態等がある。散布図に表現すると、一束の集中した点である。安定を感知し、主動調節思惟を習得し、脳の安定状態を制御し、時間が長いほど、健康に有利であり、知識の学習に有利である。	30
	25	自己意識脳排空調節学習ゲーム	脳の排空を習得し、できるだけ脳を空明状態にさせ、できるだけ認知思考を行い、つまり、脳休眠の方法を習得する。学習過程は重複した自己意識感知脳排空、主動思惟調節であり、排空脳を習得する。	40
	26	自己意識左脳側性調節学習ゲーム	左脳側性化は脳の1種使用習慣状態であり、一般的に、左脳側性	

【表 2 - 7】

			化が焦慮と憂鬱の傾向を生じやすく、左脳側性化は、左脳分布の機能領域の機能を強化する。ロジック思惟、快楽、言語、運動等の機能を含む。絶え間なく左脳の興奮度を感知し、主動思惟を制御し、左脳興奮の思惟方法を習得し、左脳の興奮は、右脳の抑制をもたらし(左右脳は競争関係である)、左脳側性化を習得した。左脳が担当する一部の技能を習得する。	10
	27	自己意識右脳メリット調節学習ゲーム	右脳側性化は脳の1種使用習慣状態であり、一般的に、右脳側性化が焦慮と憂鬱の傾向を生じやすく、右脳側性化は、右脳分布の機能領域の機能を強化する。創造力、記憶、形象思惟、感情等の機能を含む。絶え間なく右脳の興奮度を感知し、主動思惟を制御し、右脳興奮の思惟方法を習得し、右脳の興奮は、左脳の抑制をもたらし(左右脳は競争関係である)、右脳側性化を習得した。右脳が担当する一部の技能を習得する。	20
	28	自己意識制御注意力返答学習ゲーム	注意力欠失は、子供多動性障害の影響要素の1つであり、注意力回帰の実現は、子供多動性障害を調整する方法の1つであり、子供多動の本能を利用し、注意力回帰の方法を学習し、表現した特徴指標は内集中であり、内集中を物体の移動に付着させ、物体に集中するうえ、物体が移動できる、ゲーム過程を重複し、注意力回帰の思惟方法を習得する。	30
	29	自己意識感知冥想制御学習ゲーム	冥想は1種の集中行為であり、冥想は他の脳区が抑制状態にあることを伴い、冥想という1つのみの興奮点がある。冥想の程度を感知し、冥想の学習と訓練に直接支援する。自己意識が冥想を主動的に感知し、正確な冥想方法、正確な制御思惟の方法を習得できる。	40
	30	自己意識感知高速脳疲労復	ある期間の脳力活動後、脳が疲	

【表 2 - 8】

		帰学習ゲーム	労状態を生じ、脳疲労を感知し、自己意識状態で高速疲労復帰を習得することは、作業効率の向上、圧力を緩める方法である。脳含蓄、脳活性和左右脳側性化指数制御を利用する。	
	31	自主思惟制御意念物移動学習ゲーム	思惟で実体物質移動を制御することは、ある脳状態の変更を制御して、物体移動の制御コマンドに変換させ、自主意念で物体を移動することを実現する。利用する脳状態は測定した任意の特徴指標でよい。意念物移動の学習は、対応の脳状態の制御を習得できる。	10
	32	定時的な睡眠遠隔思惟制御ゲーム	インターネットを介して、意念物移動の制御ゲーム、大閉環モードを実現、意念物移動の制御指標は脳の抑制状態の特徴指標であり、ゲームの終了は、睡眠状態が開始する。	20
	33	在宅化、遠隔思惟制御競技試合	遠隔在宅化の思惟制御物体移動の競技試合において、脳状態指標のいずれか1項は思惟制御の内容としてもよく、物体の移動を遠隔的に制御することによって、一部の脳状態の客観的な変更を制御することを習得する。健康長寿、疾病治療に対して価値がある。	
	34	プライバシー化、遠隔心理精神疾病診療リアルタイムな医患対話サービス	遠隔対話の診療モードに対して、精神類疾病と心理疾病患者と医者の間にはリアルタイムな対話は在宅化、コミュニティー化の疾病制御とサービスを実現できる。	30

【0153】

以上の自己意識生命データ療法を利用し、一本の新たな健康長寿、疾病診療、疾病回復、疾病予防の新通路、新概念、新体系、新業界、新思路、ニューモード、新分野、新フロー、新過程、新行為を開拓できる。健康長寿過程を収入がある過程に変化させ、金儲けの行為に変化させ、1種の産業に変化させる。人の健康過程が彼ら自信に価値と財産を創造し、人々が集中して持続してこの過程に参加する願いがあり、快樂、刺激、面白さを伴って健康長寿、回復、予防疾病を実現し、褒美、財産蓄積を取得する可能性があり、結果として、健康向上の医療雰囲気及び科学進歩の健康導向、及び医療知識の普及教育と治病防病知識の育成を作る。人々が刺激と財産、負け惜しみ、巨大誘惑を追求して生じた強大な駆動力を伴い、客観的に人々の疾病治療、疾病予防、長寿健康に支援する。同時に、物質と金上の収穫があり、情報消費と現代サービス業界のすべての属性に合わせる。

【0154】

重要な1つのポイントは、人々の心理作用は常に疾病と回復に巨大な不良影響があり、回復及び疾病治療に対して副作用があり、医学界は常に心理作用が疾病と健康に対する不良影響を消去するように努力している。1種の新たな人体内環境を設立し、心理が疾病の治療と回復に対して積極的正面作用を果たすようにする。一本の新たなチャンネルを開拓

し、1種の新たな健康駆動体系を確立し、疾病治療と健康長寿、疾病回復過程において、心理因素が効果に対する影響を正エネルギーに変換させ、人々が疾病治療に対する心配と恐怖を、愉快、刺激、集中、かつ自覚に持続する行為に変換させる。結果として、人々が愉快、集中の雰囲気、疾病自身に対する過度関心を捨てて、疾病治療と回復過程を利用して娯楽と刺激心理を満たし、疾病の治療と回復に対して巨大なメリットをもたらし、予測できるものである。

【0155】

そして、このような娯楽と冒険刺激、巨大財産の誘惑の過程は1種の治療疾病、予防疾病かつ健康長寿の科学行為であり、かならず治療と健康の効果の強化となる。人々は娯楽、財産と刺激を追求する天生本能を有し、特に褒美機制を伴う娯楽、財産と刺激冒険行為である。結果として、かならず人が集中、持続の訓練過程を形成させ、自己の娯楽腕前と冒険技能を向上させ、巨大な財産を収獲可能な機会刺激下で、1種の学習訓練－冒険－失敗－再学習訓練－再冒険－進歩と小収獲有－再学習訓練－再冒険－再失敗又は成功の過程を形成しやすく、その中の学習訓練内容、過程及び取得した腕前と技能は、疾病治療、疾病予防、健康長寿の方法と結果であり、人々の一部の嗜好の強大駆動力を健康の促進に移植し、生じた積極作用は、医療モードと健康管理が想像できない巨大進歩である可能性がある。

【0156】

異なる疾病に対して、第三種類生命メンテナンスモードは伝統確認医学の診療過程に類似し、疾病の治療は持続のメンテナンスと自己意識下身体内部機能が疾病に対抗する学習過程に変換する。第三種類生命メンテナンスモードは疾病の治療に対して、感知と学習を主とし、疾病の感知と疾病の学習と称する。第三種類生命メンテナンスモードは、伝統医学の疾病治療時と並列する方法であり、相互に排斥しなく、できるだけ同期に行われる。第三種類生命メンテナンスモードの治療は非薬物摂取の物理過程であり、異なる疾病の感知と学習に対する規則処方は以下のとおりである：

【0157】

慢性高血圧：自己意識血管弾性運動制御学習ゲーム；自己意識血圧調節学習ゲーム；自己意識脳皮質抑制、睡眠制御学習ゲーム。自己意識制御脳鬱散学習ゲーム。

【0158】

糖尿病（各型）：自己意識血管弾性運動制御学習ゲーム；自己意識心拍数調節学習ゲーム；自己意識感知脳抑制調節学習ゲーム；自己意識感知末梢血流灌注代謝需要学習ゲーム。

【0159】

心脳血管硬化：自己意識血管弾性運動制御学習ゲーム；自己意識脳皮質抑制、睡眠制御学習ゲーム；自己意識感知頭部血流灌注代謝需要学習ゲーム。

【0160】

心不全：自己意識脳皮質抑制、睡眠制御学習ゲーム；自己意識下共感神経張力調節学習ゲーム；自己意識制御脳鬱散学習ゲーム；自己意識感知外集中調節学習ゲーム；自己意識呼吸制御酸素投与効率学習ゲーム。

【0161】

胃炎症：自己意識感知頭部血流灌注代謝需要学習ゲーム；自己意識感知温度調節制御学習ゲーム；自己意識感知末梢血流灌注代謝需要学習ゲーム；自己意識脳皮質抑制、睡眠制御学習ゲーム。

【0162】

肺炎症：自己意識下共感神経張力調節学習ゲーム；自己意識心拍数調節学習ゲーム；自己意識感知頭部血流灌注代謝需要学習ゲーム；自己意識呼吸制御酸素投与効率学習ゲーム；自己意識脳皮質抑制、睡眠制御学習ゲーム。

【0163】

肝炎症：自己意識感知末梢血流灌注代謝需要学習ゲーム；自己意識感知頭部血流灌注代謝需要学習ゲーム；自己意識脳皮質抑制、睡眠制御学習ゲーム；自己意識感知頭部血流灌

10

20

30

40

50

注代謝需要学習ゲーム；自己意識血圧調節学習ゲーム；自己意識心拍数調節学習ゲーム；自己意識下血流循環制御学習ゲーム。

【0164】

腎炎症：自己意識感知末梢血流灌注代謝需要学習ゲーム；自己意識感知頭部血流灌注代謝需要学習ゲーム；自己意識血圧調節学習ゲーム；自己意識下血流循環制御学習ゲーム；自己意識下共感神経張力調節学習ゲーム；自己意識下肺活量運動学習ゲーム；自己意識脳皮質抑制、休眠制御学習ゲーム。

【0165】

他の躯体臓器炎症：自己意識感知末梢血流灌注代謝需要学習ゲーム；自己意識感知頭部血流灌注代謝需要学習ゲーム；自己意識下血流循環制御学習ゲーム；自己意識脳皮質抑制、休眠制御学習ゲーム。

10

【0166】

腫瘍：自己意識感知末梢血流灌注代謝需要学習ゲーム；自己意識感知頭部血流灌注代謝需要学習ゲーム；自己意識感知睡眠再学習、不眠治療学習ゲーム；自己意識脳皮質抑制、休眠制御学習ゲーム；自己意識制御脳鬱散学習ゲーム；自己意識左脳側性調節学習ゲーム；自己意識感知脳抑制調節学習ゲーム；自己意識下共感神経張力調節学習ゲーム；自己意識呼吸制御酸素投与効率学習ゲーム；自己意識下血流循環制御学習ゲーム；在宅化、遠隔思惟制御競技試合；定時的な睡眠遠隔思惟制御ゲーム；自己意識感知冥想制御学習ゲーム。

【0167】

骨折：自己意識感知末梢血流灌注代謝需要学習ゲーム；自己意識感知頭部血流灌注代謝需要学習ゲーム；自己意識脳皮質抑制、休眠制御学習ゲーム；自己意識呼吸制御酸素投与効率学習ゲーム；自己意識下肺活量運動学習ゲーム。

20

【0168】

不眠、焦慮、神経官能症：自己意識感知頭部血流灌注代謝需要学習ゲーム；自己意識感知睡眠再学習、不眠治療学習ゲーム；自己意識脳皮質抑制、休眠制御学習ゲーム；自己意識制御脳鬱散学習ゲーム；自己意識左脳側性調節学習ゲーム；自己意識感知脳抑制調節学習ゲーム；自己意識感官入力敏感度調節学習ゲーム（脳含蓄）；自己意識下共感神経張力調節学習ゲーム；定時的な睡眠遠隔思惟制御ゲーム。

【0169】

憂鬱：自主思惟制御意念物移動学習ゲーム；自己意識制御脳鬱散学習ゲーム；自己意識感知内集中調節学習ゲーム；在宅化、遠隔思惟制御競技試合；自己意識感知睡眠再学習、不眠治療学習ゲーム；定時的な睡眠遠隔思惟制御ゲーム。

30

【0170】

アルツハイマー病：自己意識感知冥想制御学習ゲーム；自己意識脳皮質抑制、休眠制御学習ゲーム；自己意識下共感神経張力調節学習ゲーム；在宅化、遠隔思惟制御競技試合；自主思惟制御意念物移動学習ゲーム；自己意識右脳メリット調節学習ゲーム；自己意識感知記憶加工学習ゲーム；自己意識感知外集中調節学習ゲーム；自己意識感官入力敏感度調節学習ゲーム（脳含蓄）；自己意識下血流循環制御学習ゲーム；自己意識感知脳活性学習ゲーム。

40

【0171】

児童多動性障害、自閉症：自己意識制御注意力返答学習ゲーム；自己意識左脳側性調節学習ゲーム；自己意識右脳メリット調節学習ゲーム；自己意識脳安定性調節学習ゲーム；自己意識脳安定性調節学習ゲーム；自己意識制御脳鬱散学習ゲーム；自主思惟制御意念物移動学習ゲーム；在宅化、遠隔思惟制御競技試合；定時的な睡眠遠隔思惟制御ゲーム；自己意識感知外集中調節学習ゲーム；自己意識感知脳反応能力学習ゲーム。

【0172】

ネットワーク中毒：自己意識制御脳鬱散学習ゲーム；自己意識感知脳抑制調節学習ゲーム；自己意識右脳メリット調節学習ゲーム；自己意識感知記憶加工学習ゲーム；自己意識感知脳反応能力学習ゲーム；自主思惟制御意念物移動学習ゲーム；自己意識感知高速脳疲

50

労復帰学習ゲーム；

【0173】

心理和精神疾病：プライバシー化、遠隔心理精神疾病診療リアルタイムな医患対話サービス；定時的な睡眠遠隔思惟制御ゲーム；

【0174】

半身不随回復：自己意識皮質運動再学習、神経ネットワーク再造学習ゲーム；自己意識感知頭部血流灌注代謝需要学習ゲーム；自己意識感知下肢運動動能学習ゲーム；自己意識感知下肢運動動能学習ゲーム；自己意識感知脳活性学習ゲーム；自己意識感知脳抑制調節学習ゲーム；自己意識下血流循環制御学習ゲーム。

【0175】

長寿健康：自己意識感知冥想制御学習ゲーム；自己意識脳皮質抑制、休眠制御学習ゲーム；自己意識左脳側性調節学習ゲーム；自己意識右脳メリット調節学習ゲーム；自己意識制御脳鬱散学習ゲーム；自己意識感知脳活性学習ゲーム；自己意識心拍数調節学習ゲーム；自己意識感知脳抑制調節学習ゲーム；自己意識下血流循環制御学習ゲーム；自己意識感知末梢血流灌注代謝需要学習ゲーム；自己意識感知頭部血流灌注代謝需要学習ゲーム；自己意識血圧調節学習ゲーム；自己意識血管弾性運動制御学習ゲーム；自己意識呼吸制御酸素投与効率学習ゲーム；自己意識下肺活量運動学習ゲーム；

上記疾病は治療方案に対応して「在宅化、遠隔思惟制御競技試合と訓練」の方式を伴って開展する。

【0176】

生命データの自動算出は第三種類生命メンテナンスモードの根本核心であり、広域在宅化生命データを収集してインターネットプラットフォームに伝達し、クラウドコンピューティングモード自動リアルタイム算出分析を行い、分布式樹状データ算出サービス中心を確立し、各データ算出サービス中心は1万台無線移動生命データ収集伝達端末をバインドし、各データ算出サービス中心は受信した個体生命データに対して処理算出を行い、各個人の生命データの伝達はアドレス情報と機器情報をバインドし、データがデータ管理サーバに伝達された後、デバイス番号とオーナーを事前に定義したの個人アカウント情報は検索され、デバイス番号に対応する個人情報データ構成に組み合わせ、処理待ちのデータ系列を生成する。同時に、データをアカウント記憶サーバ個人アカウント下の記憶領域にアップロードする。

【0177】

算出フレームは分解多任務モードであり、中心の各算出ノードは特定の算出任務を完成し、算出結果に対して個人アカウント情報をバインドし、中心の管理サーバに送信し、管理サーバが各ノードが伝送した個人アカウント情報をバインドしたデータを分類してパックし、データ算出中心の特徴コードをバインドしてユーザアカウント所在のデータサーバ記憶にアップロードする。

【0178】

データ算出中心はデータ管理サーバ、任務管理サーバ及び一組のコンピュータから構成され、コンピュータは異なる地点に分布してもよく、異なる疾病発展変更に指向する特徴指標群における各生命データを算出し、算出構成は濾過モードである。原始データは初級ノードコンピュータにより算出された後、一組の結果を取得し、個人アカウント情報をバインドした後、二級ノードコンピュータにアップロードし、これで類推し、各級算出後データ量はいずれも低減し、濾過式データ算出モードを形成する。データ管理サーバは収集端末が伝送するデータを受信し、そして任務サーバにデータを転送し、任務サーバが最終的に送信する一束の算出による最終結果を受信し、特徴指標は、個人アカウント情報をバインドして個人アカウント所在のアカウント記憶サーバにアップロードする。データ管理サーバは若干台のサーバ又はコンピュータから構成され、バインドした無線移動データ収集伝達端末の多少によって決定される。任務管理サーバは各ノードコンピュータの状態を監視測定し、受信データ管理サーバが伝送した原始データと各ノードコンピュータが送信した中間結果データを受信し、データをノードコンピュータとデータ管理サーバに分配す

10

20

30

40

50

る。任務管理サーバは分類規則に応じて各端末伝送のデータを異なるノードのコンピュータに自動的に分配する。

【0179】

分類規則は生命データ類型で分けられ、自動的に分解し、分解した各項独立生命データは第1級ノードコンピュータに送信される。任務管理サーバは中心のノードコンピュータに対してリアルタイムに監視測定し、コンピュータの状態を判定し、送信データがコンピュータの状態で決定され、状態の監視測定によって、データを送信するかデータをキャッシュするかを決定する。データの送信が循環し、低レベルノードコンピュータがフィードバックした結果データを、さらに高いレベルのアイドル状態のノードコンピュータに送信し、最終の算出結果はデータ管理サーバに送信される。コンピュータは固定算法で受信のデータを自動的に算出し、取得した算出結果は任務管理サーバにフィードバックする。任務管理サーバは生命データ算出結果を同期にリアルタイムに他の需要があるネットワーク上の任意ノードのコンピュータに伝達し、身体感覚器官が受信できる情報交換データに変換する。システムフレームは図20を参照する。

10

【0180】

思惟制御ロボット挑戦試合を確立し、人のゲームと競技冒険の原始本能を利用し、大脳の内部褒美機制で疾病治療、予防、回復及び健康長寿持続性プロセスを駆動し、1種の集中、愉快の疾病診療及び健康プロセスの良好心理環境を作る。心理因素を導入し、疾病の治療と回復に対して積極的な正面作用を果たす。一本の新たなチャンネルを開拓し、1種の新たな健康駆動体系を確立し、疾病治療と健康長寿、疾病回復過程において、心理因素が効果に対する影響を正エネルギーに変換させ、人々が疾病治療に対する心配と恐怖を、愉快、刺激、集中、かつ自覚に持続する行為に変換させる。愉快の心理、競技試合の勝ち気で、疾病治療の技術と効果により財産を取得するモードを健康長寿のプロセスに導入し、生命データの変化は1種技術であり、技術が競技試合技能とし、試合が褒美を取得でき、褒美が生活を改善し、財産を増加し、財産を収穫する心理が試合の技能の向上を促進し、技能の向上に健康の改善と寿命の延長を伴う。過程の重複は疾病診療と回復のプロセスを促進する。愉快、訓練に集中する脳状態は疾病の恐怖と心配を大いに緩め、生命データの変化は自主制御の結果となる。

20

【0181】

ロボットは米国から輸入したプログラム可能な制御ロボットNXT型を用い、ブルートゥース無線通信インターフェースを有し、無線移動生命信号収集伝達端末によって、異なるリアルタイム生命データを収集し、無線インターネットプラットフォームを介して、データをリアルタイムに算出中心サーバにアップロードしてリアルタイムに算出処理を行い、算出結果が無線インターネットプラットフォームを介してロボット制御コンピュータに伝達され、制御コンピュータはブルートゥース無線通信インターフェースを介して、生命データ算出結果を結合し、ロボット制御コマンドを生成し、ロボットの4つの方向の運動を駆動する。思惟制御ロボットフレーム、制御及び運動信号収集電気回路は図21～図23を参照する。

30

【0182】

試合説明と競技の規則は以下のように：

40

説明：借用あるいは購入の隨身携帯の無線移動生命データ収集伝達端末によって、脳波及び様々な生理信号は収集され、3Gあるいは無線インターネットを介してリアルタイムにデータ算出サービス中心に伝達される。算出処理後、脳波又は様々な生理信号における特徴指標は抽出されて制御指令に変換された後、さらに無線インターネット通路を介して脳感知思惟制御ロボットに送信され、ロボット前進、後退、左折、右折等の動作を駆動して、脳機能状態又は生理生命データの閉環自主規制及び半健康治療を実現することに用いられる。ユーザは毎日の定時にこのような遠隔ロボットの思惟制御訓練を開始してもいい、周のある固定日付に主催される遠隔思惟制御競技試合に参加してもいい。

【0183】

応用環境：ユーザの家庭環境で、本発明に係る脳状態感知測定技術によって、異なる居

50

住地で、ユーザの自身脳状態信号、生理信号及び公共通信プラットフォームを利用して、思惟制御ロボット中心に設定されたロボットの異なる動作を遠隔制御することを実現でき、自身脳状態の自主規制を完成する。

【0184】

参加方式：訓練：無線移動生命データ収集伝達端末を借用あるいは購入して、健康銀行個人アカウントの動画のURLをクリックして、自分が制御するロボットを決定し、自我思惟制御訓練モードに進入する。30分ごとの訓練は一ユニットであり、一機械時間と称される。

【0185】

競技：無線移動生命データ収集伝達端末を借用あるいは購入して、指定された競技時間内に、健康銀行個人アカウントの動画のURLをクリックして、自分が制御するロボットを決定して、また制御命令を一致させた後、思惟制御ロボットの競技試合を開始する。標準競技時間は1回30分である。

【0186】

【表3】

普通借用	100元／機械時間	5機械時間以上借用可（5日間内返却要、遅延すれば毎日100元を控除する）	保証金 2万元
VIP借用	100元／機械時間	30機械時間以上借用可（30日間内返却要、遅延すれば毎日100元を控除する）	保証金 2万元
購入ユーザー	0元／機械時間	無	無

【0187】

普通ユーザは機械時間を購入した後、指定期間内に使用しなければなりません。VIPユーザと購入ユーザは自由に使用時間を選択できる。

【0188】

懸賞競技：思惟制御ロボットを使用する試合は、勝負を褒美の根拠として、開催される懸賞競技試合の操作モードである。人々は注意力を集中して良好の心理状態で競技試合に参加する。勝者は毎回少なくとも4つの機械時間を取得でき、健康にいいと同時に、賞品を入手する機会もある。

参加資格：どんなロボットモードを使うかを問わず、訓練時間が50機械時間に達するユーザであれば、健康銀行ウェブサイトによって開催された思惟制御ロボットの競技試合活動に参加できる。この競技試合活動に参加する者に対する年齢、性別、職業などは限定されていない。この競技試合活動に参加する者にとって、その個人アカウントにおける残った機械時間が5以上でなければならない。システムは試合時、5機械時間（競技可の最低数）を選定して競技チップとされる。競技試合がライブで放送するため、すべて参加選手は自分の家で競技に遠隔参加できる。毎ラウンドの競技は同じレベルの選手（詳細は後述の説明を参照する）の間で行われる。すべての参加選手は自主的に競技に参加して、且つ、易飛華通会社に関する一切の規定を守ると承諾する。

【0189】

試合前準備：試合前の20分間に、参加選手は自分の席に着いて、思惟制御ロボット中心によって参加ロボットが十分な電力を持つことを保証するために、自分に制御されたロボットをテストする。競技試合が開始した後、参加選手は個人的な理由で無線生命情報収集伝達端末の電力不足をもたらして、自分に属するロボットを継続的に制御できなくなり、今回の試合はやはり有効であると見なす。1分間のカウントダウンが始まった後、すべての参加ロボットは開始レンジエリアから離れてはならない。そうでなければ、今回の競技を放棄すると見なされる。

【0190】

競技規則：思惟制御ロボット挑戦試合は三種類（A直線競技：第一位でゴールインする

ロボットは勝者であると決まる；B 障害物避け競技：障害物を避けて、第一位でゴールインするロボットは勝者であると決まる；C 競争競技、完全に競争の場の縁からアウトサイドするロボットは敗者であると決まる）と分かれる。ロボット競技場所は冷光源と低照度の環境で、ビデオカメラの磁気妨害が最低限にされる。各ライブビデオチャンネルには審判、公証人とナレーターからなる三つのスタッフが設置される。A 競技時間は 15 分間であり、15 分間が経ってゴールインしない場合、ゴールに最も近いロボットは勝者であるとする；B 競技時間は 20 分間であり、20 分間が経ってゴールインしない場合、ゴールに最も近いロボットは勝者であるとする；C 競技時間は 30 分間であり、30 分間が経って競技場所に 2 名以上のロボットがいる場合、唯一の勝者が残るまでオーバータイム試合を行う。

10

【0191】

競技順番：参加選手はネットワークの抽選で競技の順番を決める。競技の順番は決まると、変更できない。すべての参加選手は指定された順番に応じて試合を行わなければならない。全部の参加チームはラウンド 1 の試合終了しなければ、次のラウンドの試合を開始してはいけない。

【0192】

褒美規則：

1、同級通常試合

試合終了して、ホストが試合の結果を確定した後、第一名の選手に対して 4 機械時間が取得でき、第二名の選手に対して機械時間が増加もしくは減少もしなくて、第三名の選手に対して 5 機械時間を控除する。

20

【0193】

参加選手の級別：「石器級」すでに 50 機械時間を使用して、競技に参加するための残った機械時間が 5 個以上である選手；

「青銅級」すでに 70 機械時間を使用して、競技に参加するための残った機械時間が 15 個以上である選手；

「銑鉄級」すでに 90 機械時間を使用して、競技に参加するための残った機械時間が 30 個以上である選手；

「白銀級」すでに 110 機械時間を使用して、競技に参加するための残った機械時間が 35 個以上である選手；

30

「黄金級」すでに 150 機械時間を使用して、競技に参加するための残った機械時間が 50 個以上である選手。

また、競技に参加して、トータル 10 回ごとに勝利したら、自動的に上の級に進級する。

【0194】

2、挑戦級別

ある級別の選手が挑戦試合を選択でき、挑戦に応じる選手がいれば、二人の選手は競技試合を行ってもいい。

【0195】

低級別の選手が高級別の選手に挑戦する：低級別の選手は一つ上の級別の選手に挑戦するごとに、0.4 倍のオッズが増加する。例えば、草の根級別の選手がブルジョア級別の選手に挑戦するとき、草の根級別の選手は 5 機械時間のチップを出して、挑戦に応じるブルジョア級別の選手は 5 機械時間のチップを出さなければならない。例えば、草の根級別の選手が名手級別の選手に挑戦するとき、草の根級別の選手は 5 機械時間のチップを出して、挑戦に応じる名手級別の選手は 9 機械時間のチップを出さなければならない。

40

【0196】

高級別の選手が低級別の選手に挑戦する：高級別の選手は一つ下の級別の選手に挑戦するごとに、0.4 倍のオッズが低減する。例えば、名手級別の選手がブルジョア級別の選手に挑戦するとき、名手級別の選手は 7 機械時間のチップを出して、挑戦に応じるブルジョア級別の選手は 5 機械時間のチップを出さなければならない。例えば、名手級別の選手

50

が草の根級別の選手に挑戦するとき、名手級別の選手は9機械時間のチップを出して、挑戦に応じる草の根級別の選手は5機械時間のチップを出さなければならない。

【0197】

3、年次チャンピオンズカップ

毎月の競技の結果に基づいてシステムが月次チャンピオンを決定する。健康銀行ウェブサイトが国内大型テレビ放送局と協力して、テレビライブで年次チャンピオンズカップの決勝が放送され、本競技システムによる累積結果に基づいて年次チャンピオンズの大賞が生じる。

【0198】

褒美両替：残ったトータル機械時間が50以上ある選手であれば、賞品両替できる。賞品はチャージカード、ギフトカード、玩具、ギフト、携帯電話、家電製品、宝石、貴金属ジュエリー、国内/海外旅行などいろいろある。

【0199】

電子化の知能医療履歴管理中の個人診療健康アカウント：個人医療受診情報、日常持続のバイタルサイン及び生理データ情報、日常個人の健康主観的な感受と疾病主訴情報、入量と出量、個人在宅化の経口薬物治療情報を結合する個人医療健康電子データ記憶プラットフォームである。データの記憶と使用はインターネットブラウザの操作インターフェースでマンマシン相互関係を実現し、個人安全制御を有する、銀行貯金のような医療健康銀行アカウントを設立し、医療健康データを記憶して査閲する。医療受診情報は手動方式で個人医療健康アカウントに入力され、日常持続の生命体特徴及び生理データは無線移動生命データ収集伝達端末によって収集され、リアルタイムに無線インターネット通信プラットフォームを介して個人アカウントに自動的にアップロードされる。個人の主観的な感受及び主訴、薬物治療、食量、飲水、排便量、尿量等の情報は移動通信端末のAPPアプリケーションにより個人アカウントに入力されてアップロードされる。アカウントにおける医療健康情報は医療臨床情報化(CIS)フレームを基礎とし、病案、処方、治療、検査、映像、医師指示、体徴情報が含まれる。個人アカウントデータは数値、図像、傾向変更曲線、文字リポート及びリアルタイム波形等の方式で呈露され、時間ウィンドウ、データ組合、データ発掘を柔軟に選択する様々なデータ表示方式を有する。収集する生命データを分項算出記憶し、疾病診断検査分析報告フォーム及び内容組合に基づいて検査リポートを生成して、記憶して査閲する。アカウントにおいて治療及び医師指示情報は時間要求に応じて、接続されるショートメッセージ通信プラットフォームを介して個人の通信端末(携帯電話、移動コンピュータ、固定型コンピュータ)に自動的に送信され、音声、ショートメッセージ、スクリーン表示等の方式で個人に通知して診療過程を実行させ、設定時間内に、実行の返答情報を受信しないと、アカウントがショートメッセージを設定した移動通信装置又は固定型コンピュータ上に自動的に送信し、他の人又は機構へ世話請求を提出し、更に、救急警報請求を提出する。アカウントは自動的に特定期間内の医療健康情報に対して初期健康予測を行い、個人移動端末又は指定の健康サービス提供者のコンピュータ上に定期的に送信して表示及び提示する。アカウントにおいてリアルタイムに対話ウィンドウを設立し、ビデオ、文字、波形、数値、傾向変更等の形式で、医者と個人との間、個人と個人との間に相互にリアルタイムに交流し、リアルタイムに診察する。アカウントの応用はコンピュータ及び知能移動通信装置をバインドし、ネットワークウェブサイト閲覧方式で2つのコンピュータでデータ内容を査閲及び表示する。

【0200】

健康銀行個人アカウントの開設：健康銀行ウェブサイトで実名登録特定の個人の医療健康アカウント(以下、単に個人アカウントと称される)を実名登録する。インターネットブラウザの操作インターフェースでマンマシン相互関係の実現によって個人アカウント内データが記憶及び使用され、銀行預金のような個人安全制御を有する医療健康銀行アカウントを設定して、医療健康データの記憶及び調べに用いられる。個人アカウントの内容は6つの部分に分かれ：

個人医療受診履歴：個人の医療受診情報には病歴、診断、検査ドキュメント、画像フィ

10

20

30

40

50

ルム、検査レポート、処方箋、医者の指示などの紙データまたはピクチャーデータが含まれる。毎回の受診後、健康銀行データセンタによって受信して、医療電子情報化のC I Sシステム書式でその受診情報を個人アカウントにマニュアルで又はスキャン入力する。

【0201】

日常持続のバイタルサイン及び生理データ情報：日常持続のバイタルサイン及び生理データ情報を自動的に収集または入力する。本発明における無線移動生命データ収集伝達端末によって、無線インターネット通信プラットフォームを介してリアルタイムに個人アカウントに自動アップロードされる。

【0202】

日常個人健康の主観的な気持ち及び疾病主訴情報：日常個人健康の主観的な気持ち及び疾病主訴情報を入力する。目まい、吐き気、胸の圧迫感かつ息切れ、疼痛、咳、熱、風邪、下痢などの主観的な情報は移動通信端末のA P Pアプリケーション又は個人コンピュータシステムによって、リアルタイムに個人で入力され個人アカウントにアップロードされる。

【0203】

入量と出量：出量と入量情報を入力する。出量と入量の情報は食物摂取量、尿量、排便量、発汗量等の情報を含む。データは推定方式で取得され、移動通信端末のA P Pアプリケーション又は個人コンピュータシステムにより個人アカウントに個人で入力され、アップロードされる。

【0204】

個人在宅化の経口薬物治療情報：個人在宅化経口薬物治療事件と生命体特徴測定事件を入力する。移動通信端末のA P Pアプリケーション又は個人コンピュータシステムにより、個人アカウントに個人で入力されアップロードされる。

【0205】

運動量：無線移動生命情報収集伝達端末によって収集された人の相対運動量の大きさの情報は、無線インターネット通信プラットフォームを介して自動的に個人アカウントにアップロードされる。

健康銀行個人アカウント情報の構成は図24のように示される。

【0206】

個人アカウントコンテンツの表示：アカウントにおける医療健康情報は医療臨床情報化(C I S)アーキテクチャベースで、医療記録、処方箋、治療、検査、画像、医者の指示、バイタルサイン情報と主観的な気持ち、日常治療、進出量、運動量等の情報を含む。個人アカウント内のデータは数値、画像、傾向変化カーブ、文字レポート及びリアルタイム波形等の方式で表示される。弾力的に時間ウィンドウを選択可、データ組み合わせ、データマイニングの様々なデータ表示方式がある。個人健康アカウントにより、以下のことが実現できる：

(1) アカウント内の生命データを項目別に算出・記憶して、疾病診断検査分析報告のフォーマットやコンテンツとの組み合わせ等の様々な方式で検査レポートを生成し、個人が受診する時、長期のケアプランを制定する時、あるいは救急の時、及びほかの必要がある時に、検査レポートを容易に記憶・確認する。多くの人たちが病院に行ったとき、その主訴が明瞭ではないし、医者とのコミュニケーションが難しくなるが、アカウント内の情報を持つと、医者は患者のある特定時間内のバイタルサイン変更情報と以前の治療履歴を容易に得て参照して、診断の精度を向上させ、診断の時間も低減でき、医者の作業効率を向上させると同時に、誤診リスクを低減する。栄養師は患者に対して長期のダイエットレシピを制定する時、患者の過去のある特定期間内の飲食、入量と出量、薬物治療等の状況を把握する必要があるため、アカウント内の生命データは栄養師が最も患者に適する方案を立てることに用いられる。もし、患者は緊急事故があって応急措置が必要となる時、応急措置の前、患者の生命データを把握しない医者より患者の生命データを把握した医者のほうは、応急措置の成功率が遥かに高い。

(2) アカウントはある特定の期間の医療健康情報に対して自動的に初歩的な健康予測

10

20

30

40

50

を行って、定期的に個人移動端末又は指定された健康サービス提供者のコンピュータに送信して表示・提示する。大きな病気を予防して、病気の多くはある程度発症しなかった場合には、人々が事前に病院に行って治療を受けて生活の軌跡を改善することを促すために、健康異常の警告を発する。このため、病気が更にひどい程度にならなくて、日常保健と疾病予防ともちゃんと注意できる。例えば、長期に血糖降下薬を服用しても血糖含量が依然として高い患者にとって、そのレポートは薬物が適合であるか、投与量を増やすかあるいはインスリン注射を変更する必要があるか、最近の摂取量が厳密に制御されるかを指摘して、簡単に問題を発見し、問題を解決して、合併症の発生を防止する。個人アカウントは無能力の人々、特に老人たちに対して、その後見人に情報を送信してもいい；長期に分かれて住んでいる夫婦両方はお互いに報告を送信してもいい；独居の老人は自分の子供たちに報告を送信してもいい。これにより、家族たちが相互に関心や世話をすることを支援できる。

10

(3) アカウントにリアルタイムの対話ウィンドウを設置して、ビデオ、文字、波形、数値、傾向変更等の形式でブラウズとレビューする。医者と個人の間、個人と個人の間、及び医者と医者の中で相互にリアルタイムに対話することができ、リアルタイムに立会い検査することできる。家宅の環境で、個人と医者の中で完全な医療履歴情報、生命データ情報、主観的な気持ち情報及び日常活動情報を有するリアルタイムの対話コミュニケーションを行って、疾病治療、疾病回復、慢性病管理及び健康長寿に対していつでもの医療健康サービスを実現する。同時に、コミュニティ病院資源、二級病院資源乃至三級病院資源をシェアし、いながらにして専門に行って検査をもらう目的を達することができる。個人と個人の対話は、競技試合や、病友の集まりや、経験の交流などであり、人々の健康に関する知識を豊かにさせ、健康に関する視野を開拓して、健康な体を持っている。

20

(4) 自動医療管理通知サービス。アカウント内に生成された生命データ情報、医者の指示の情報及び受診後医者の治療処方箋情報により、システムは患者個人の具体的な要望に応じて、個人カスタマイズ通知サービスを提供する。システムは個人アカウントから自動的に日常の治療と検査内容を抽出して、接続されたショートメッセージ通信プラットフォームを介して自動的に治療検査通知情報を個人の通信端末（携帯電話、モバイルコンピュータ、固定型コンピュータ）に送信して、音声、ショートメッセージ、スクリーン表示等の方式で個人が診療過程を実行することを通知する。例えば服薬通知、運動通知等がある。個人サービスの設定に応じて、一級警告、二級警告、三級警告、四級警告等のショートメッセージ警告をバインドしてエンティティスタッフを知らせる。例えば、このサービスを設定した高血圧患者は服薬通知サービスと血圧傾向初期警告サービスを必要とする。医者の指示は朝7:00と午後16:00に5mgずつの降圧薬を飲み、血圧が140/90mm水銀以下に維持するということである。システムは朝6:50と午後15:50に患者に服薬を通知して、もし患者が定刻に服薬すれば、設定した時間内にショートメッセージを確認して返答してもいい。もし、設定した時間内に、実行の確認情報を受信しないと、アカウントは自動的に一級警告サービスを開始させ、ショートメッセージを患者家族のモバイル通信装置又は固定型コンピュータに送信して、その家族によって服薬を監督して応答を確認する。もし、一級警告が設定した時間内に応答しないと、自動的に二級警告サービスを開始させ、オンサイトサービスと確認の応答をさせるようにコミュニティ病院の医者に情報を送信する；もし、二級警告が設定した時間内に応答しないと、三級警告サービスを開始させ、応急措置サービスをするように直接に指定された病院と連絡する。もし、血圧が医者の指示の140/90mm水銀より高いと、級別に応じて警告サービスを開始する。ここに、警告級別と指定された緊急連絡者は個人の具代的な要望に応じてカスタマイズされた。このような日常健康保健サービスがあって、多くの重大な病気にならない。もし本当に重大な病気になっても、タイムリーな救助ができる。

30

40

(5) 他のカスタマイズサービスは、例えば、治療ゲーム、介護者予約、オンサイトサービス予約、活動同行などある。他のカスタマイズサービスはいろいろな形式があって、例えば、他のカスタマイズサービスというのは様々な形式を持ち、例えば生活はまだ自分で賄えるが、慢性病を持ち子も側にいていない老人の多くは、ペットを飼うことで暇をつぶ

50

して心の慰めをもらい、ペットとの愛着が強く、散歩しても、食事してもペットを相手にし、寝る時までペットが側にいないと睡れない。ペットと人との感情は深い、表現方式が限られている。我々にペット首輪式の移動端末をカスタマイズして、ペットの話せないという欠点を補って、ペットに服薬の注意、食事、スポーツの付き添いをもらうことができる。老人がペットと話し合う過程で、心理的及び生理的欲求が満足され、生活品質がさらに向上する；例えば手足が動きにくい老人は、子が常に側にいておらず、普段連れ合いに飲食の世話をしてもらうが、電子化知能医療健康アカウントでは患者の家と医院の間での奔走を最大限で減少し、患者の健康を保護し、患者が入浴、外出しようとし体力がある人の介助を要るときに、カスタマイズサービスにより、専門的な看護師の訪問入浴サービスを楽しめることもでき、長期的に看護師を雇用することよりも経済的で、老人の生活品質も保障される。

10

【0207】

メディアで日常流行している病気治療、回復、予防及び健康長寿に関する情報ストリームを確立して、人々の日常の健康消費ツールとする。全時空的生命データを基にし様々な病気のリハビリ治療、予防及び長寿者の示範先導者による先導モードを確立し、先導者の健康情報公布プラットフォームを確立する。

【0208】

社会の生活レベルの向上につれて、どのように老化を遅延させ、寿命を延長させることはもう21世紀の人々が一番注目を浴びる問題になっている。年をとって、心配している健康問題も一つ一つ出てくる。特に老人たちの健康問題は格別に注意しなければならない。家庭全体の幸せにとって重要であるからである。現在、60歳以上の老人の数量は2億人に接近して、もし40歳以上の人を加算すれば、たぶん中国の総人口数の半分ぐらいに接近する。これらの人々は作業がほとんど安定になり、又はすでに定年で退職したので、健康問題はこれらの人々が関心を持っている主な問題である。

20

【0209】

中高年者は若者と異なって美顔や演技で有名になったアイドルが好きではないから、彼らなりのアイドルを設定するべきである。若者のアイドルは芸能人スターと起業家であり、時に驚かせるほどアイドルへの情熱を持ち、アイドルの言葉を至上命令とし、従わなければならないと思っている。中高年者の方はそれより寿命の延長と病気の予防に関心を持ち、彼らは"如何に病気を予防するか"、"百歳老人はなぜ長生きか"、"如何に老年痴呆を回避するか"及び"癌患者はどうやって病魔から振り切るか"といった話題を気にする。養生番組は非常に人気があり、人々の健康問題への関心を十分に証明した。近年、人々はますます自分の健康に関心を持つようになり、"養生ブーム"も共に起こり、多くのメディアは"養生スター"を宣伝する。養生番組と関連書籍も非常に人気がある。養生ブームは皆が自身健康に関心を持つことを語って、これはいいことである。これらの図書も、テレビ番組も、当然ながら民衆に医療衛生知識を普及することに役立ち、民衆に養生のための指導的な意見を提出し、積極的な意義を持つ。しかし、その内容の多くは主にお説教であり、実質的な内容がなく、人々の健康の実現や病気予防を支援するという目的を達成しにくい。人々の病気知識を豊富にすることに顕著な効果がない。

30

【0210】

中高年者のために公共メディア健康参照手本を確立し、その内容は明確かつ定量的な生命データを中核とし、様々な生活データを含み、定時や定期に大衆に公示する。これらのデータは優秀な病気回復者又は長寿老人に属し、健康の先導者として、彼らの健康生命データを用いて中高年者及び全社会の健康を渴望している人々を病気を回避し、健康長寿になるように導く。

40

【0211】

公示した生命データは人々の模倣する手本である。健康銀行の個人アカウントにより、自分の生命データと手本データを全方位で比較することができ、波形データの一一致度の比較、数値データ傾向のフィッティング比較、病気検査レポート内容の比較、治療過程の照合、生活データ（飲食、摂食排出量、身体活動レベル、主観的な感覚等を含む）数値の比

50

較を含む。それにより、自分の生命データと先導者の生命データとの差別を発見し、自分の病気回復過程での発展傾向、自分の健康にできた変化を見つけ、早いうちに病気を発見し、病気予防という目的を達成する。同時に、常に比較することで、人々の医学知識と病気特徴への理解はますます深刻になり、掌握した医学知識を絶えずに蓄積することで、準専門家のレベルに達し、誰でも医者になれるという健康教育の究極目標を達成することができ、健康教育と医学知識の普及を完璧に解決する。現在の養生健康宣伝の説教モードに比べて、明らかに健康先導者のデータ表現の働きがより大きく、より直接的である。

【0212】

健康先導者活動は個人の健康銀行アカウントを根拠として、メディア（ネットワーク、テレビ、平面）で、毎日定時的に特定の自然人の完整医療履歴と生命データを公布することを特徴とする。これらの自然人は医療委員会のスクリーニングと生命データ競技試合の優勝率の高低によって選択され、有料方式で完全にそれらの自然人の医療履歴と生命データを開示する。

10

【0213】

試合番組を開催して、健康先導者を選抜する：ドラフトと養生番組を組み合わせるモード。ここ数年、みんなはドラフト番組に対する熱意が少しも減少しなくて、ドラフト番組の形式も絶え間なく新しくなる。ドラフト番組の超高人気と健康というホットピックスとを融合して、必ず良い効果を生む。ドラフト番組を開催することによって、健康を追求して長寿を熱望するというみんなの要望に合致するアイドル人物を選抜する。番組は現在流行っている娯楽形式、例えば"中国好声音"又は"快樂男声"を模倣してもいい。選抜によって、"長寿アイドル"と"Xに抵抗するアイドル"といった健康長寿なアイドルを作る。

20

【0214】

選抜方式：オンラインオーディション、オフライン選抜、決勝。選抜に参加するすべての選手のデータは完全に開示され、決勝をテレビとネットワークでライブする。選抜に参加する者は必ず健康銀行ウェブサイトで個人アカウントを登録した者である。

【0215】

第一歩、オンライン選抜。国籍に関係なく、人種に関係なく、男女を問わず、誰でも参加することができる。参加選手は健康銀行個人アカウントを介して、自分の本当の生命データをアップロードする。

【0216】

第一歩、オフライン選抜。まず、参加選手がネットワークで記入した生命データの信憑性をオンサイトで検証する。次に、オンサイト選抜をする。

30

【0217】

選抜内容：

1、世界保健機関（WHO）の健康診断標準によりスクリーニングする。

健康の定義は、私たちは世界保健機関（WHO）が健康に対して提出した十標準を参照する：

1) 十分な元気があって、日常生活と作業のプレッシャーにのんびりと対処することができる。

2) 楽観で、前向きな姿勢で、責任感が強くて、大きな作業でも小さいな作業でもちゃんとやる。

40

3) 休憩がうまい、睡眠質量良い。

4) 応変能力が強くて、環境の様々な変更に対応できる。

5) 普通の風邪や伝染病に抵抗できる。

6) 体重が適当で、プロポーションがよくて、立った時、頭、肩及び臂の位置座標が正確である。

7) 目が明るくて、反応鋭敏、まぶたの炎症ない。

8) 綺麗な歯、穴のない、痛みなし、通常の歯齦の色、出血無し。

9) ふけのある髪、ふけ無し。

10) 筋肉と皮膚の弾力性で、気楽に歩行する。

50

【0218】

- 2、生命データの対決競技試合。
 - 1) 自主意識感知冥想制御
 - 2) 自主意識脳皮質抑制、休眠制御
 - 3) 自主意識が脳リレックスを制御する
 - 4) 自主意識が脳活性を感知する
 - 5) 自主意識心率調節
 - 6) 自主意識が脳抑制調節を感知する
 - 7) 自主意識で血流循環を制御する
 - 8) 自主意識が末梢血流灌注代謝需求を感知する
 - 9) 自主意識が頭部血流灌注代謝需求を感知する
 - 10) 自主意識血圧調節
 - 11) 自主意識血管弾性運動制御
 - 12) 自主意識呼吸制御酸素合効率
 - 13) 自主意識で肺活量運動

10

【0219】

競技規則：すべての項目的ターゲットデータがロボットの移動を制御して、一番早く指定位置に達するロボットが勝つ。

【0220】

- 3、専門家が評議・審査する

20

評議・審査団を設置して、参加選手を評議して選出する。評議・審査団は国内・国外の有名な医者と専門家を招いて任せると計画する。評議・審査団は最も標準に準拠した健康先導者を評議して選出するだけでなく、正確健康観念も伝播する。

【0221】

第二步：メディア資源を利用して健康先導者を宣伝して普及させる。

彼らが大衆が追求するアイドルになるように選抜された健康先導者と契約を締結する。契約は以下のアイテムを含む：

1、健康先導者は自分のリアルタイム生命データを公布する。無線移動生命情報収集伝達端末と個人健康アカウントを利用して、健康先導者のリアルタイム生命データと医療受診データを収集して、自動的にメディアの展示ウィンドウにアップロードして、定時的に全国の人々に伝わる。これらデータは、医療受診情報、治療情報、主観的な気持ち情報、運動量情報、飲食情報、排出量情報、生命体特徴情報、生理パラメータ情報、在宅化の簡単生化測定情報を含む。

30

2、健康先導者が自分のリアルタイム生命データを公布する条件として、毎月固定収入を取得する。

- 3、健康先導者に広告と代言の機会を提供する。

【0222】

第三步：健康先導者はみんなが自分の医者になるように力を入れて医療常識を広める。

健康先導者はある疾病の正確治療と正確回復の過程中的優秀者を代表して、様々なガンの回復者、慢性病制御の優秀者、健康の妊娠過程の優秀婦人、及び百歳以上の長寿老人を含む。彼らは正確な疾病治療方法、正確な疾病回復過程、正確な慢性病管理方法、正確な生活履歴と飲食内容、正確な生活精神状態と情緒変更、正確な体育鍛錬と労働履歴、正確な疾病受診方法と老人ケアを代表する。健康先導者がミラーのように、みんなが彼らを参照して自分に適合する健康長寿の方法を見つける。同時に、絶えずに重複して比較して、みんなが自分の医者になることができる。図19はクラウドコンピューティングシステムフレームであり；図20はロボットが試合中の模式図であり；図21は思惟が電気回路を牽引・制御することを示す図であり；図22はロボット動作信号収集電気回路図であり；図23は健康銀行個人アカウント情報の構成図であり；図24は生命データ治療疾病のフィードバックフレーム図である。

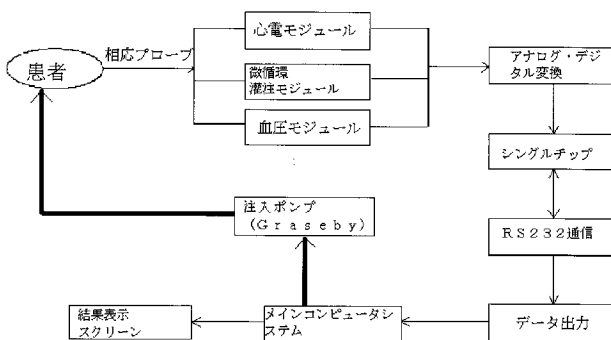
40

【0223】

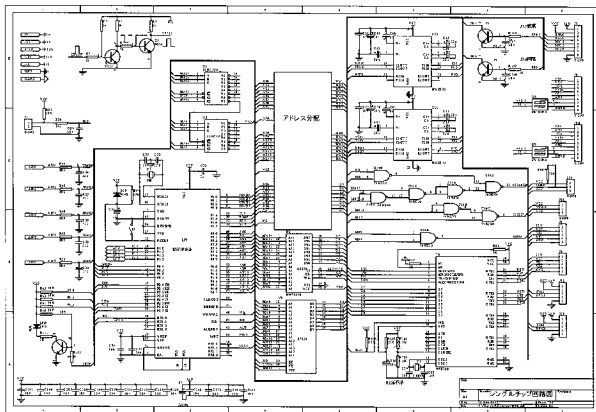
50

"健康先導者"は最終に自適応の、市場経済行為の健康管理モードを実現し、メディアが正エネルギーを促進するために内容を提供する。スターを作ること、スターをアイドルとすること、新浪微博におけるネットワークの名人、ドライふなどのファッション領域の影響力モードを健康長寿及び疾病治療回復の過程に融入する。これらデモンストレーションの人々は、健康のデモンストレーションの代表として、健康スター、健康達人になって、定量的なデータに基づいて、人々の科学かつ理性的な健康長寿のプロセスをリードする。同時に、自分に名声と利益に関する合理的な収穫をもたらす。

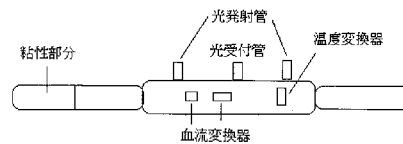
【図 1】



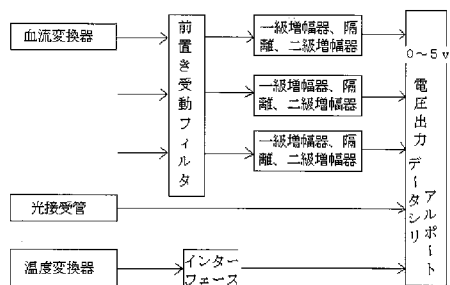
【図 2】



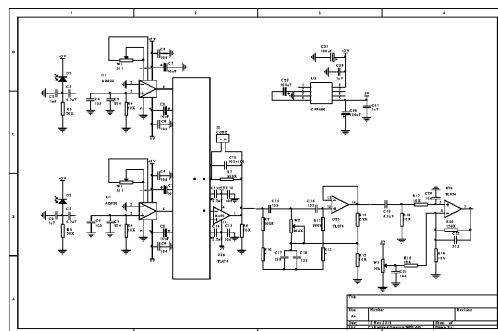
【図 3】



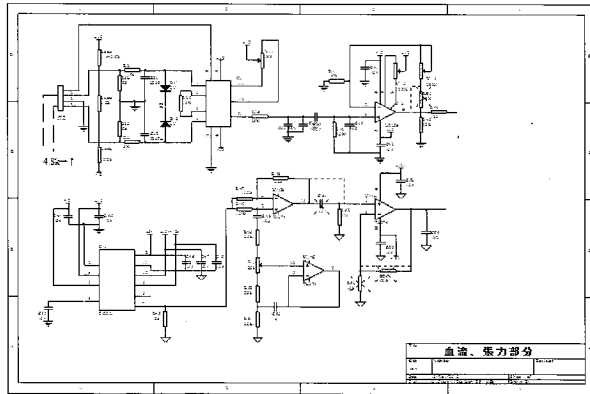
【図 4】



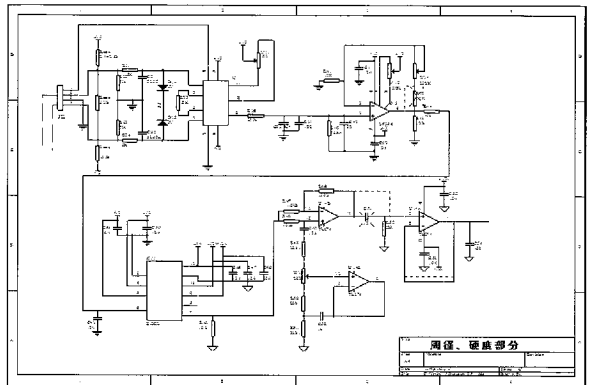
【図 5】



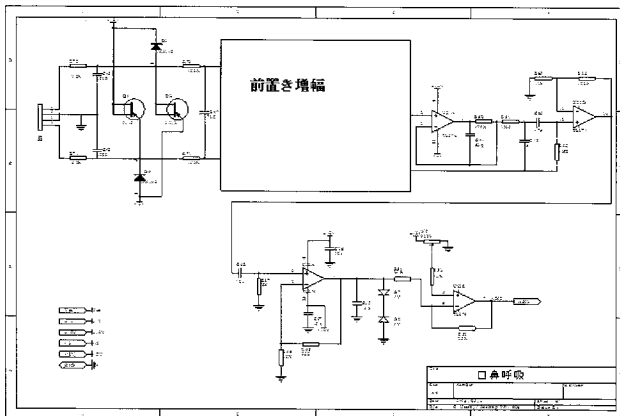
【図 6】



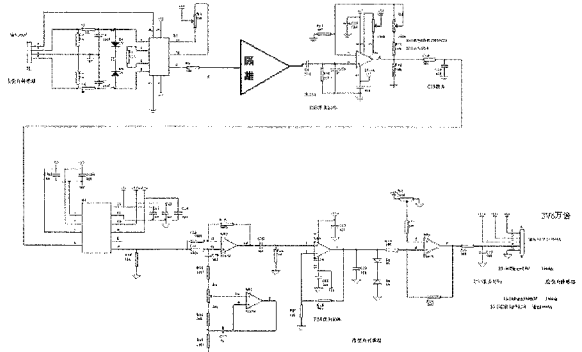
【図 7】



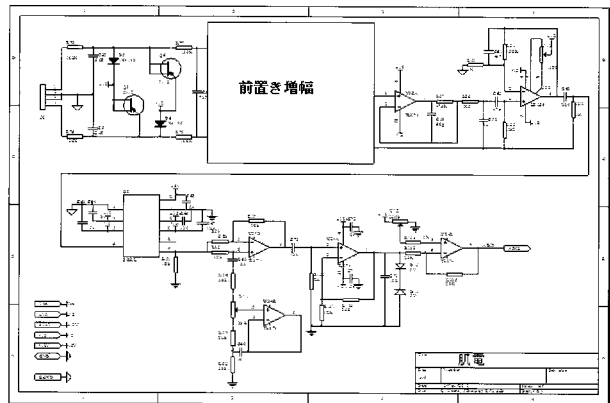
【図 10】



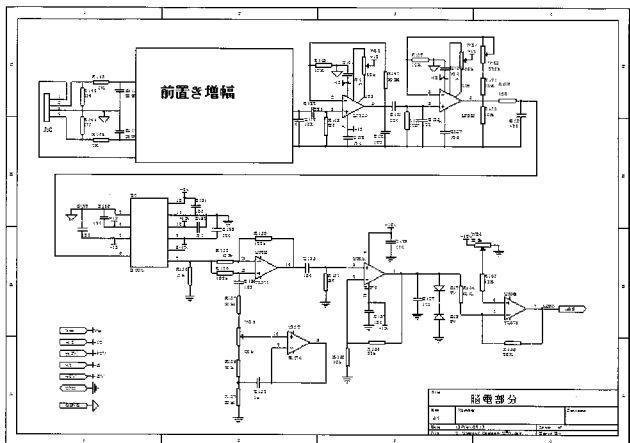
【図 8】



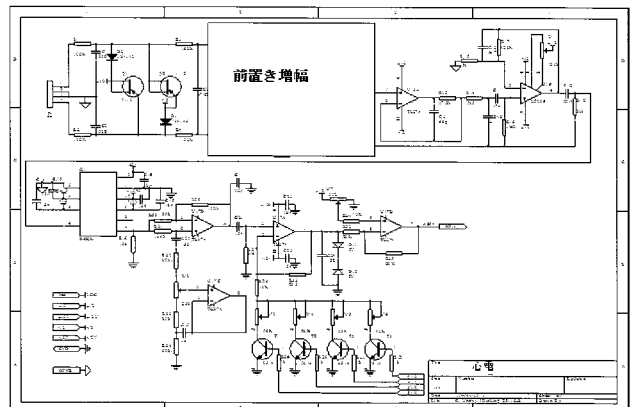
【図 9】



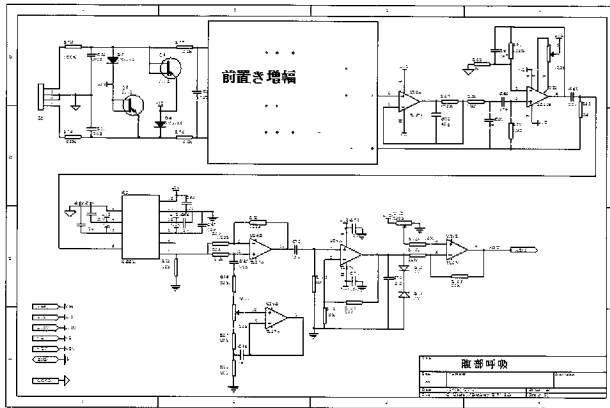
【図 11】



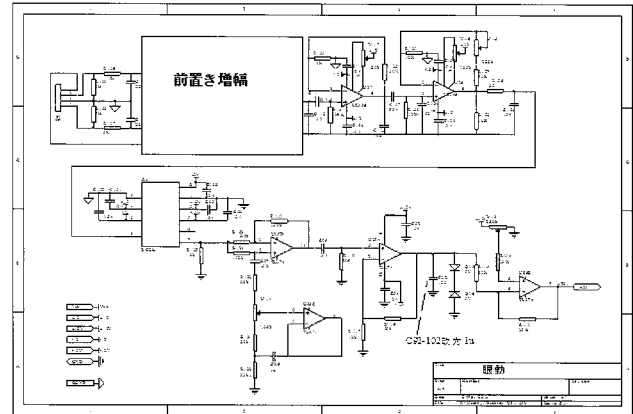
【図 12】



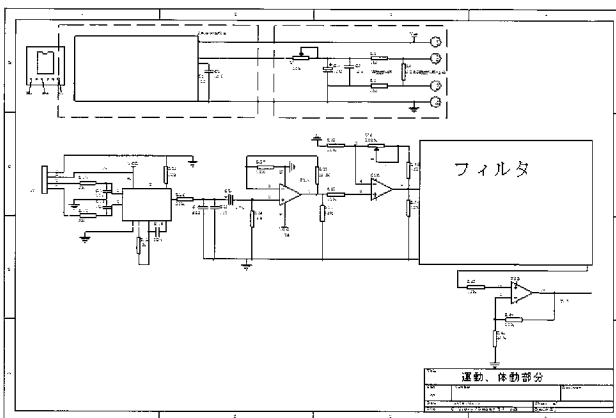
【図 13】



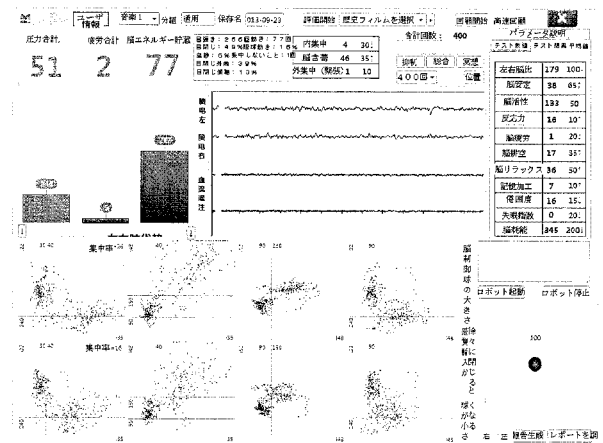
【図 14】



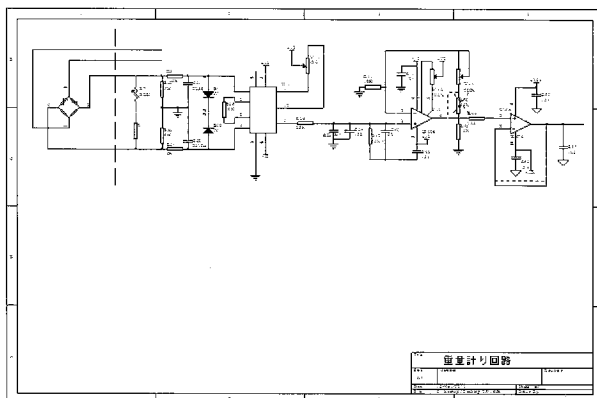
【図 15】



【図 17】



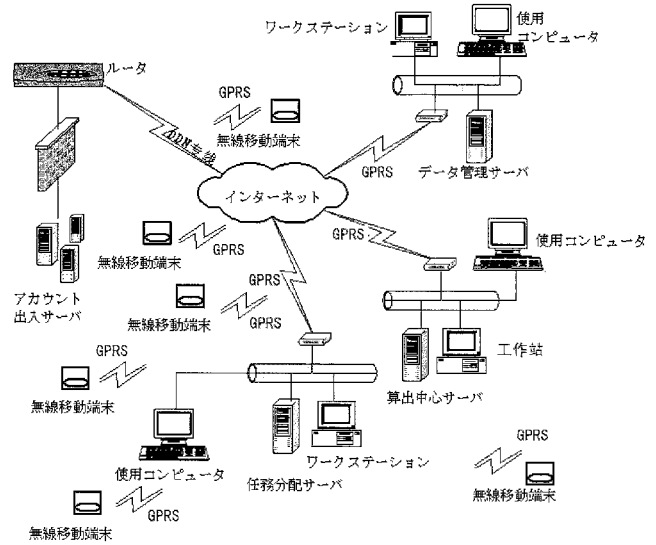
【図 16】



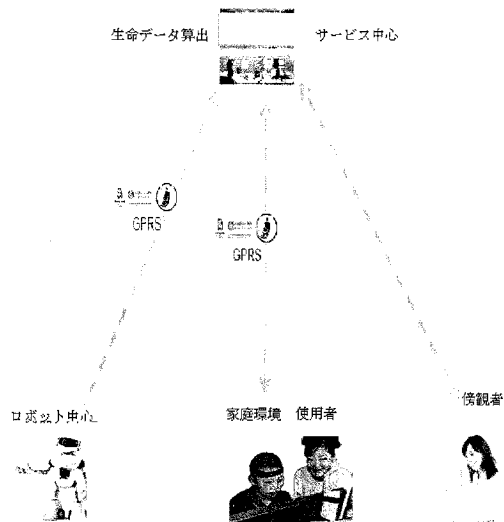
【図 18】

番号	名称 (指数)	正規 (数値)	説明
脳情報流れリアルタイム状態定数 (指数)	L22 集中度	240	以下は集中
	L35 リラックス	35	以下はリラッ
	L48 感情強度	110	以上は思惟
	L52 集中	130	以下は強々同じ
	L60 機能	50	
脳学習能力定数 (指数)	L45 安定	45	
	記憶加工	10	特定状態
	内集中	30	高いのが、さらに集中
	外集中	10	
	感覚開通	35	高いのが、よく開通する
脳疲労及び疲労定数 (指数)	疲労度	20	高いのが、疲労する
	疲労	15	高いのが、疲労する
	夢現	20	
	脳内機能	35	悠いほどよい
	右脳負荷	50	50以上右脳負荷重
情緒及び亜健康定数指数	亜健康	150	小さいほどよい
	脳活性	310	大きいほどあれる
	リラックス度	30	大きいほどよい
	脳血流灌注	50	
	脳循環灌注	50	
脳使用習慣定数 (指数)	左右脳メリット	1	1以上左脳、1以下右
	任務強度	90	90以下であると空明
	反応強度	10	大きいほど反応が速い
	鎮静剤睡眠品質 (指数)	95	小さいほど鎮静する
	睡眠品質	96	
睡眠期間分け指数	REM 期睡眠	20%	
	一期睡眠	10%	
	二期睡眠	20%	
	三期睡眠	25%	
	四期睡眠	25%	

【図 19】



【図 20】



【図 21】

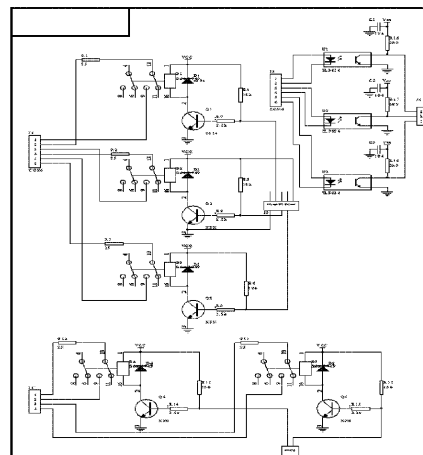
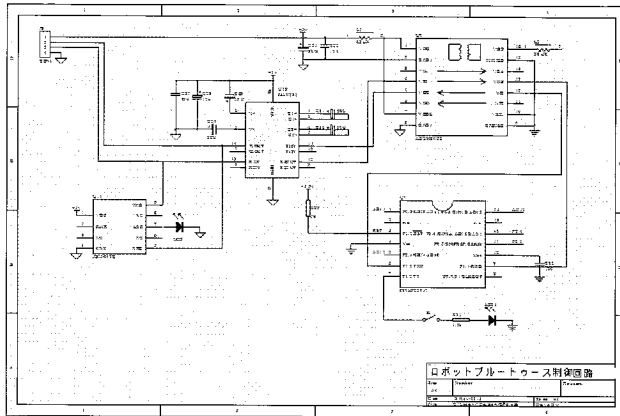
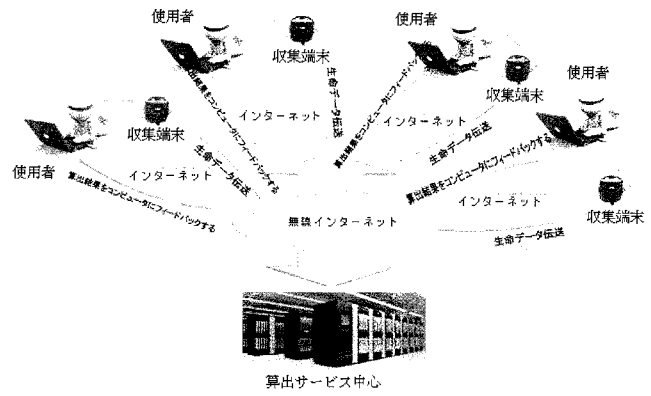


図 21

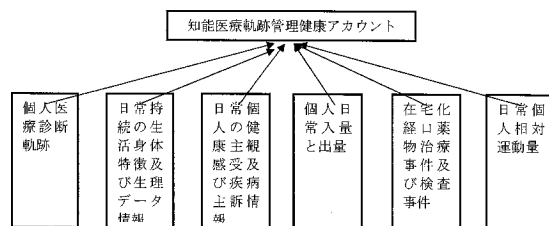
【図 2 2】



【図 2 4】



【図 2 3】



【国際調査報告】

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.
PCT/CN2014/082449

Box No. II Observations where certain claims were found unsearchable (Continuation of item 2 of first sheet)

This international search report has not been established in respect of certain claims under Article 17(2)(a) for the following reasons:

1. ☒ Claims Nos.:1-7
because they relate to subject matter not required to be searched by this Authority, namely:
[1] Claims 1-4 relate to life maintenance mode, comprise that providing treatment, recovery, forming a health trend forecast report and the like using brain inhibition therapy, and belong to a disease diagnosis method.
[2] Claims 5-7 relate to brain inhibition therapy, implement treatment for human being using mainline and belong to a human-being or animal disease diagnosis method.
[3] Above all, claims 1-7 belong to the subject matter not required to be searched by this Authority defined in Rule 39.1 (iv).
2. ☐ Claims Nos.:
because they relate to parts of the international application that do not comply with the prescribed requirements to such an extent that no meaningful international search can be carried out, specifically:
3. ☐ Claims Nos.:
because they are dependent claims and are not drafted in accordance with the second and third sentences of Rule 6.4(a).

Box No. III Observations where unity of invention is lacking (Continuation of item 3 of first sheet)

This International Searching Authority found multiple inventions in this international application, as follows:

- [1] Claims 8-23 comprise five groups of claims:
 - [2] Claims 8-12 relates to a brain signal collection method for brain inhibition therapy;
 - [3] Claims 13 and 14 relates to integrated with signal transducers of brain wave and forehead blood-flow and a independent set of tip blood-flow wave transducer;
 - [4] Claim 15 relates to a working method of a transducer of claim 13;
 - [5] Claim 16 relates to a analytical method of sleep;
 - [6] Claims 17-23 relates to a personal health information platform;
 - [7] And:
 - [8] Independent claims 8, (13, 15), 16 and 17 do not share a same or corresponding technical features, and do not meet the requirement of unity of invention as defined in PCT Rule 13.1 based on comparison two of 8, (13, 15), 16, and 17 with each other.
1. ☐ As all required additional search fees were timely paid by the applicant, this international search report covers all searchable claims.
 2. ☒ As all searchable claims could be searched without effort justifying additional fees, this Authority did not invite payment of additional fees.
 3. ☐ As only some of the required additional search fees were timely paid by the applicant, this international search report covers only those claims for which fees were paid, specifically claims Nos.:
 4. ☐ No required additional search fees were timely paid by the applicant. Consequently, this international search report is restricted to the invention first mentioned in the claims; it is covered by claims Nos.:

Remark on protest

- ☐ The additional search fees were accompanied by the applicant's protest and, where applicable, the payment of a protest fee.
- ☐ The additional search fees were accompanied by the applicant's protest but the applicable protest fee was not paid within the time limit specified in the invitation.
- ☐ No protest accompanied the payment of additional search fees.

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.
PCT/CN2014/082449

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER		
A61B 5/00 (2006.01) i; A61B 19/00 (2006.01) i; G06F 19/00 (2011.01) i According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC		
B. FIELDS SEARCHED		
Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols) A61B; G06F		
Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched		
Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used) CPRSABS, CNTXT, WPI, EPODOC: head, EEG perfusion, twig, blood, sleep, insomnia, detect+, sensor, infrared, wireless, wifi, net, laser, brain, forehead, supraorbital, blood stream, transducer, silica gel, web of things		
C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT		
Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X	CN 201389013 Y (WU, Yibing et al.) 27 January 2010 (27.01.2010) description, page 3, the last paragraph to page 4, the last paragraph, claims 1-5 and figure 1	8-12
Y	CN 201389013 Y (WU, Yibing et al.) 27 January 2010 (27.01.2010) description, page 3, the last paragraph to page 4, the last paragraph, claims 1-5 and figure 1	22
Y	CN 203208022 U (ACSKY CO., LTD.) 25 September 2013 (25.09.2013) description, paragraphs [0014]-[0034] and figure 1	13, 14
X	CN 101599110 A (PEKING UNIVERSITY PEOPLE'S HOSPITAL) 09 December 2009 (19.12.2009) description, page 7, the last paragraph to page 8, the second paragraph	15
X	US 2008/0208480 A1 (KURIYAMA HIROYUKI et al.) 28 August 2008 (28.08.2008) description, paragraphs [0049]-[0054] and figures 1-3	17-21
☒ Further documents are listed in the continuation of Box C. ☒ See patent family annex.		
* Special categories of cited documents: "A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance "E" earlier application or patent but published on or after the international filing date "L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified) "O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means "P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed "T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention "X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone "Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art "&" document member of the same patent family		
Date of the actual completion of the international search 24 September 2014		Date of mailing of the international search report 22 October 2014
Name and mailing address of the ISA State Intellectual Property Office of the P. R. China No. 6, Xitucheng Road, Jimenqiao Haidian District, Beijing 100088, China Facsimile No. (86-10) 62019451		Authorized officer MA, Nan Telephone No. (86-10) 82245608

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.
PCT/CN2014/082449

C (Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT		
Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y	US 2008/0208480 A1 (KURIYAMA HIROYUKI et al.) 28 August 2008 (28.08.2008) description, paragraphs [0049]-[0054] and figures 1-3	22, 23
Y	WO 2011/076886 A2 (DELTA, DANSK ELEKTRONIK, LYS OG AKUSTIK) 30 June 2011 (30.06.2011) description, page 19, lines 3-9 and figure 1	13, 14
Y	CN 201767952 U (WU, Yibing) 23 March 2011 (2303.2011) description, paragraph [0014] and figure 1	14
Y	CN 2627984 Y (WU, Yibing) 28 July 2004 (28.07.2004) description, page 2, the third paragraph and figure 1	23
A	CN 102274022 A (ZHEJIANG UNIVERSITY) 14 December 2011 (14.12.2011) description, paragraphs [0011]-[0022] and [0035]-[0043] and figure 1	16
A	CN 1550210 A (SANYO ELECTRIC CO.) 01 December 2004 (01.12.2004) the whole	16
A	CN 2707186 Y (AVIATION MEDICINE INSTITUTE, AIR FORCE PLA) 06 July 2005 (06.07.2005) the whole document	17-23
A	US 2006/0100530 A1 (ALLEZ PHYSIONIX LIMITED et al.) 11 May 2006 (11.05.2006) the	8-23

INTERNATIONAL SEARCH REPORT
Information on patent family members

International application No.
PCT/CN2014/082449

Patent Documents referred in the Report	Publication Date	Patent Family	Publication Date
CN 201389013 Y	27 January 2010	None	
CN 203208022 U	25 September 2013	None	
CN 101599110 A	09 December 2009	None	
US 2008/0208480 A1	28 August 2008	JP 5090013 B2 JP 2008206575 A CN 101248984 B CN 101248984 A	
WO 2011/076886 A2	30 June 2011	EP 2515744 A2 CA 2785354 A1 JP 2013515528 A CN 102811657 A AU 2010334812 A1 US 2013060098 A1	
CN 201767952 U	23 March 2011	None	
CN 2627984 Y	28 July 2004	None	
CN 102274022 A	14 December 2011	CN 102274022 B	
CN 1550210 A	01 December 2004	US 2004230398 A1 JP 4059867 B JP 2004358235 A	
CN 2707186 Y	06 July 2005	None	
US 2006/0100530 A1	11 May 2006	CN 101316549 A JP 2009509630 A WO 2007040645 A1 CA 2622544 A1 EP 1937141 A1 CN 101316549 B	

国际检索报告		国际申请号 PCT/CN2014/082449																					
A. 主题的分类 A61B 5/00(2006.01)i; A61B 19/00(2006.01)i; G06F 19/00(2011.01)i 按照国际专利分类(IPC)或者同时按照国家分类和IPC两种分类																							
B. 检索领域 检索的最低限度文献(标明分类系统和分类号) A61B; G06F 包含在检索领域中的除最低限度文献以外的检索文献 在国际检索时查阅的电子数据库(数据库的名称, 和使用的检索词(如使用)) CPRSABS, CNTXT, WPI, EPDOC; 脑电, 脑部, 额, 眶上, 血流, 灌注, 血液, 末梢, 睡眠, 失眠, 检测, 监测, 换能器, 传感器, 硅胶, 激光, 近红外, 无线, 物联网, head, EEG, perfusion, twig, blood+, sleep, insomnia, detect+, sensor, infrared, wireless, wifi, net, laser																							
C. 相关文件 <table border="1"> <thead> <tr> <th>类 型*</th> <th>引用文件, 必要时, 指明相关段落</th> <th>相关的权利要求</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>X</td> <td>CN 201389013 Y (吴一兵 等) 2010年 1月 27日 (2010 - 01 - 27) 说明书第3页最后1段-第4页最后1段、权利要求1-5、附图1</td> <td>8-12</td> </tr> <tr> <td>Y</td> <td>CN 201389013 Y (吴一兵 等) 2010年 1月 27日 (2010 - 01 - 27) 说明书第3页最后1段-第4页最后1段、权利要求1-5、附图1</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>Y</td> <td>CN 203208022 U (北京中科天脉科技有限公司) 2013年 9月 25日 (2013 - 09 - 25) 说明书第[0014]-[0034]段、附图1</td> <td>13, 14</td> </tr> <tr> <td>X</td> <td>CN 101599110 A (北京大学人民医院 等) 2009年 12月 09日 (2009 - 12 - 09) 说明书第7页最后1段-第8页第2段</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>X</td> <td>US 2008/0208480 A1 (KURIYAMA HIROYUKI 等) 2008年 8月 28日 (2008 - 08 - 28) 说明书第[0049]-[0054]段、附图1-3</td> <td>17-21</td> </tr> <tr> <td>Y</td> <td>US 2008/0208480 A1 (KURIYAMA HIROYUKI 等) 2008年 8月 28日 (2008 - 08 - 28) 说明书第[0049]-[0054]段、附图1-3</td> <td>22, 23</td> </tr> </tbody> </table>			类 型*	引用文件, 必要时, 指明相关段落	相关的权利要求	X	CN 201389013 Y (吴一兵 等) 2010年 1月 27日 (2010 - 01 - 27) 说明书第3页最后1段-第4页最后1段、权利要求1-5、附图1	8-12	Y	CN 201389013 Y (吴一兵 等) 2010年 1月 27日 (2010 - 01 - 27) 说明书第3页最后1段-第4页最后1段、权利要求1-5、附图1	22	Y	CN 203208022 U (北京中科天脉科技有限公司) 2013年 9月 25日 (2013 - 09 - 25) 说明书第[0014]-[0034]段、附图1	13, 14	X	CN 101599110 A (北京大学人民医院 等) 2009年 12月 09日 (2009 - 12 - 09) 说明书第7页最后1段-第8页第2段	15	X	US 2008/0208480 A1 (KURIYAMA HIROYUKI 等) 2008年 8月 28日 (2008 - 08 - 28) 说明书第[0049]-[0054]段、附图1-3	17-21	Y	US 2008/0208480 A1 (KURIYAMA HIROYUKI 等) 2008年 8月 28日 (2008 - 08 - 28) 说明书第[0049]-[0054]段、附图1-3	22, 23
类 型*	引用文件, 必要时, 指明相关段落	相关的权利要求																					
X	CN 201389013 Y (吴一兵 等) 2010年 1月 27日 (2010 - 01 - 27) 说明书第3页最后1段-第4页最后1段、权利要求1-5、附图1	8-12																					
Y	CN 201389013 Y (吴一兵 等) 2010年 1月 27日 (2010 - 01 - 27) 说明书第3页最后1段-第4页最后1段、权利要求1-5、附图1	22																					
Y	CN 203208022 U (北京中科天脉科技有限公司) 2013年 9月 25日 (2013 - 09 - 25) 说明书第[0014]-[0034]段、附图1	13, 14																					
X	CN 101599110 A (北京大学人民医院 等) 2009年 12月 09日 (2009 - 12 - 09) 说明书第7页最后1段-第8页第2段	15																					
X	US 2008/0208480 A1 (KURIYAMA HIROYUKI 等) 2008年 8月 28日 (2008 - 08 - 28) 说明书第[0049]-[0054]段、附图1-3	17-21																					
Y	US 2008/0208480 A1 (KURIYAMA HIROYUKI 等) 2008年 8月 28日 (2008 - 08 - 28) 说明书第[0049]-[0054]段、附图1-3	22, 23																					
☒ 其余文件在C栏的续页中列出。 ☒ 见同族专利附件。																							
* 引用文件的具体类型: “A” 认为不特别相关的表示了现有技术一般状态的文件 “E” 在国际申请日的当天或之后公布的在先申请或专利 “L” 可能对优先权要求构成怀疑的文件, 或为确定另一篇引用文件的公布日而引用的或者因其他特殊理由而引用的文件(如具体说明的) “O” 涉及口头公开、使用、展览或其他方式公开的文件 “P” 公布日先于国际申请日但迟于所要求的优先权日的文件 “T” 在申请日或优先权日之后公布, 与申请不相抵触, 但为了理解发明之理论或原理的在后文件 “X” 特别相关的文件, 单独考虑该文件, 认定要求保护的发明不是新颖的或不具有创造性 “Y” 特别相关的文件, 当该文件与另一篇或者多篇该文件结合并且这种结合对于本领域技术人员为显而易见时, 要求保护的发明不具有创造性 “&” 同族专利的文件																							
国际检索实际完成的日期 2014年 9月 24日		国际检索报告邮寄日期 2014年 10月 22日																					
ISA/CN的名称和邮寄地址 中华人民共和国国家知识产权局(ISA/CN) 北京市海淀区蓟门桥西土城路6号 100088 中国 传真号 (86-10)62019451		受权官员 马楠 电话号码 (86-10)82245608																					

表 PCT/ISA/210 (第2页) (2009年7月)

国际检索报告

国际申请号

PCT/CN2014/082449

C. 相关文件		
类 型*	引用文件, 必要时, 指明相关段落	相关的权利要求
Y	WO 2011/076886 A2 (DELTA, DANSK ELEKTRONIK, LYS OG AKUSTIK) 2011年 6月 30日 (2011 - 06 - 30) 说明书第19页第3-9行、附图1	13, 14
Y	CN 201767952 U (吴一兵) 2011年 3月 23日 (2011 - 03 - 23) 说明书第[0014]段、附图1	14
Y	CN 2627984 Y (吴一兵 等) 2004年 7月 28日 (2004 - 07 - 28) 说明书第2页第3段、附图1	23
A	CN 102274022 A (浙江大学) 2011年 12月 14日 (2011 - 12 - 14) 说明书第[0011]-[0022]段-第[0035]-[0043]段、附图1	16
A	CN 1550210 A (三洋电机株式会社) 2004年 12月 01日 (2004 - 12 - 01) 全文	16
A	CN 2707186 Y (中国人民解放军空军航空医学研究所) 2005年 7月 06日 (2005 - 07 - 06) 全文	17-23
A	US 2006/0100530 A1 (ALLEZ PHYSIONIX LIMITED 等) 2006年 5月 11日 (2006 - 05 - 11) 全文	8-23

表 PCT/ISA/210 (第2页) (2009年7月)

国际检索报告	国际申请号 PCT/CN2014/082449
第II栏 某些权利要求被认为是不能检索的意见(续第1页第2项)	
根据条约第17条(2)(a)，对某些权利要求未做国际检索报告的理由如下： 1. ☒ 权利要求： 1-7 因为它们涉及不要求本单位进行检索的主题，即： [1] 权利要求1-4涉及一种生命维护模式，包括利用脑抑制法提供治疗、康复和形成健康趋势预测报告等，属于一种疾病诊断方法； [2] 权利要求5-7涉及一种脑抑制疗法，其利用静脉注射对人体实施治疗，属于一种人体或动物体疾病治疗方法； [3] 综上，权利要求1-7属于实施细则39.1(iv)定义的不要求国际检索单位检索的主题。 2. ☐ 权利要求： 因为它们涉及国际申请中不符合规定的要求的部分，以致不能进行任何有意义的国际检索，具体地说： 3. ☐ 权利要求： 因为它们是从属权利要求，并且没有按照细则6.4(a)第2句和第3句的要求撰写。	
第III栏 缺乏发明单一性的意见(续第1页第3项)	
本国际检索单位在该国际申请中发现多项发明，即： [1] 权利要求8-23中包括5组权利要求： [2] 权利要求8-12涉及一种用于所述脑抑制疗法的脑部信号采集方法； [3] 权利要求13-14涉及一种集成在一起的脑波、额部血流信号换能器和独立一组末梢血流波换能器； [4] 权利要求15涉及一种权利要求13所述换能器的工作方法； [5] 权利要求16涉及一种睡眠分析方法； [6] 权利要求17-23涉及一种个人健康信息平台。 [7] 其中 [8] 其中独立权利要求8，(13, 15)，16，17之间不具备相同或相应的特定技术特征，因此其两两之间不具备PCT条约实施细则第13条第(1)款规定的单一性。	

表 PCT/ISA/210 (第1页续页) (2009年7月)

国际检索报告

国际申请号

PCT/CN2014/082449

第III栏 缺乏发明单一性的意见(续第1页第3项)

1. ☐ 由于申请人按时缴纳了被要求缴纳的全部附加检索费，本国际检索报告涉及全部可作检索的权利要求。
2. ☒ 由于无需付出有理由要求附加费的劳动即能对全部可检索的权利要求进行检索，本单位未通知缴纳任何加费。
3. ☐ 由于申请人仅按时缴纳了部分被要求缴纳的附加检索费，本国际检索报告仅涉及已缴费的那些权利要求具体地说，是权利要求：
4. ☐ 申请人未按时缴纳被要求缴纳的附加检索费。因此，本国际检索报告仅涉及权利要求书中首先提及的发明：包含该发明的权利要求是：

对异议的意见

- ☐ 申请人缴纳了附加检索费，同时提交了异议书，适用时，缴纳了异议费。
- ☐ 申请人缴纳了附加检索费，同时提交了异议书，但未在通知书规定的时间期限内缴纳异议费。
- ☐ 缴纳附加检索费时未提交异议书。

国际检索报告
关于同族专利的信息

国际申请号

PCT/CN2014/082449

检索报告引用的专利文件			公布日 (年/月/日)		同族专利		公布日 (年/月/日)	
CN	201389013	Y	2010年 1月 27日		无			
CN	203208022	U	2013年 9月 25日		无			
CN	101599110	A	2009年 12月 09日		无			
US	2008/0208480	A1	2008年 8月 28日	JP	5090013	B2	2012年 12月 05日	
				JP	2008206575	A	2008年 9月 11日	
				CN	101248984	B	2010年 8月 25日	
				CN	101248984	A	2008年 8月 27日	
WO	2011/076886	A2	2011年 6月 30日	EP	2515744	A2	2012年 10月 31日	
				CA	2785354	A1	2011年 6月 30日	
				JP	2013515528	A	2013年 5月 09日	
				CN	102811657	A	2012年 12月 05日	
				AU	2010334812	A1	2012年 7月 26日	
				US	2013060098	A1	2013年 3月 07日	
CN	201767952	U	2011年 3月 23日		无			
CN	2627984	Y	2004年 7月 28日		无			
CN	102274022	A	2011年 12月 14日		CN	102274022	B	2013年 2月 27日
CN	1550210	A	2004年 12月 01日	US	2004230398	A1	2004年 11月 18日	
				JP	4059867	B	2008年 3月 12日	
				JP	2004358235	A	2004年 12月 24日	
CN	2707186	Y	2005年 7月 06日		无			
US	2006/0100530	A1	2006年 5月 11日	CN	101316549	A	2008年 12月 03日	
				JP	2009509630	A	2009年 3月 12日	
				WO	2007040645	A1	2007年 4月 12日	
				CA	2622544	A1	2007年 4月 12日	
				EP	1937141	A1	2008年 7月 02日	
				CN	101316549	B	2012年 10月 10日	

表 PCT/ISA/210 (同族专利附件) (2009年7月)

フロントページの続き

(81)指定国 AP(BW, GH, GM, KE, LR, LS, MW, MZ, NA, RW, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), EA(AM, AZ, BY, KG, KZ, RU, TJ, TM), EP(AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, MK, MT, NL, NO, PL, PT, RO, RS, SE, SI, SK, SM, TR), OA(BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, KM, ML, MR, NE, SN, TD, TG), AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BH, BN, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CL, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN, IR, IS, JP, KE, KG, KN, KP, KR, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LY, MA, MD, ME, MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PA, PE, PG, PH, PL, PT, QA, RO, RS, RU, RW, SA, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SM, ST, SV, SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US

(特許庁注：以下のものは登録商標)

1. ブルートゥース

Fターム(参考) 4C117 XB06 XB08 XB10 XE13 XE14 XE15 XE16 XE17 XE18 XE19
XE23 XE24 XE25 XE37 XE60 XE64 XH16 XJ32 XJ37 XJ38
XJ45 XL21 XP11 XP12 XP15 XR04

专利名称(译)	生活维护模式，脑抑制方法和个人健康信息平台		
公开(公告)号	JP2017500991A	公开(公告)日	2017-01-12
申请号	JP2016553693	申请日	2014-07-18
[标]申请(专利权)人(译)	伍以炳		
申请(专利权)人(译)	吳一兵		
[标]发明人	吳一兵		
发明人	吳一兵		
IPC分类号	A61B5/00		
CPC分类号	A61B5/0002 A61B5/0022 A61B5/026 A61B5/0261 A61B5/0476 A61B5/4815 A61B5/726 A61B5/7264 A63F13/212 A63F13/332 G06F19/325 G06F19/3468 G16H10/60 G16H15/00 G16H20/17 G16H50/20 G16H50/30 A61B5/01 A61B5/02007 A61B5/0205 A61B5/02055 A61B5/021 A61B5/024 A61B5/0402 A61B5/0478 A61B5/1116 A61B5/14532 A61B5/14552 A61B5/168 A61B5/4393 A61B5/4809 A61B5/4812 A61B5/4818 A61B5/4854 A61B5/7203 A61B5/7225 A61B5/742 A61B5/746 A61M5/142 A61M5/1723 A61M19/00 A61M21/02 A61M2021/0077 A61M2205/3303 A61M2205/3569 A61M2205/3584 A61M2205/3592 A61M2205/50 A61M2205/502 A61M2205/52 A61M2230/04 A61M2230/08 A61M2230/10 A61M2230/201 A61M2230/30 A61M2230/42 A61M2230/50		
FI分类号	A61B5/00.A		
F-TERM分类号	4C117/XB06 4C117/XB08 4C117/XB10 4C117/XE13 4C117/XE14 4C117/XE15 4C117/XE16 4C117/XE17 4C117/XE18 4C117/XE19 4C117/XE23 4C117/XE24 4C117/XE25 4C117/XE37 4C117/XE60 4C117/XE64 4C117/XH16 4C117/XJ32 4C117/XJ37 4C117/XJ38 4C117/XJ45 4C117/XL21 4C117/XP11 4C117/XP12 4C117/XP15 4C117/XR04		
优先权	201310566688.5 2013-11-15 CN		
外部链接	Espacenet		

摘要(译)

本发明中提供的新的生命维持模式被称为第三类型生命维持模式，并且在疾病发生之后的咨询时进行的临床诊断测试被分解为一系列生命数据的单个自动测量计算项以传播工作，不断发展，形成连续的诊断测试分析报告和趋势，使用自动计算并计算出的生活数据作为工具，改变大脑皮层较高的自我意识主动控制生活数据（改变使用工具）作为治疗和康复以及健康长寿的定量牵引手段，根据形成的化验分析报告和趋势来预测和预防疾病的发生和发展，并以短消息作为呈现医疗咨询历史和Kampo药物处方的基础。它提供了一种服务，该服务可通过自动显示家庭患者的检查和治疗措施，并通过无响应的短消息自动发出警报。

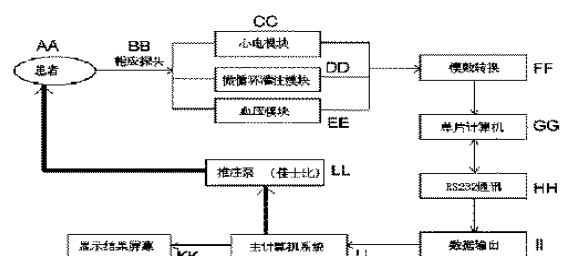


图 1 / Fig. 1

- AA Patient
- BB Corresponding probe
- CC Electrocardio module
- DD Microcirculation perfusion module
- EE Blood pressure module
- FF Module conversion
- GG Single-chip computer
- HH RS232C communication
- II Data output
- JJ Host computer system
- KK Result display screen
- LL Injection pump (Graseby)